

令和4年度
区政に関する区民アンケート調査
結果報告書

令和5年3月
大阪市生野区役所

目次

第1章 調査の概要	1
1. 調査の目的.....	1
2. 調査方法	1
3. 回収結果	1
4. 回答者数と内訳	1
5. 調査項目	2
6. 報告書の見方	2
第2章 調査結果.....	3
1. 回答者の属性について.....	3
2. 安全・安心について	5
3. 子育て・教育について.....	23
4. がん検診について	31
5. 大きな公共を担う地域社会について.....	40
6. すべてのひとが尊重されるまちについて	46
7. まちの魅力について	52

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

大阪市生野区では、市民に身近な区政について、区の特性を活かした施策・事業に取り組んでいるところである。

この取組の成果を測る一つの手段として、サイレント・マジョリティを含めた多様な区民の意見やニーズを把握し、区政運営のより一層の充実を図ることを目的に実施する。

2. 調査方法

調査方法：調査票を調査対象者に送付し、返信用封筒により回収・「大阪市電子申請・オンラインアンケートシステム」による回答

調査対象者：無作為抽出した生野区に住民登録がある18歳以上の者（外国籍住民を含む）1,300名

調査実施期間：令和4年12月22日～令和5年1月13日

3. 回収結果

総配布数	総回収数	有効回収数	有効回収率
1,300	417	417	32.1%

※有効回収数：回収数の内、集計に使用可能なアンケートを有効回収数とする。

4. 回答者数と内訳

		性別				
		合計	男	女	その他	無回答
年代別	合計	417	179	236	0	2
	18・19歳	1	0	1	0	0
	20～29歳	24	10	14	0	0
	30～39歳	40	13	27	0	0
	40～49歳	46	14	32	0	0
	50～59歳	80	33	47	0	0
	60～69歳	81	42	39	0	0
	70～79歳	80	35	45	0	0
	80歳以上	64	32	31	0	1
	無回答	1	0	0	0	1

5. 調査項目

- (1) 回答者の属性について 4 問
- (2) 安全・安心について 9 問
- (3) 子育て・教育について 4 問
- (4) がん検診について 4 問
- (5) 大きな公共を担う地域社会について 3 問
- (6) すべてのひとが尊重されるまちについて 3 問
- (7) まちの魅力について 15 問

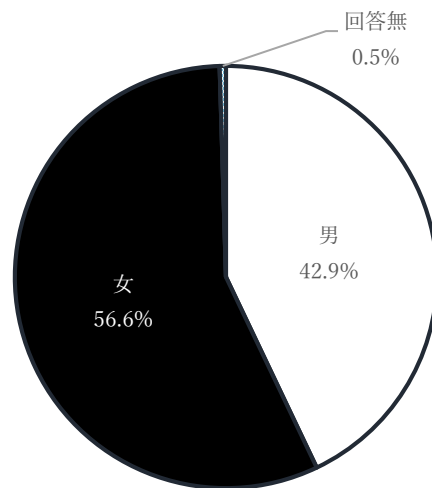
6. 報告書の見方

- (1) 質問文及び選択肢などの長い文章については、簡略化して表示している場合があります。
- (2) クロス集計とは複数の質問を組み合わせることで集計することにより、性別・年代別などのグループごとの傾向を明らかにするための集計方法です。
なお、性別で「その他」を回答した方がいなかったため、クロス集計から除外しています。
- (3) 集計結果は、すべて小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、比率の合計が 100.0%にならないことがあります。
- (4) 複数回答可の場合、回答者数に対する回答の比率を表しているため、合計値が 100.0%にならないことがあります。

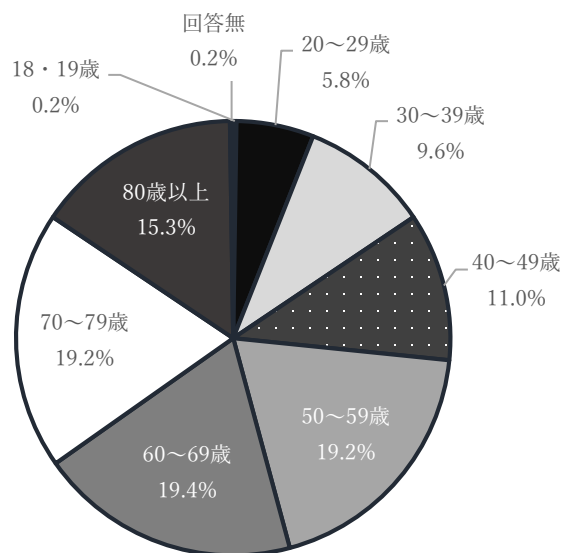
第2章 調査結果

1. 回答者の属性について

問1	あなたの性別をお答えください。	単一回答
----	-----------------	------



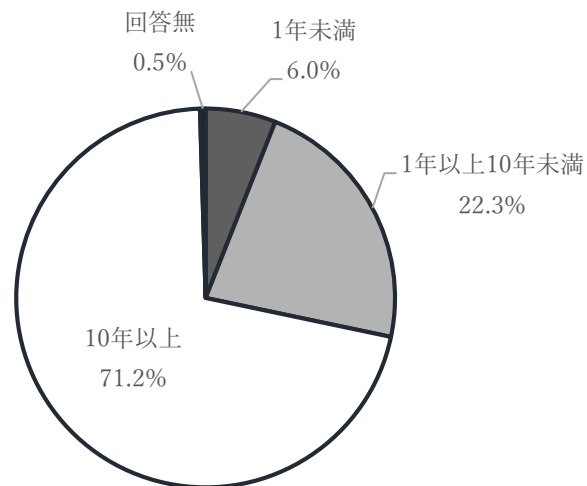
問2	あなたの年齢をお答えください。	単一回答
----	-----------------	------



問3

あなたが現在の住所にお住まいになってからの年数をお答えください。

単一回答

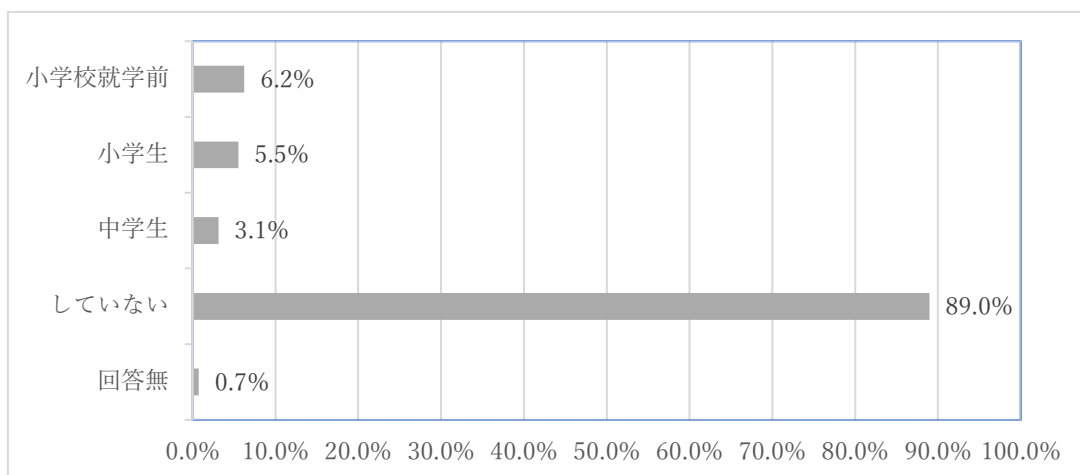


問4

あなたは現在、中学生以下のお子さまの子育てをしていますか。

複数回答

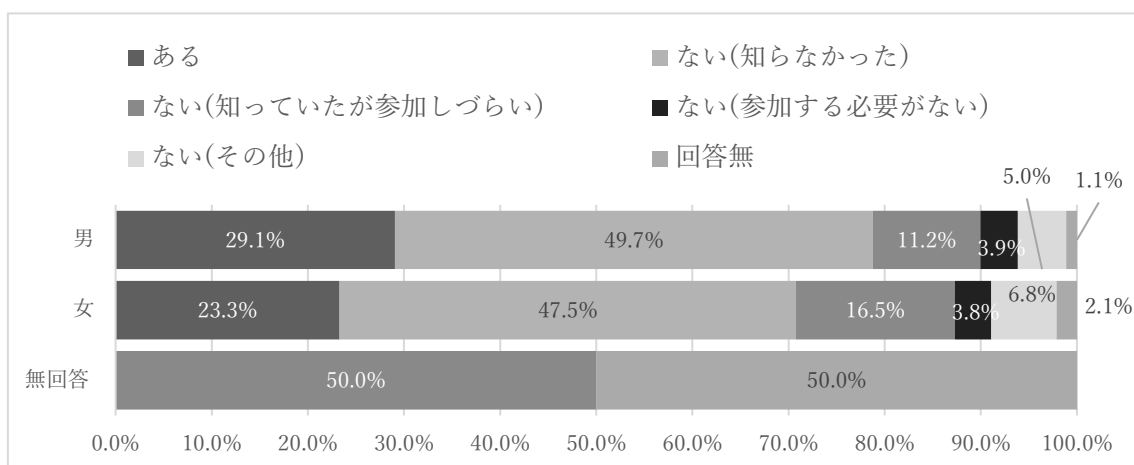
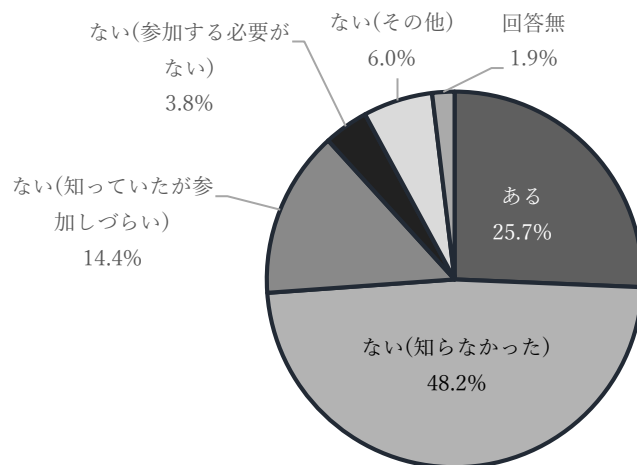
全「していない」と回答された方の割合は 89.0%でした。
その結果より、子育てをしている方の割合は 11%となりました。

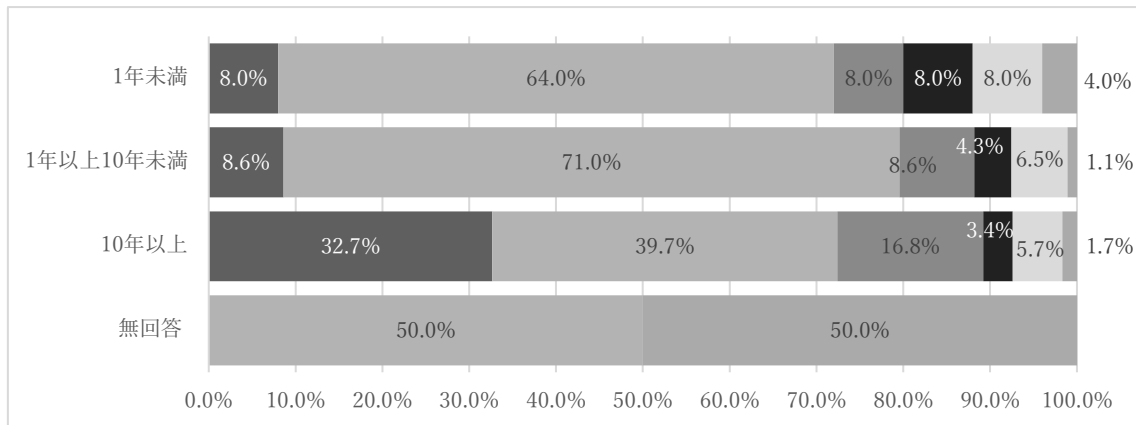
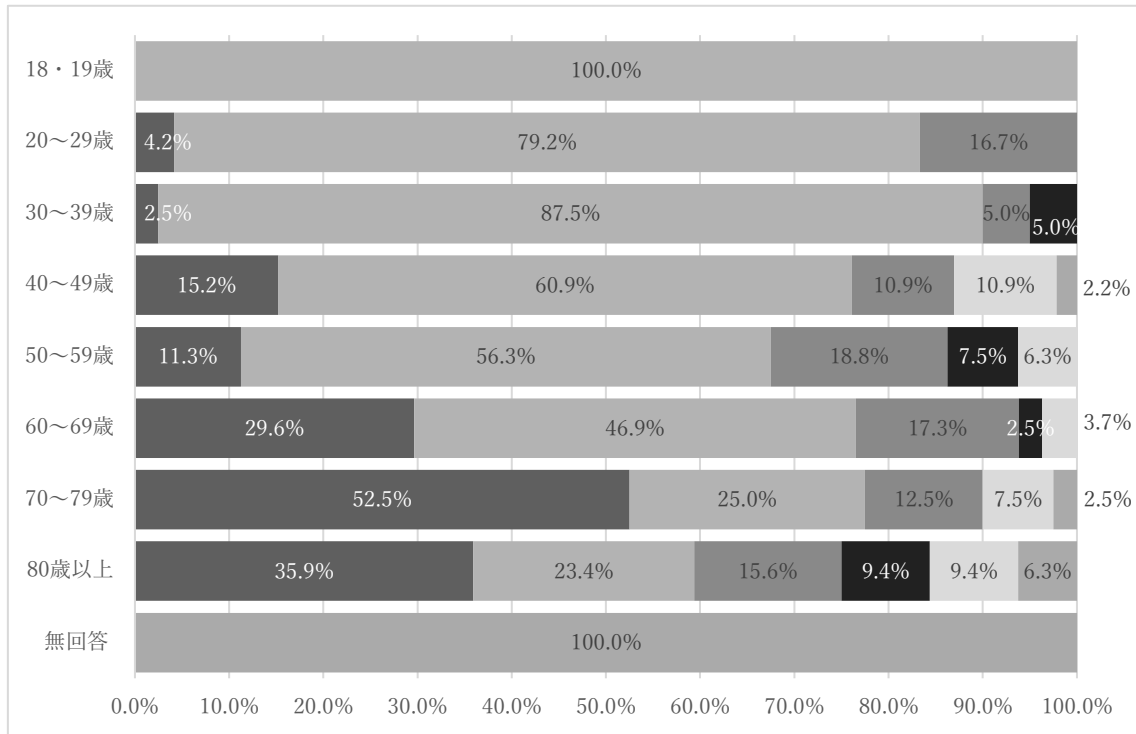


2. 安全・安心について

問5	あなたは地域で行っている自主防災訓練に参加したことはありますか。また、参加したことがない方は、どうして参加しないのですか。	単一回答
----	---	------

全体では、「ある」が 25.7%、「ない」が 72.4%でした。「ない」の中では「知らなかった」が 48.2%で最多でした。年代別では「70 歳～79 歳」の「ある」が 52.5%と他の年代と比べて高い傾向となっています。また居住年数別では、「10 年以上」の「ある」が 32.7%となり、居住年数が長いと自主防災訓練に参加する割合が高くなる傾向が見られました。性別では男性の割合が若干多くなっています。



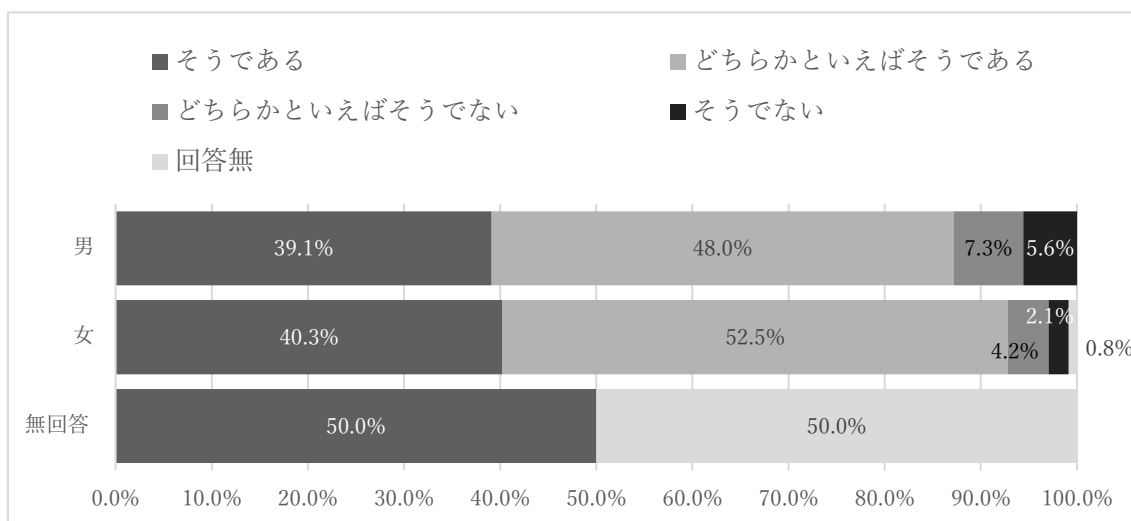
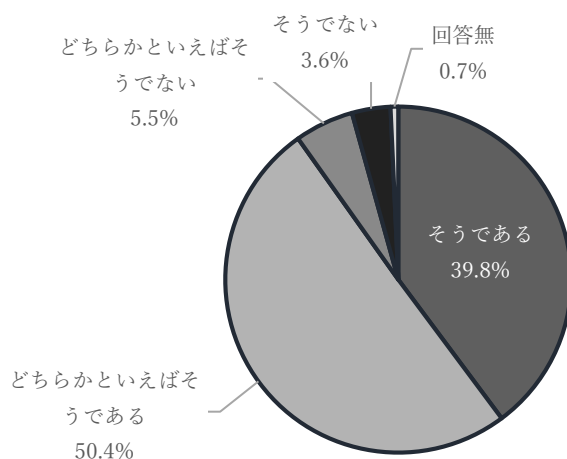


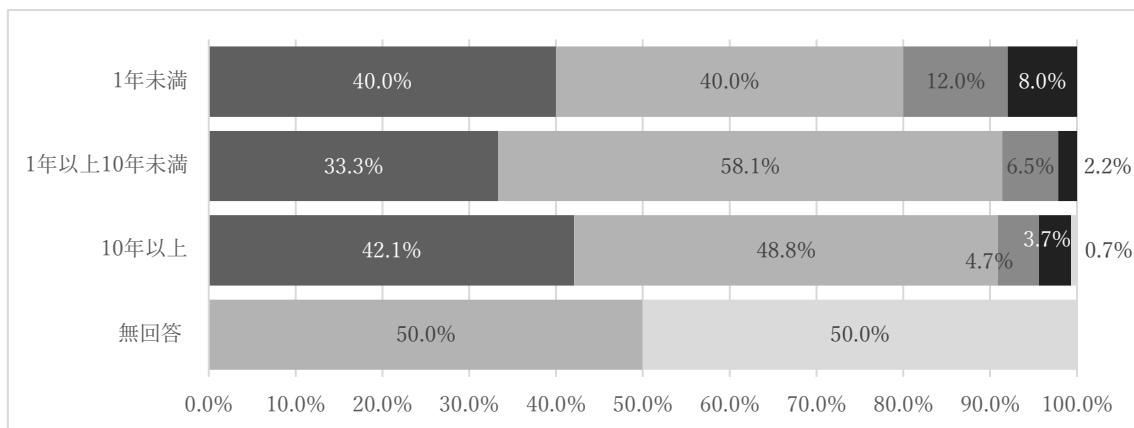
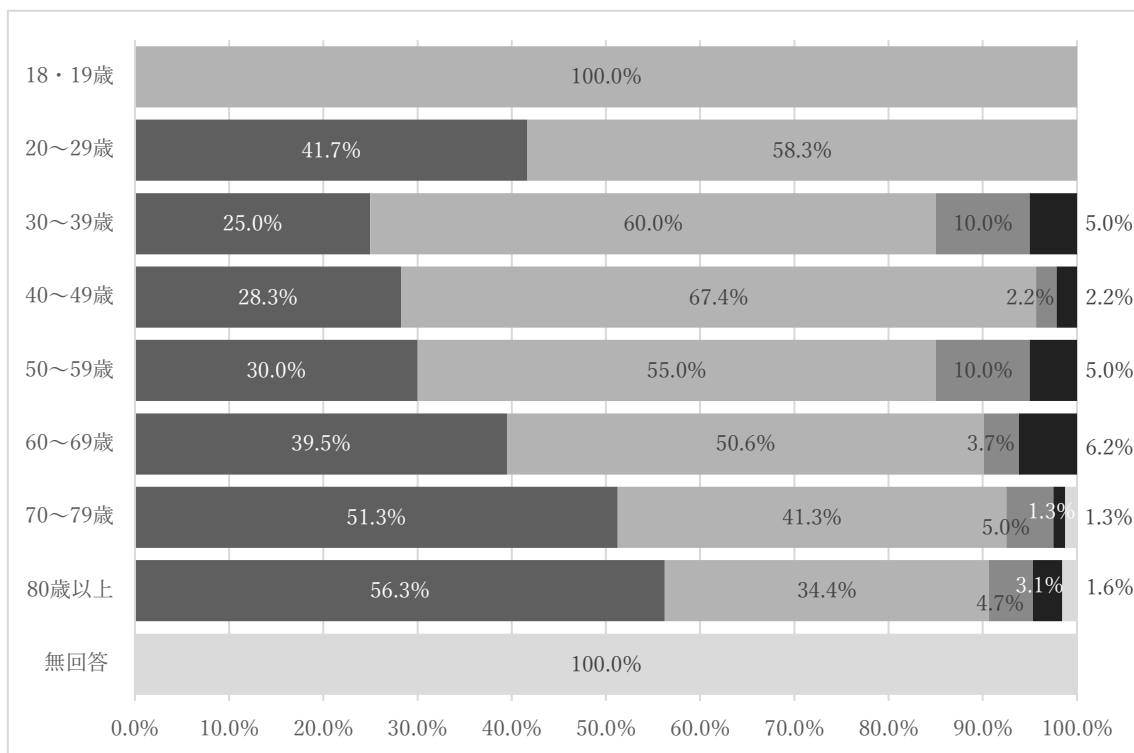
問6

あなたは地域での日頃からの防災訓練などの防災活動が重要だと感じますか。

単一回答

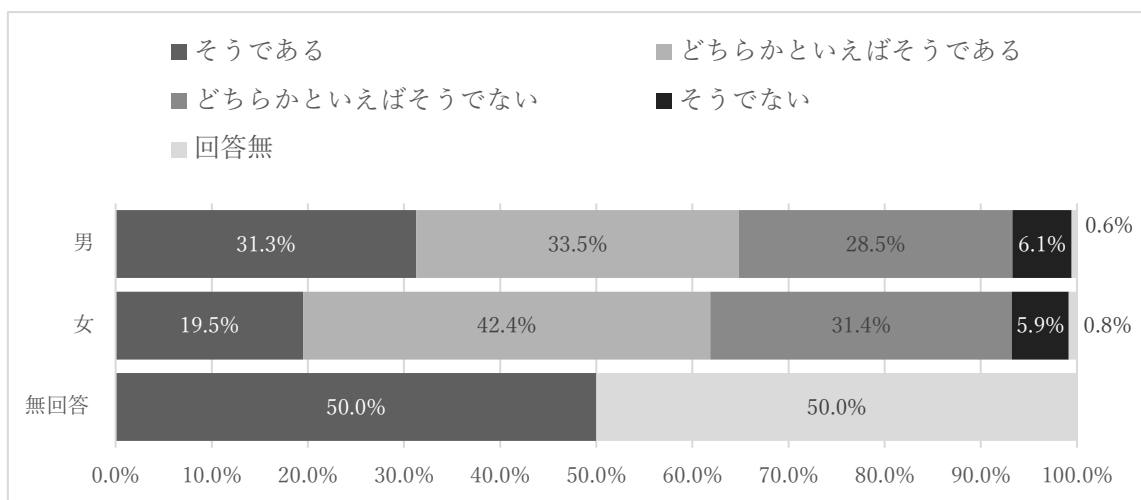
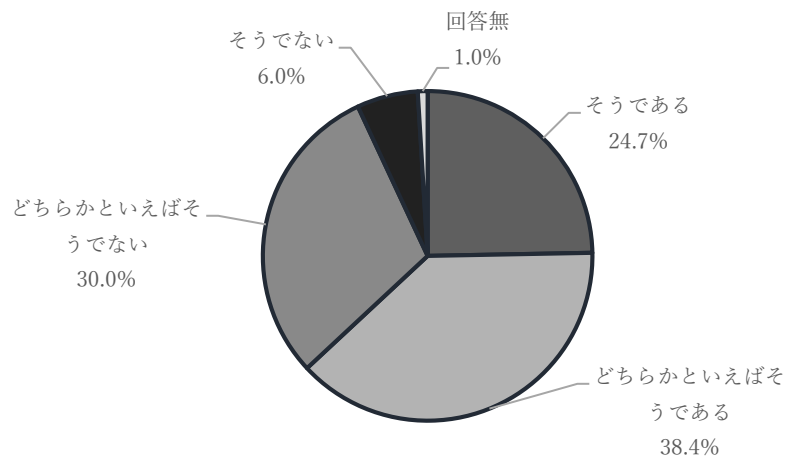
全体では、「どちらかといえばそうである」が 50.4%と最も高く、次いで「そうである」が 39.8%の順となっており、両方を合わせた肯定的意見の割合は 90.2%と、大部分の方が日頃からの防災活動は重要と感じています。性別では、「そうである」と回答された男性の割合は 39.1%、女性は 40.3%となり、女性の方が高い割合を示しました。年代別では、「80 歳以上」の「そうである」が 56.3%と他の年代と比べて高い傾向となっています。居住年数別では、「そうである」と回答された方の割合は「10 年以上」の方が 42.1%と最も多くなり、日頃からの防災活動が重要だと感じる傾向が見られました。

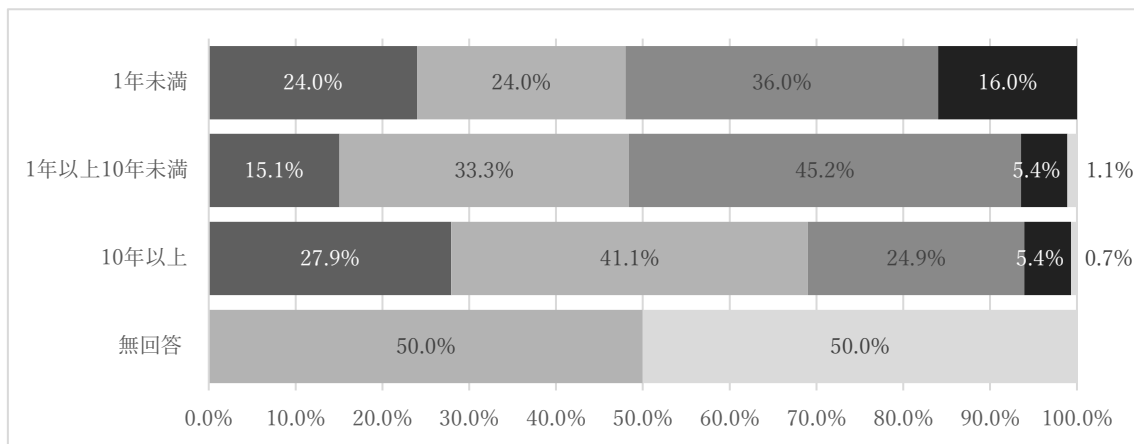
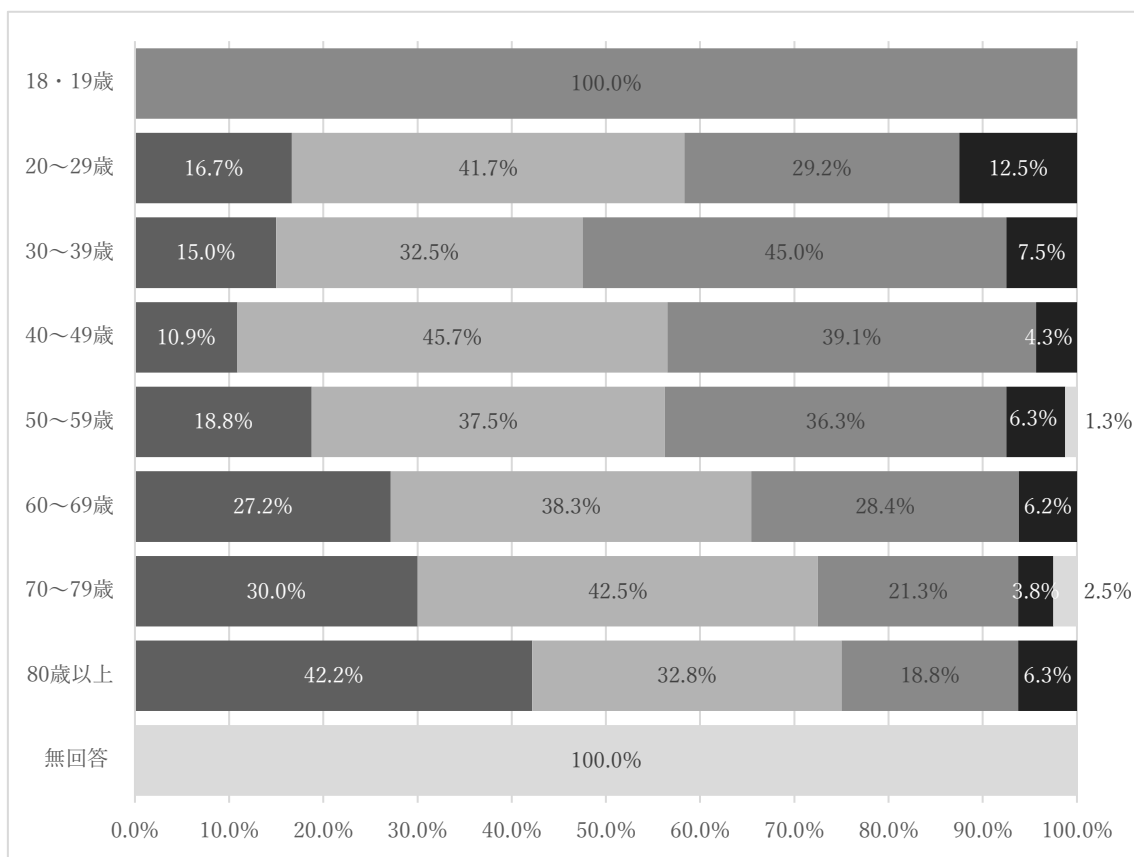




問7	あなたは災害発生時にどう行動したらいいか日頃から意識していますか。	単一回答
----	-----------------------------------	------

全体では、「どちらかといえばそうである」が38.4%と最も高く、「そうである」と回答された方の割合24.7%を合わせた肯定的意見の割合は63.1%となりました。年代別では、肯定的意見に回答された方の割合が最も高かったのは「80歳以上」で75%となりました。居住年数別では、肯定的意見を回答された「1年未満」の方の割合は48.0%でしたが、「10年以上」では69.0%となり、居住年数が長いと住民の防災意識が高まっていると感じているとの傾向が見られました。性別では、男女とも大きな差異は見られませんでした。



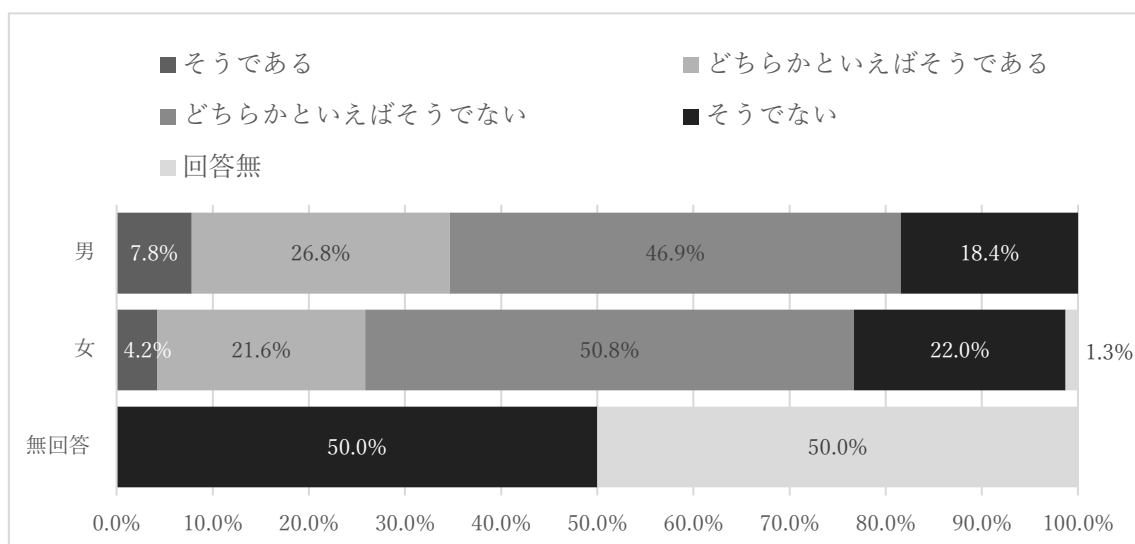
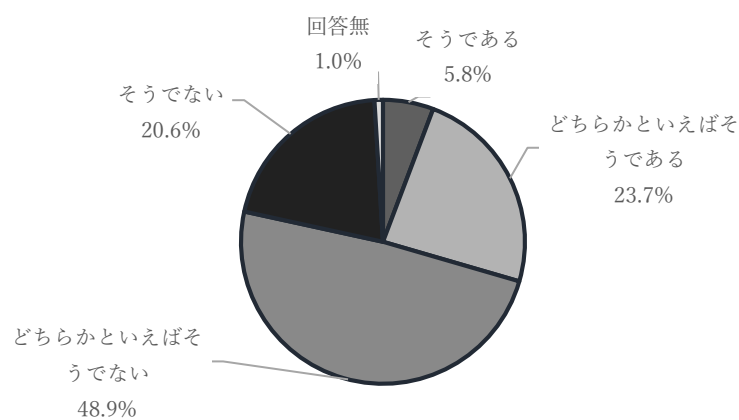


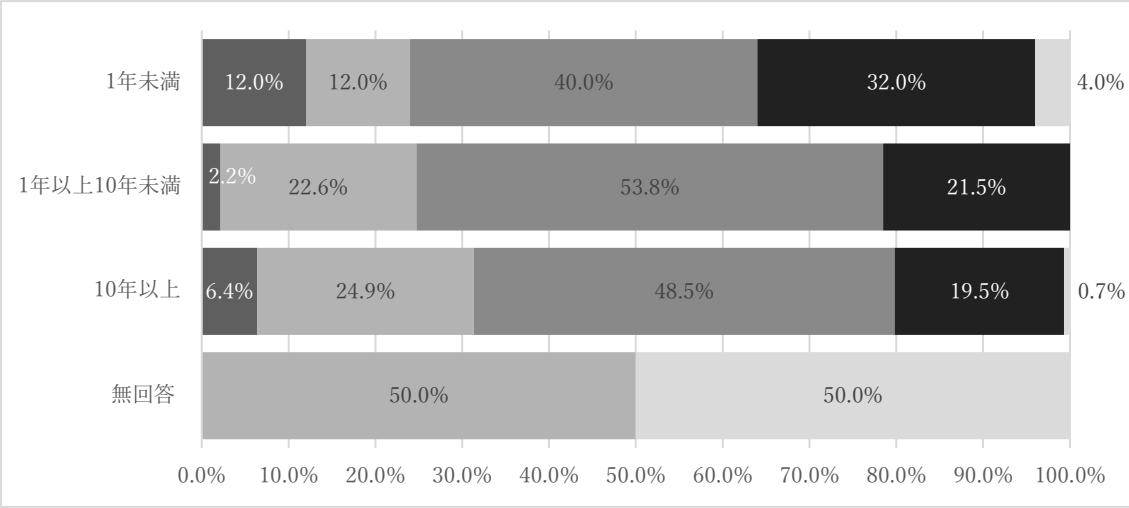
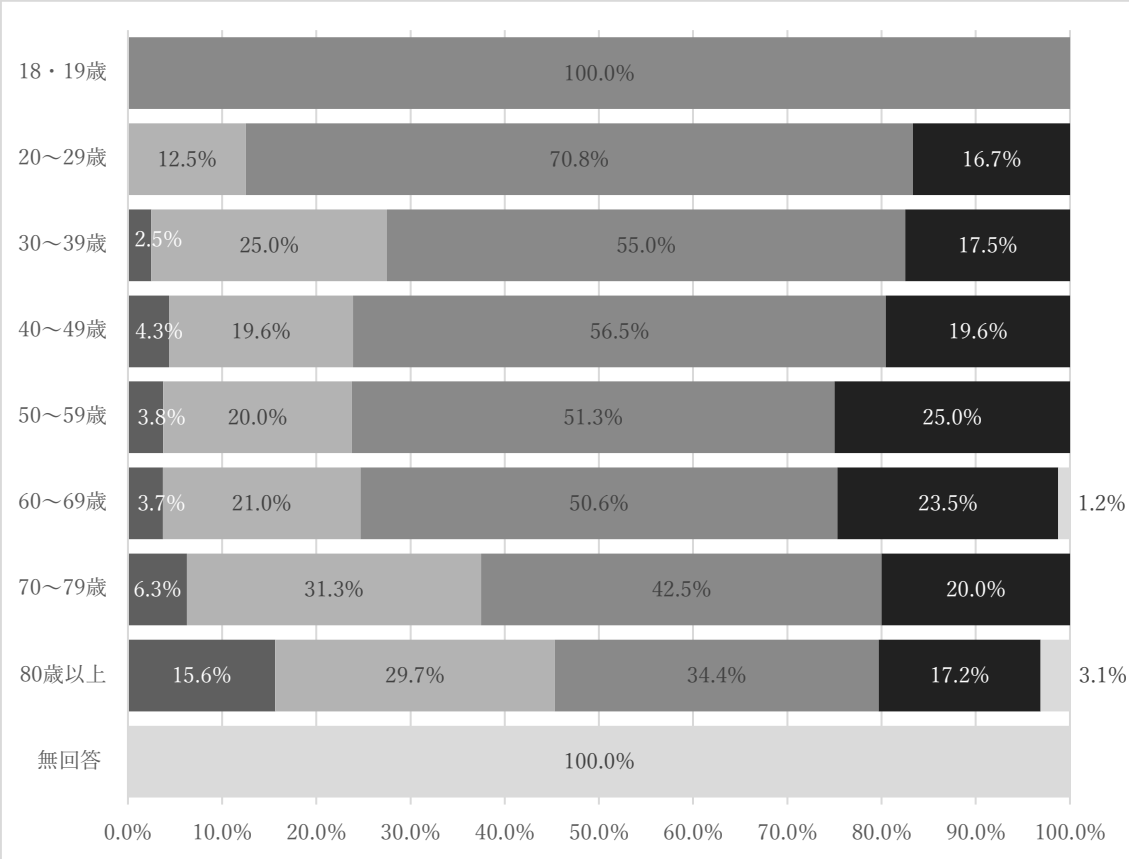
問8

あなたは住民の防災意識が高まっていると感じますか。

単一回答

全体では、「どちらかといえばそうでない」が 48.9%と最も高く、「そうでない」と回答された方の割合 20.6%を合わせた否定的意見の割合は 69.5%となりました。年代別では、肯定的意見に回答された方の割合が最も高かったのは「80 歳以上」で 45.3%となりました。居住年数別では、肯定的意見を回答された「1 年未満」の方の割合は 24.0%でしたが、「10 年以上」では 31.3%となり、居住年数が長いと住民の防災意識が高まっていると感じているとの傾向が見られました。性別では、男女とも大きな差異は見られませんでした。



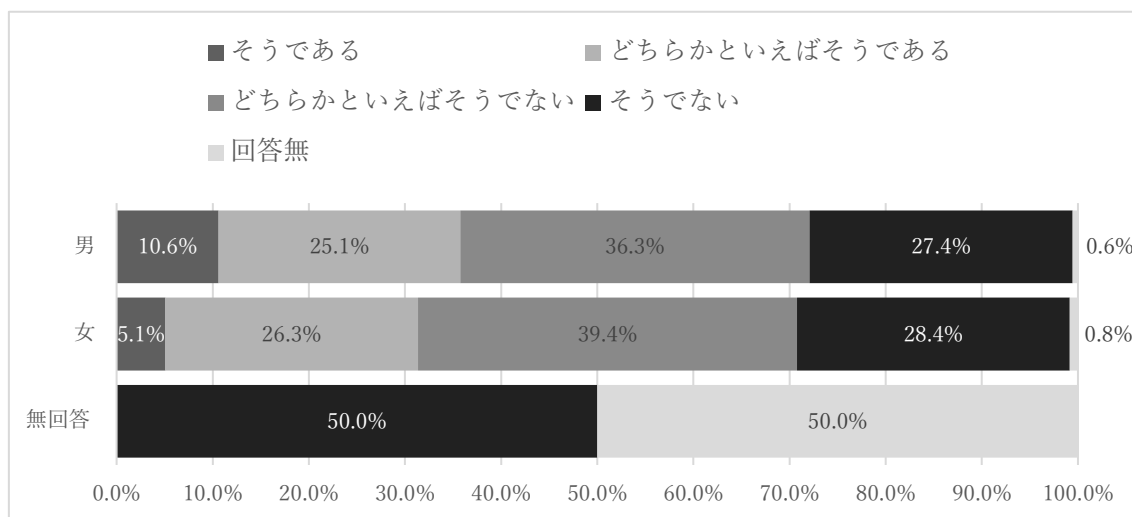
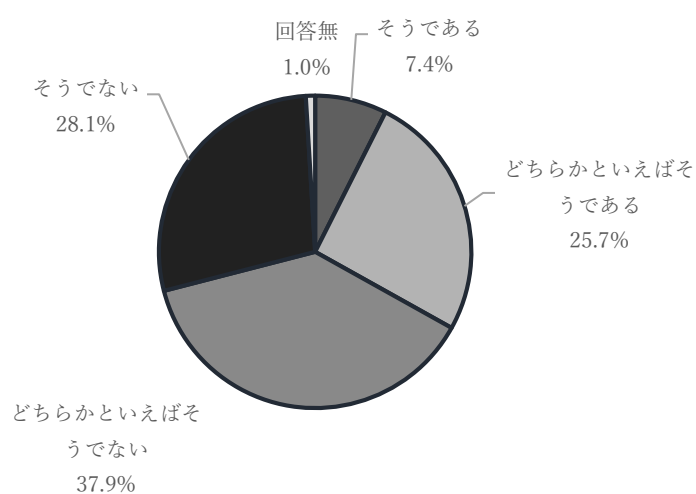


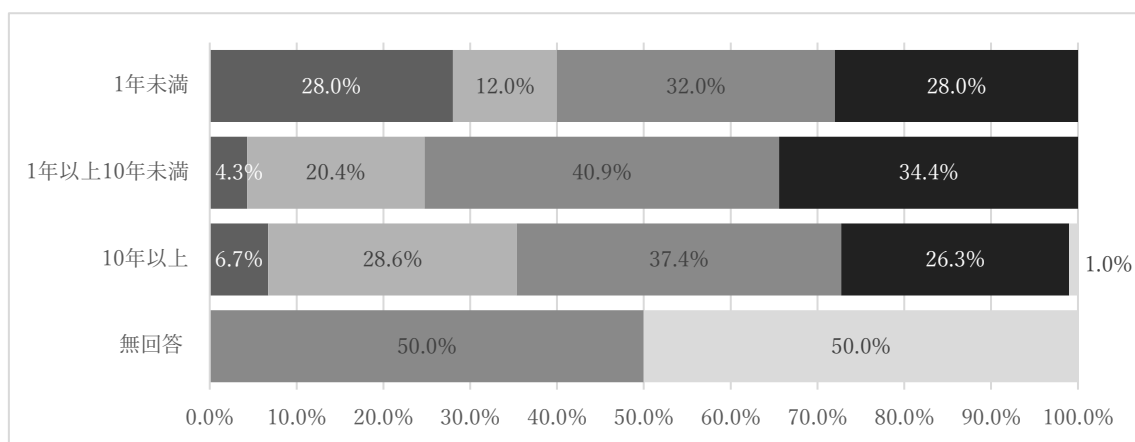
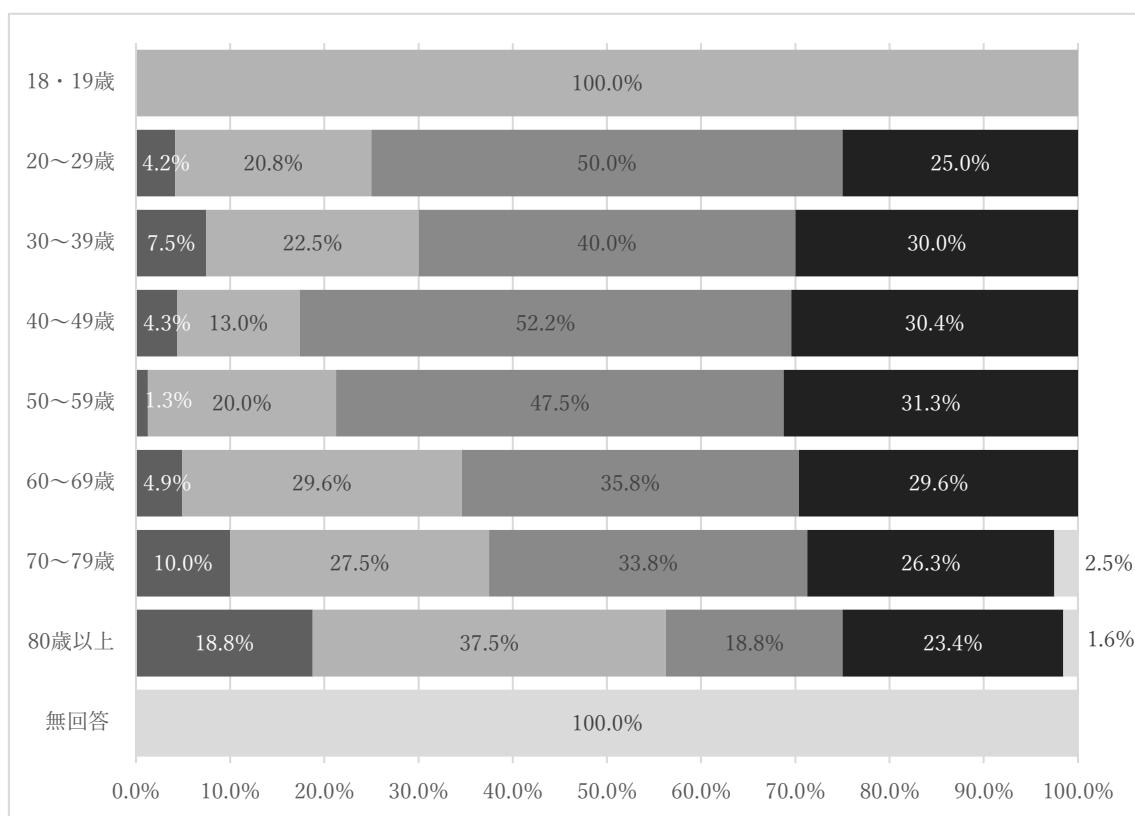
問9

あなたは住民同士が協力して、防災に向けて「自分たちの地域は自分たちで守る」活動をしていると感じていますか。

単一回答

全体では、「どちらかといえばそうでない」が 37.9%でした。「そうでない」と回答された方の割合 28.1%を合わせた否定的意見の割合は 66.0%となりました。年代別では、肯定的意見に回答された方の割合が最も高かったのは「80 歳以上」で 37.5%となりました。居住年数別では、肯定的意見を回答された「1 年未満」の方の割合は 40.0%と最も多い結果となりました。性別では、男女とも大きな差異は見られませんでした。



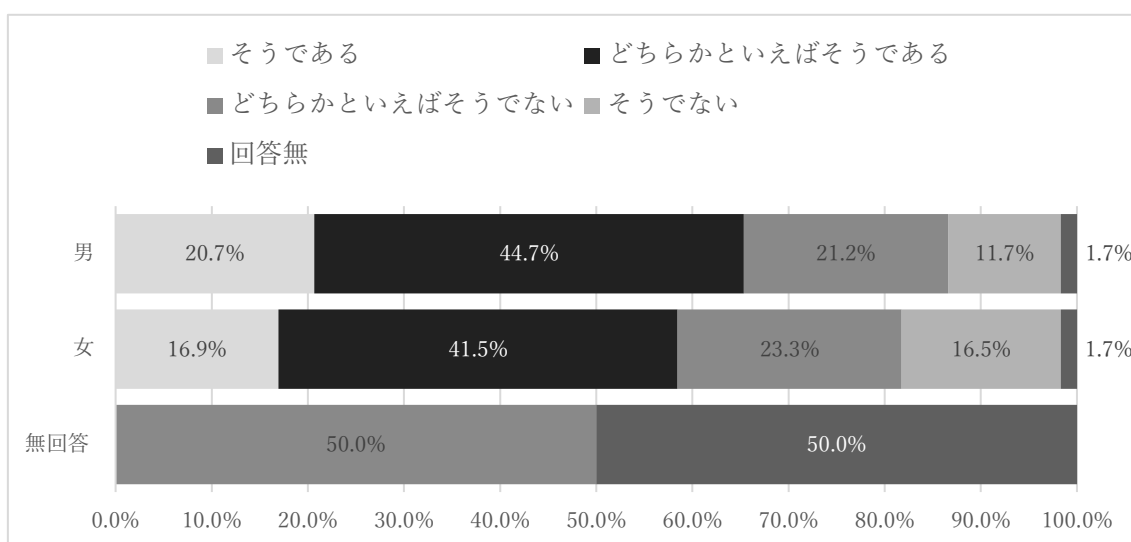
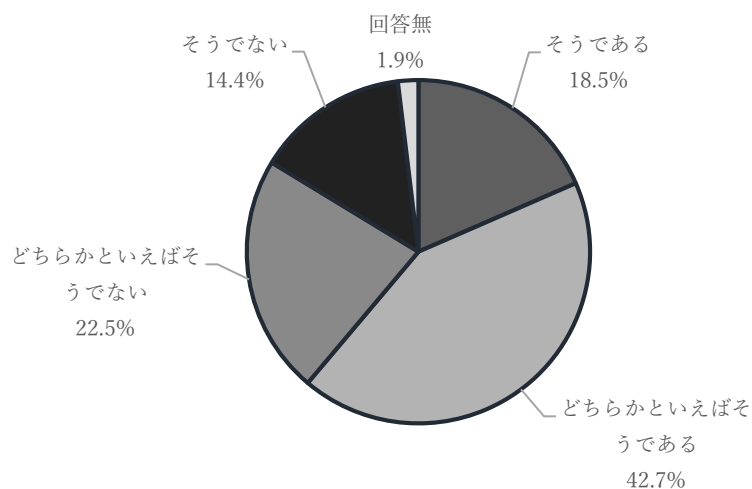


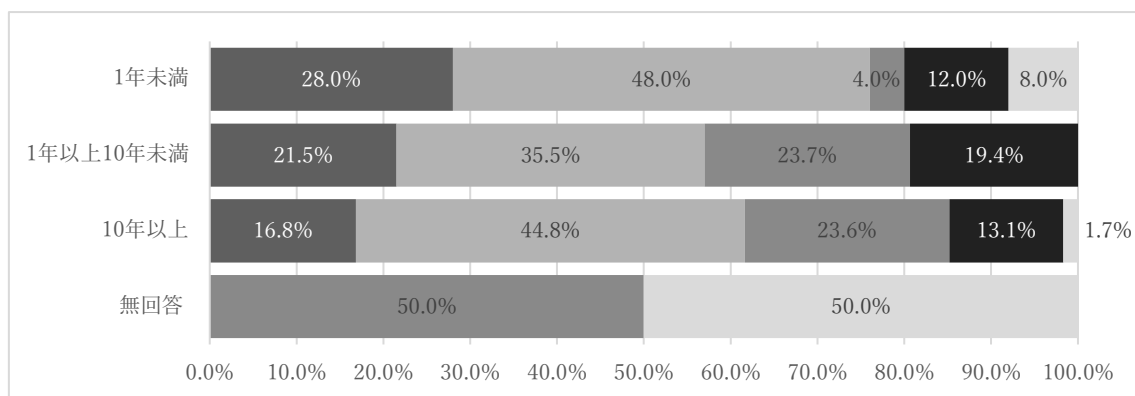
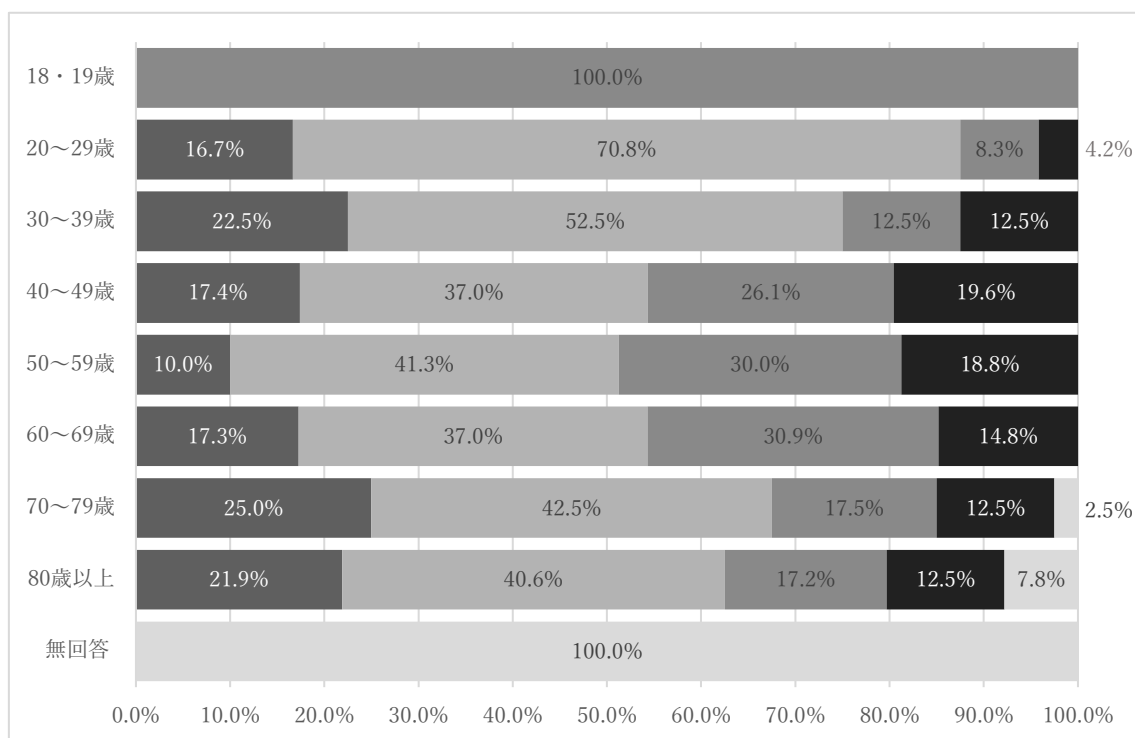
問 10

あなたは地域住民の防犯活動が、地域の安全につながっていると感じますか。

単一回答

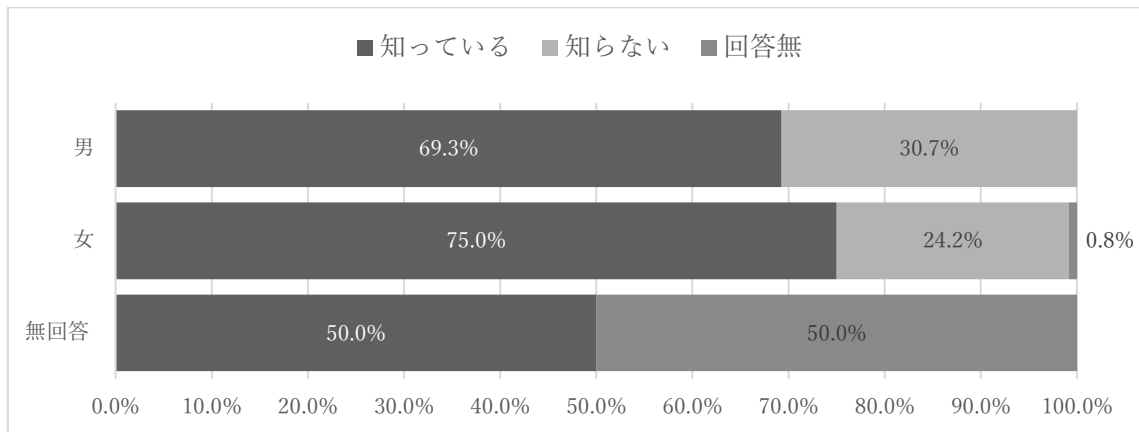
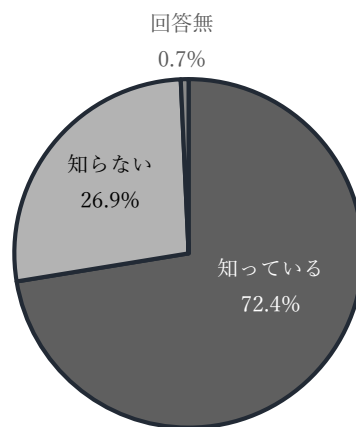
全体では、「どちらかといえばそうである」が 42.7%と最も高く、次いで「どちらかといえばそうでない」が 22.5%の順となりました。ただし、「そうである」と「どちらかといえばそうである」をあわせた肯定的意見の割合は 61.2%となり、半数以上の方が地域住民の防犯への取組が、地域の安全につながっていると感じています。年代別で肯定的意見の割合が最も高かった年代は「20～29 歳」で 70.8%となりました。どの居住年数も「どちらかといえばそうである」が最も多く最多は「1 年未満」の 48.0%でした。性別では、大きな差異は見られませんでした。

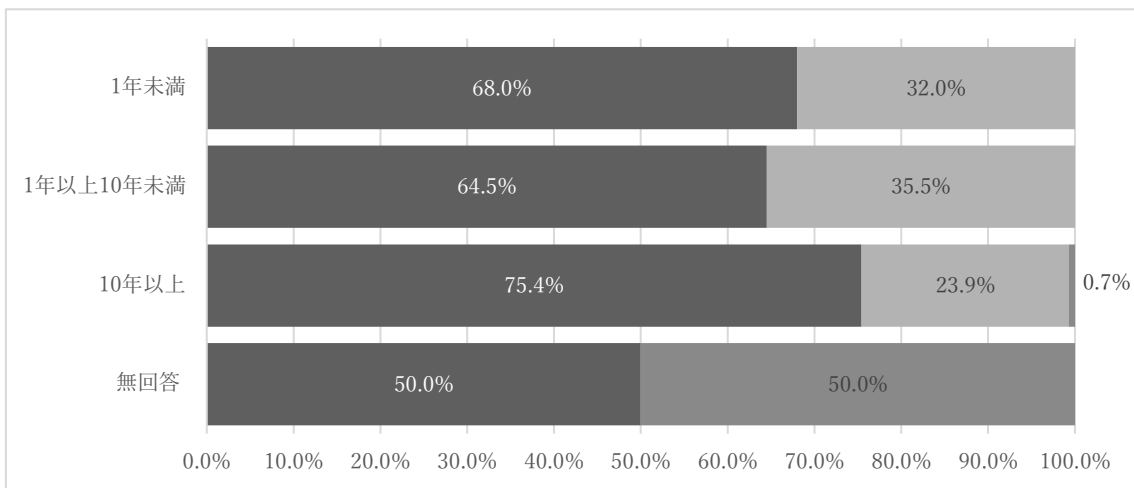
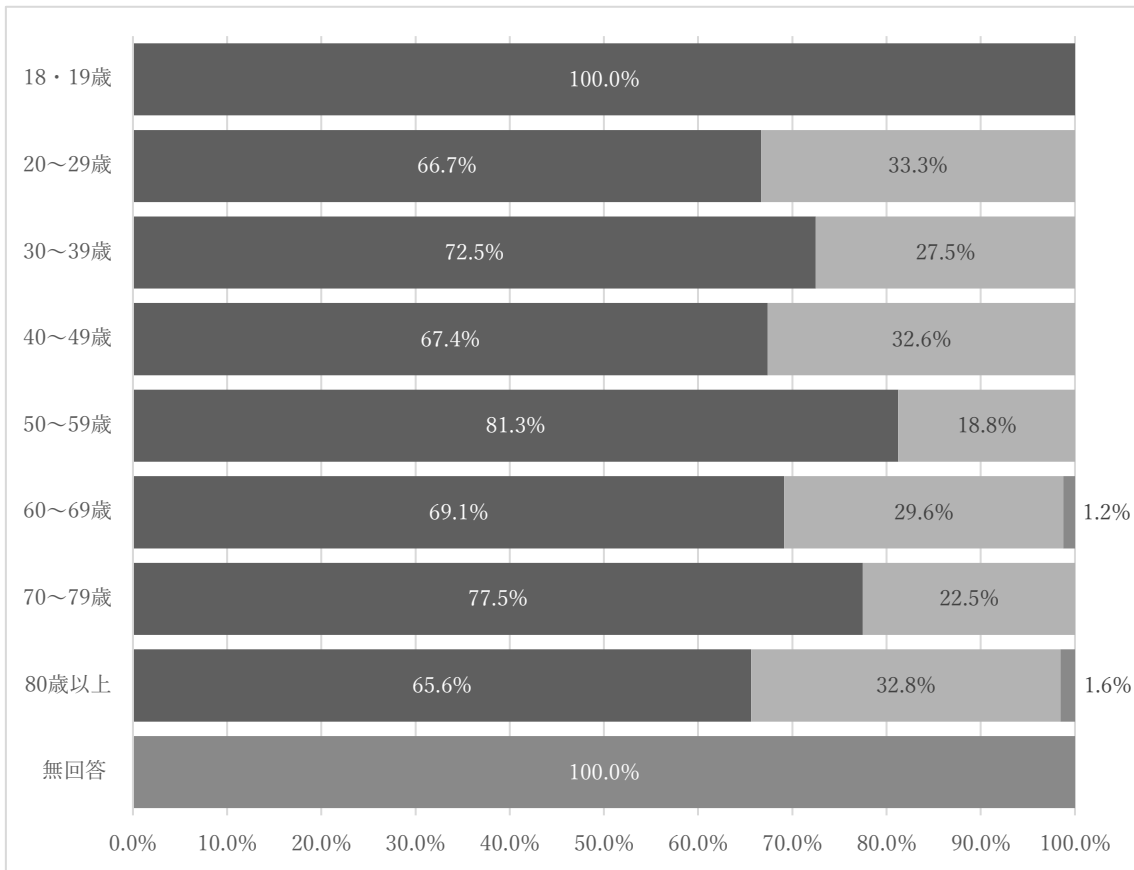




問 11	あなたは市民防災マニュアル、区や地域の防災マップ・水害ハザードマップ、地域防災計画などを知っていますか。	単一回答
------	--	------

全体では「知っている」と回答された方の割合は 72.4%、「知らない」は 26.9%と「知っている」と回答された割合は 70%を超えていました。年代別では、「知っている」と回答された方の割合は「80 歳以上」で 65.6%と最も低く、「50～59 歳」で 81.3%と最も高い結果となりました。性別、居住年数別では大きな差異は見られませんでした。



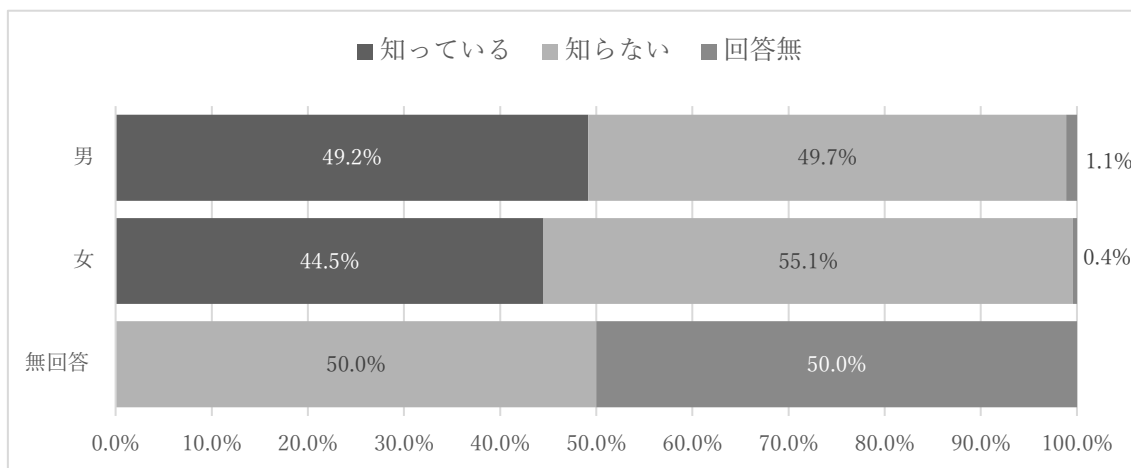
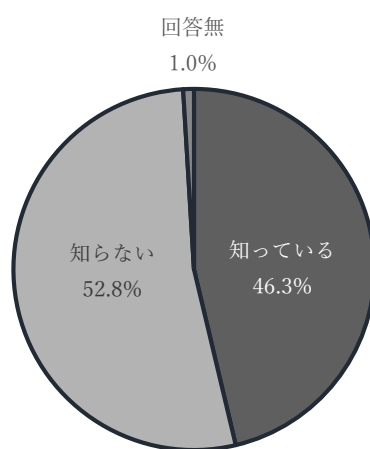


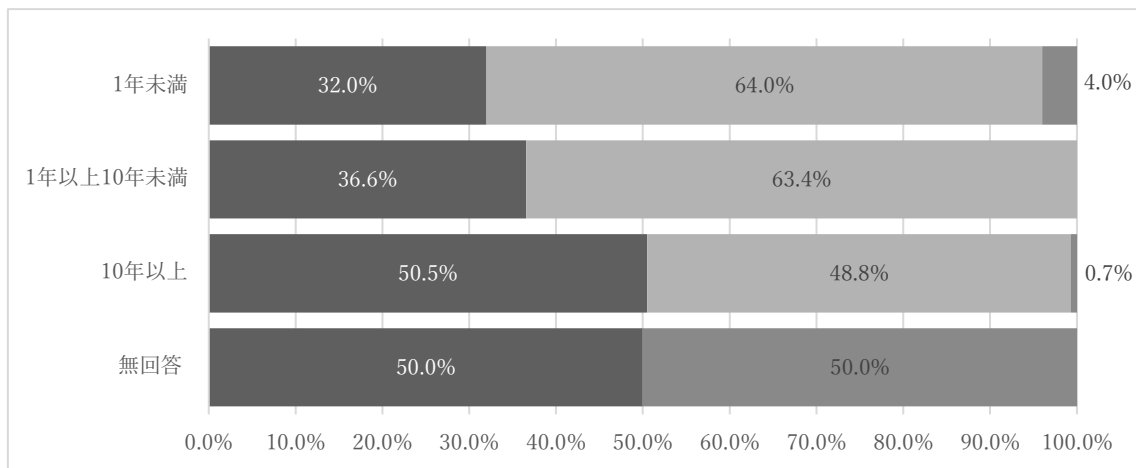
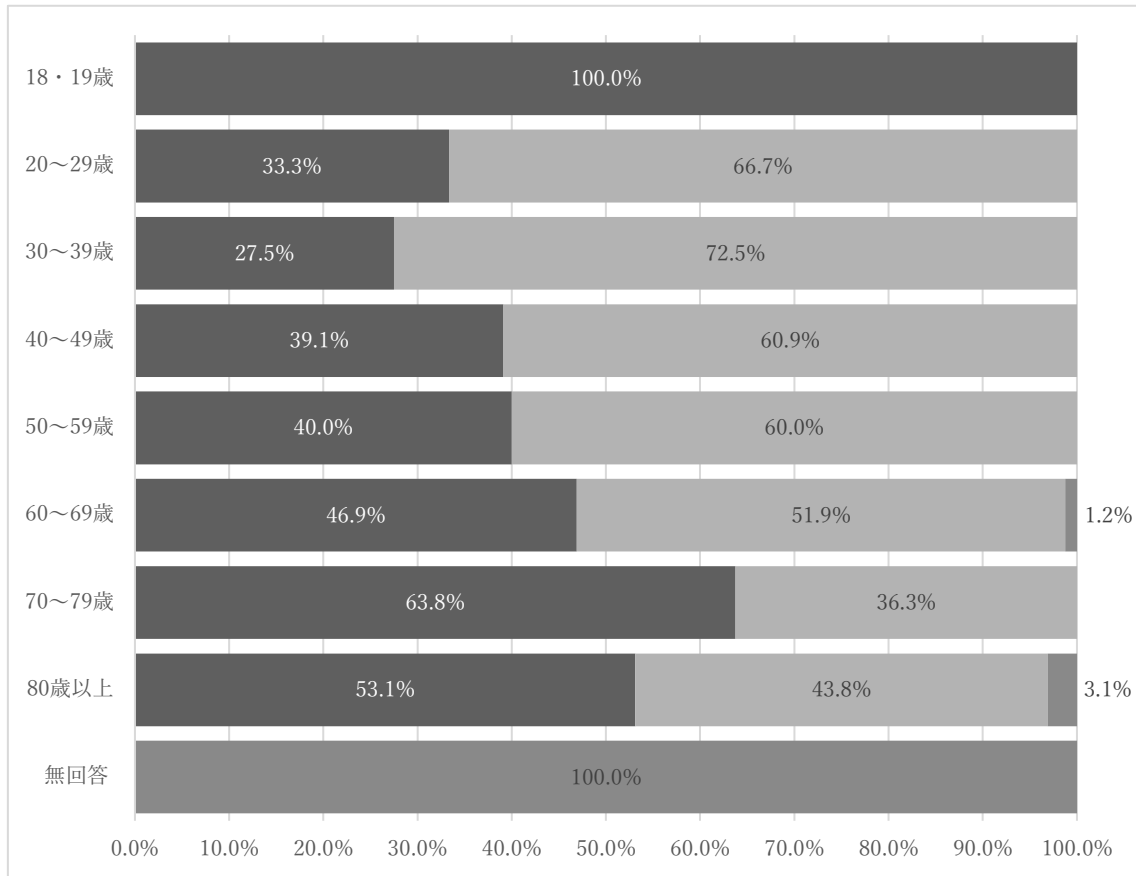
問 12

あなたは自転車交通マナーアップに向けた取組みが行われていることを知っていますか。

単一回答

全体では「知っている」と回答された方の割合は 46.3%、「知らない」は 52.8%となりました。年代別では、「知っている」と回答された方の割合は「30～39 歳」で 27.5%と最も低い結果となりました。居住年数別では、「知っている」と回答された「1 年未満」の方の割合は 32.0%、「10 年以上」で 50.5%となり居住年数が長いと取組が行われていることをより知っているという結果となりました。性別では大きな差異は見られませんでした。



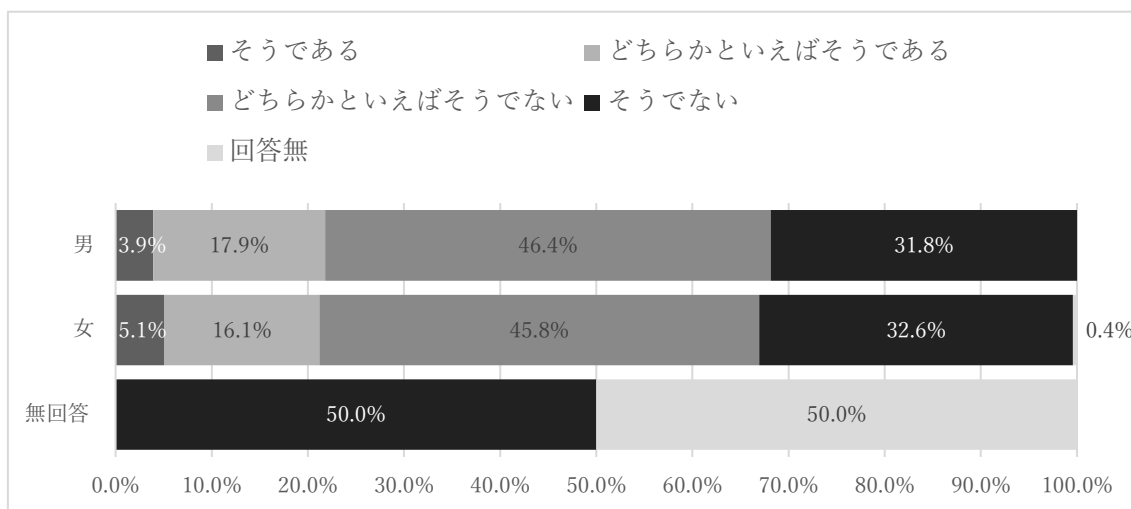
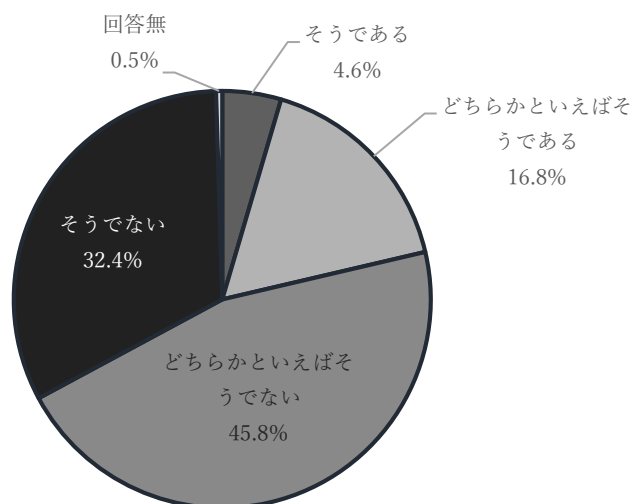


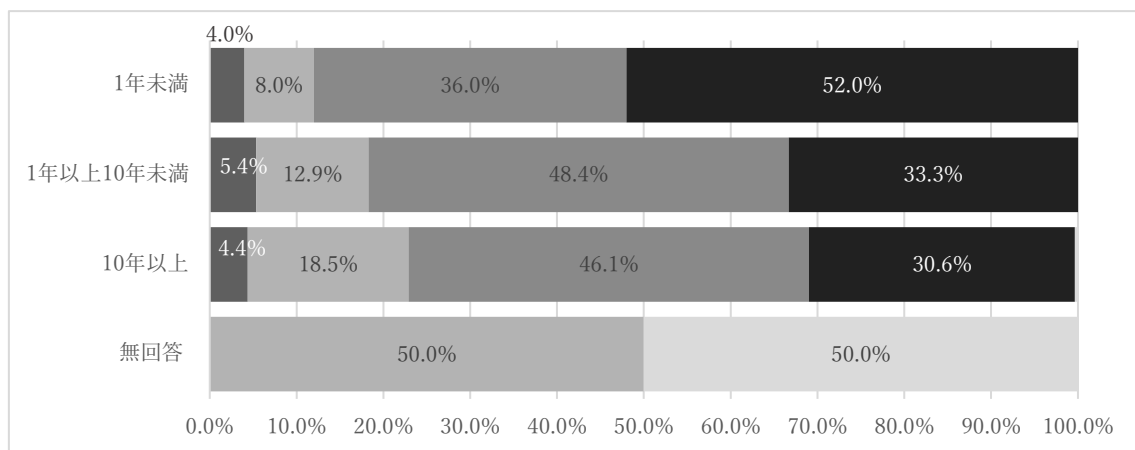
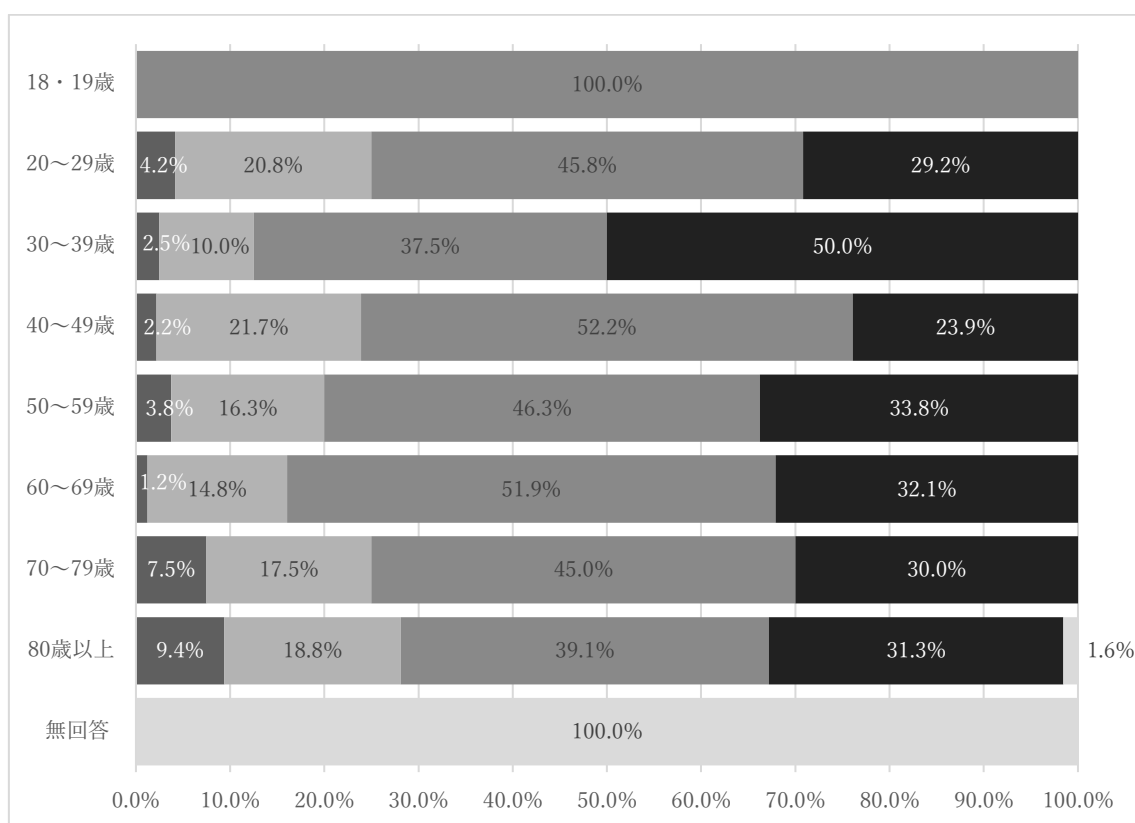
問 13

あなたは区民の自転車交通マナーが以前より向上していると感じますか。

単一回答

全体で最も多い回答は「どちらかといえばそうでない」で割合は 45.8%となりました。「そうでない」の割合をあわせると 78.2%となり、80%の方が自転車のマナーが向上していないと感じていることがわかります。年代別では、「そうである」と「どちらかといえばそうである」を合計した肯定的意見の割合は「80 歳以上」で 28.2%と最も高い結果となりました。居住年数別では、肯定的意見の割合は「1 年未満」が 12.0%、「10 年以上」が 22.9%と居住年数が長くなるにつれて区民の自転車交通マナーが以前より向上していると感じています。性別による大きな差異は見られませんでした。

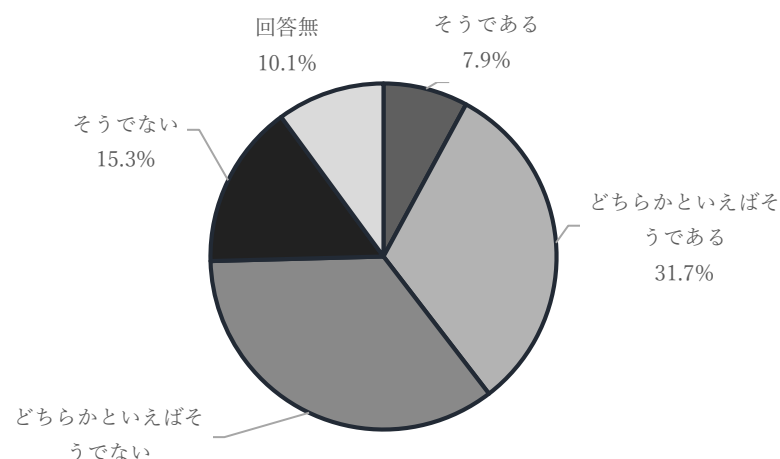


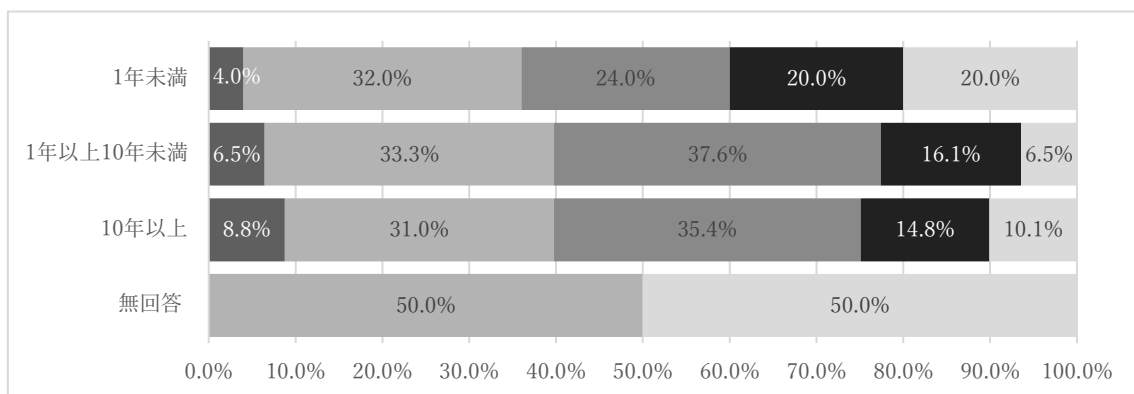
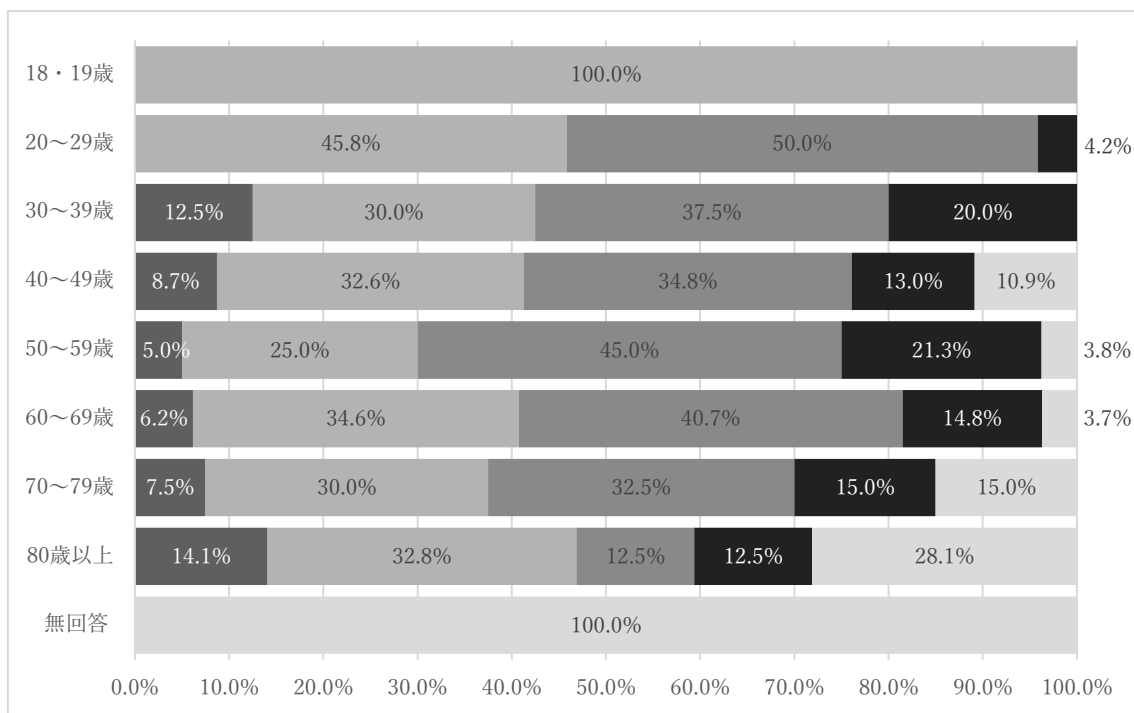
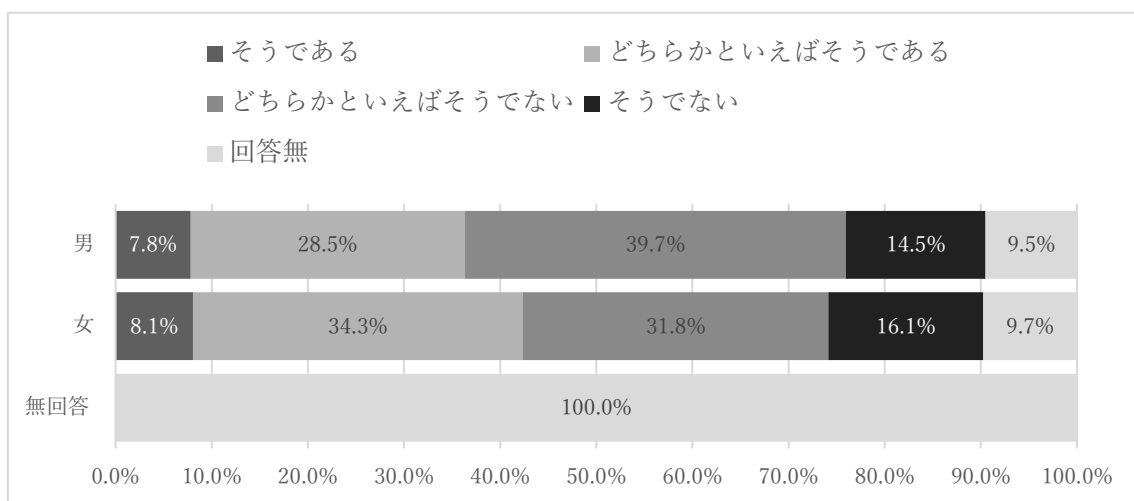


3. 子育て・教育について

問 14	あなたは区内の各小中学校で、地域との連携や学校独自の取り組みなど特色ある学校づくりが進められていると感じますか。	単一回答
------	--	------

全体では「どちらかといえばそうでない」と回答された方の割合が最も高く 35.0%でした。次いで「どちらかといえばそうである」が 31.7%ですが、「そうである」と合わせた肯定的意見の割合は 39.6%と半数を下回っています。性別では、「男性」の肯定的意見の割合は 36.3%、「女性」は 42.4%となり、女性のほうが特色ある学校づくりが進められていると感じている結果となりました。年代別では肯定的意見の割合が最も低かった年代は「50～59 歳」で 30.0%となりました。居住年数別では、肯定的意見の割合が「1 年以上 10 年未満」「10 年以上」の方が同率の 39.8%、「1 年未満」36.0%となりました。居住年数別では、大きな差異はありませんでした。



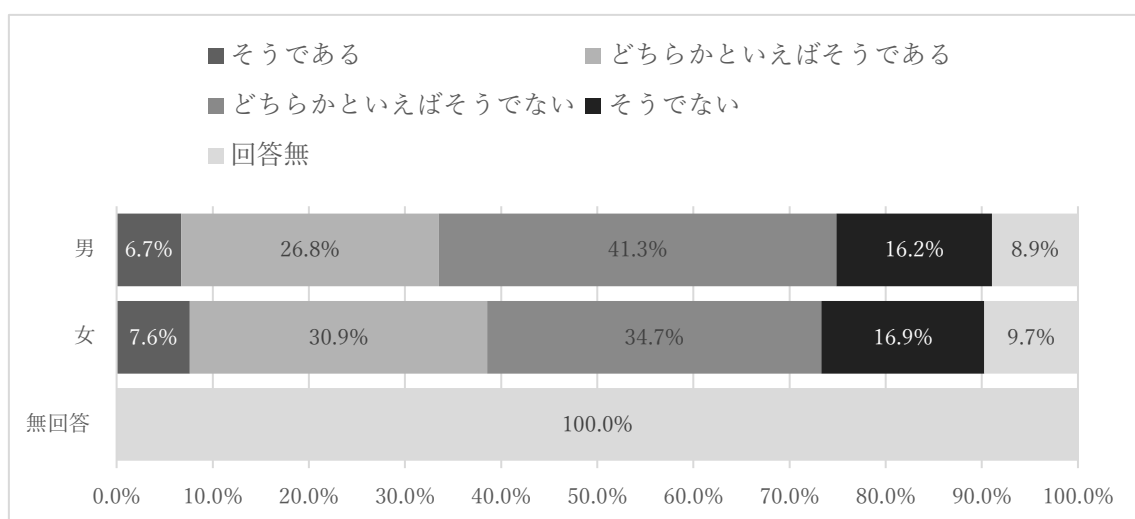
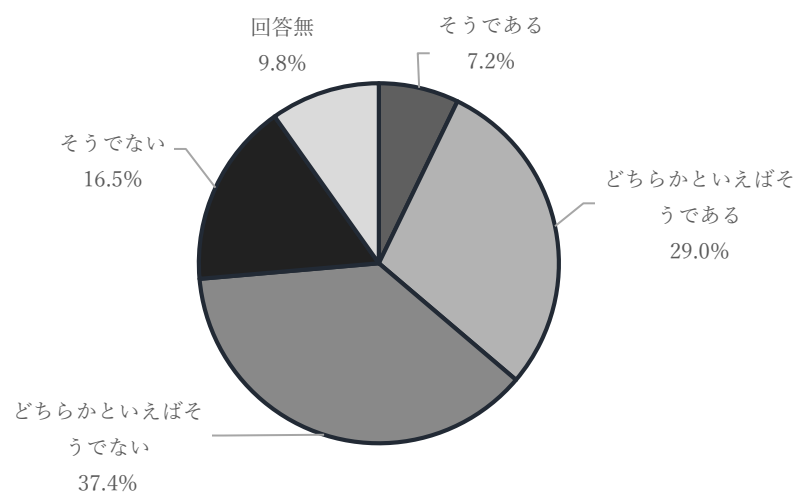


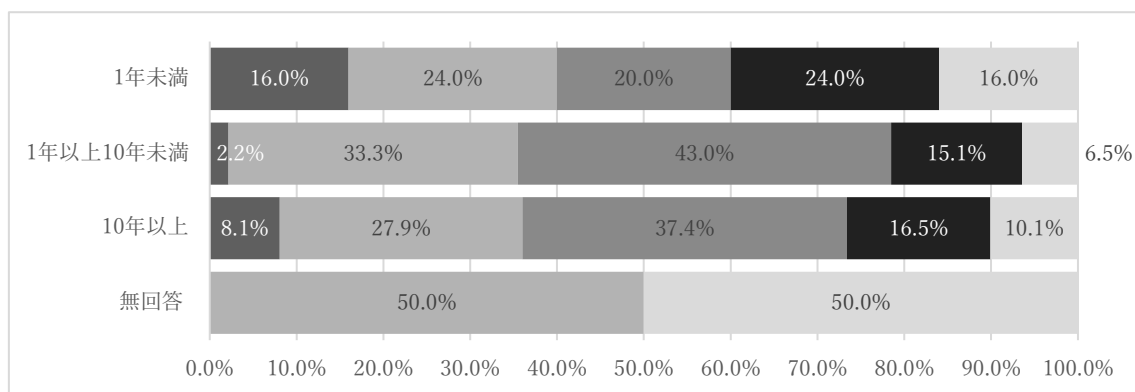
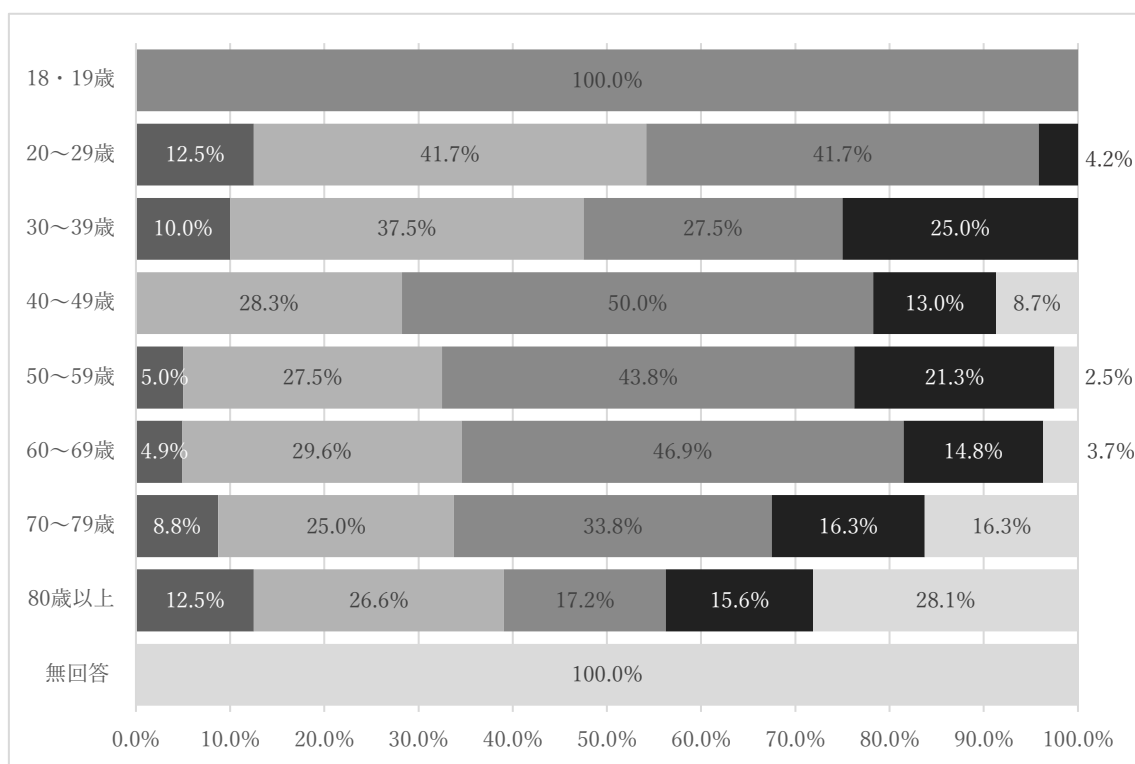
問 15

あなたは生野区では子どもや大人が学校だけでなく地域でさまざまな学習、体験や交流ができる機会があると感じますか。

単一回答

全体では、最も多かった回答は「どちらかといえばそうでない」で割合は 37.4%でした。「そうでない」を合わせた否定的意見の割合は 53.9%となり 半数以上の方が地域で学習等できる機会があると感じていない結果となりました。居住年数別では、「1 年以上 10 年未満」が 58.1%と最も高い結果となりました。性別による大きな差異は見られませんでした。



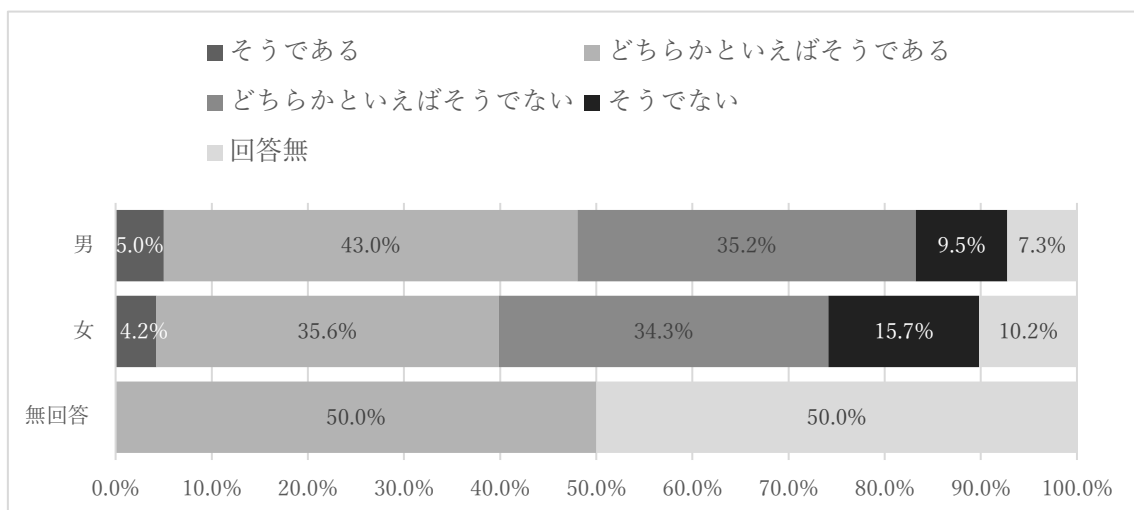
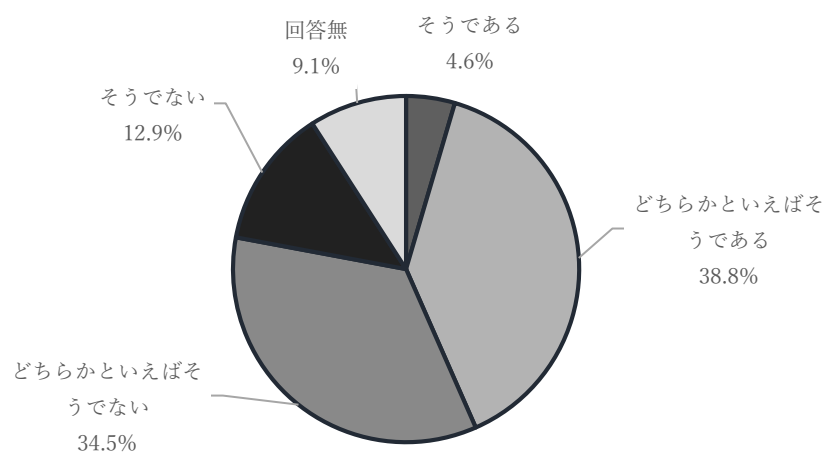


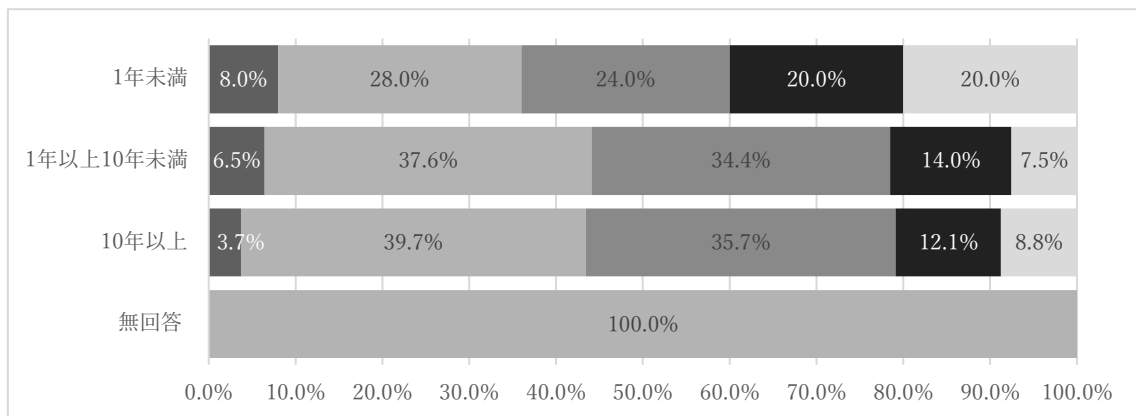
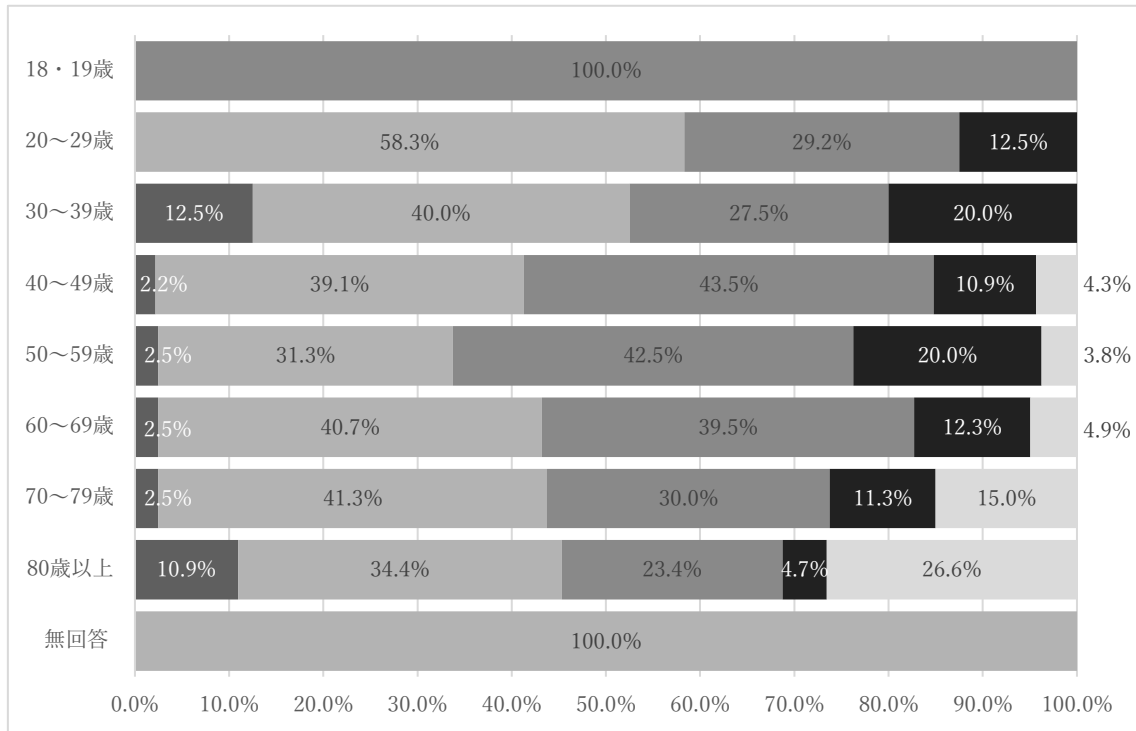
問 16

あなたは生野区では安心して子育てができる環境が整っていると感じますか。

単一回答

全体では「どちらかといえばそうである」と回答された方の割合が最も高く 38.8%となりました。性別では、「男性」の「そうである」と「どちらかといえばそうである」を合わせた肯定的意見の割合は 48.0%、「女性」は 39.8%となり、男性のほうが生野区は安心して子育てができる環境が整っていると感じている結果となりました。年代別では、「20～29 歳」で肯定的意見の割合が最も高く 58.3%となりました。居住年数別では、肯定的意見の割合が「1 年以上 10 年未満」の方が 44.1%と最も多い結果となりました



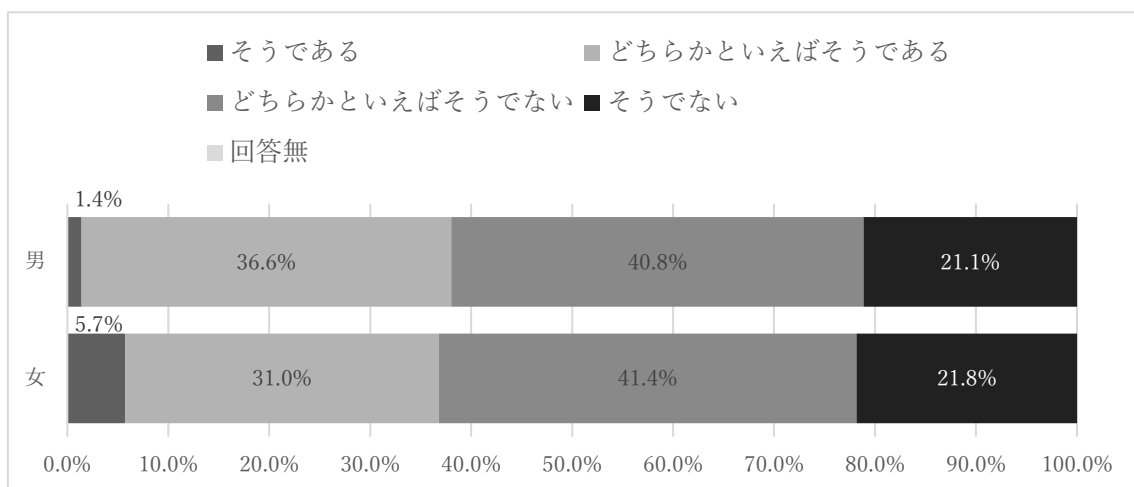
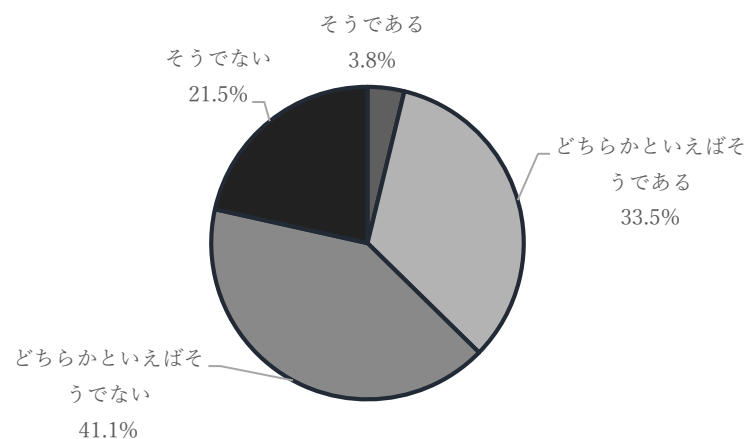


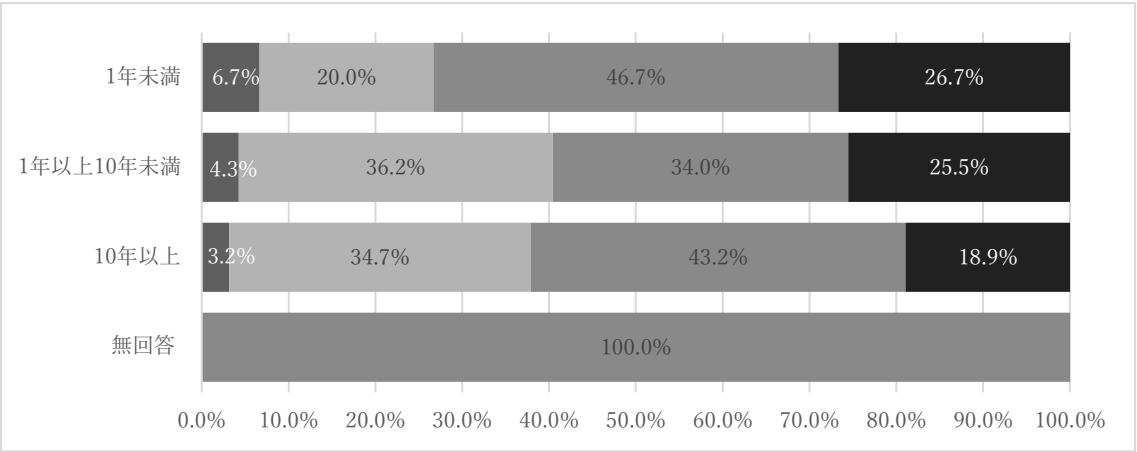
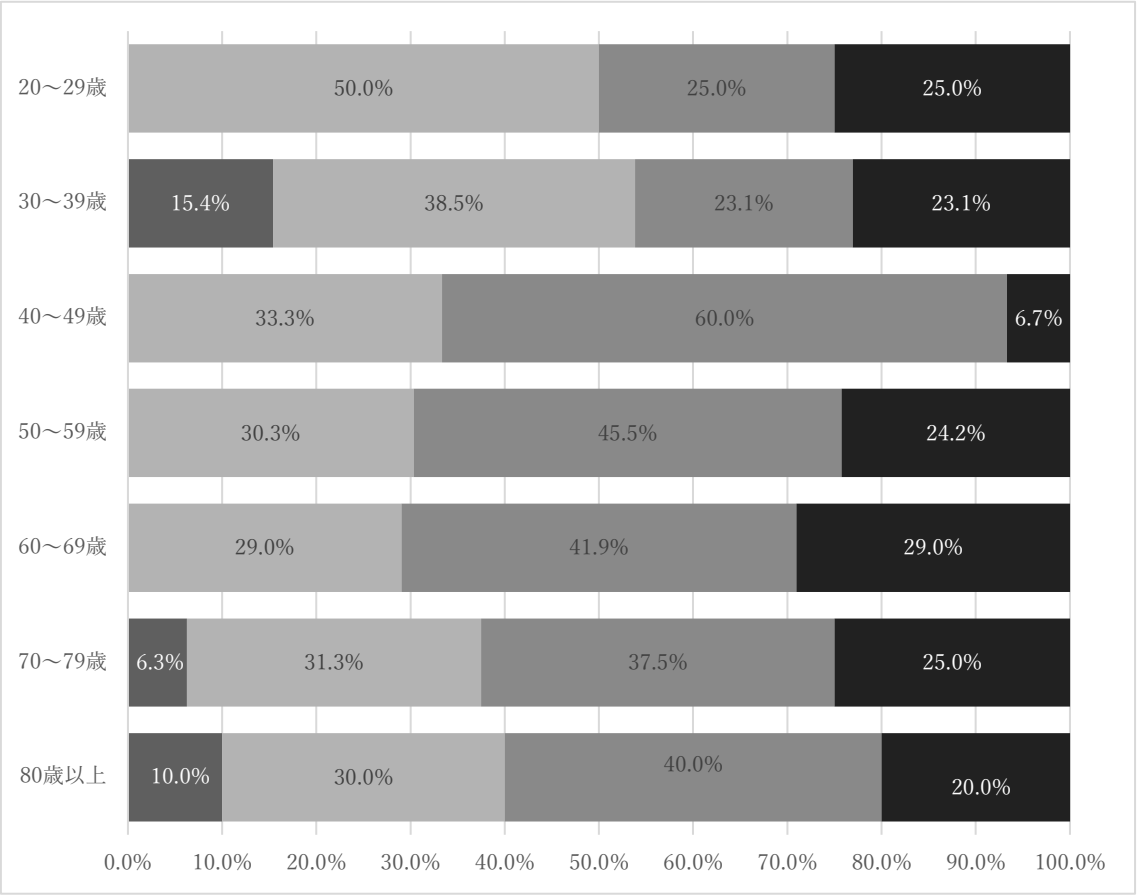
問 17

現在、子育てに関わっている方にお聞きします。生野区では、子育てに関する情報が入りやすいと感じていますか。

単一回答

全体では「どちらかといえばそうでない」と回答された方の割合が最も多く 41.1%となりました。次いで高い「どちらかといえばそうである」は 33.5%となり、「そうである」を合わせても肯定的意見の割合は 37.3%で、安心して子育てに関する情報が入りやすいと感じている方は半数を下回っています。性別では、「男性」の肯定的意見の割合は 38.0%、「女性」は 36.8%と、性別による大きな差異は見られませんでした。年代別では、肯定的意見の割合が最も高かったのは「30～39 歳」で 53.8%、最も低かったのは「60～69 歳」で 29.0%となりました。居住年数別では、「1 年未満」の否定的意見の割合は 73.3%と最も多く、子育てに関する情報が入りにくいと感じている傾向が見られました。



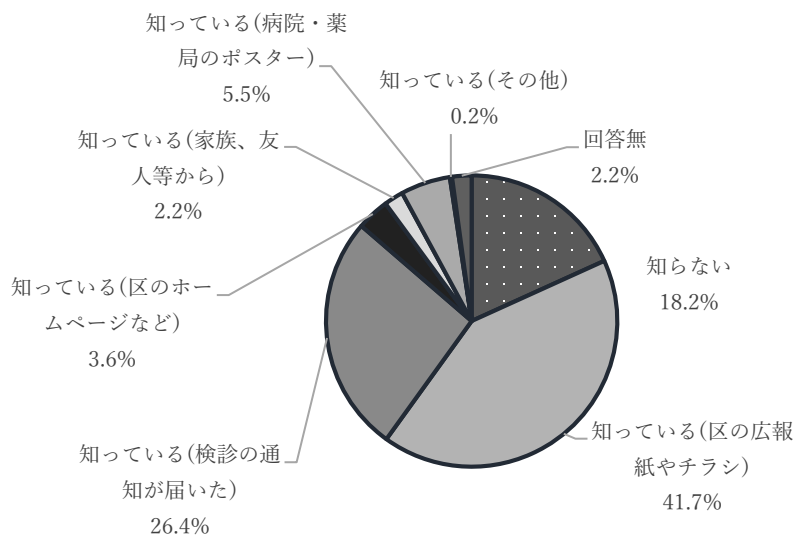


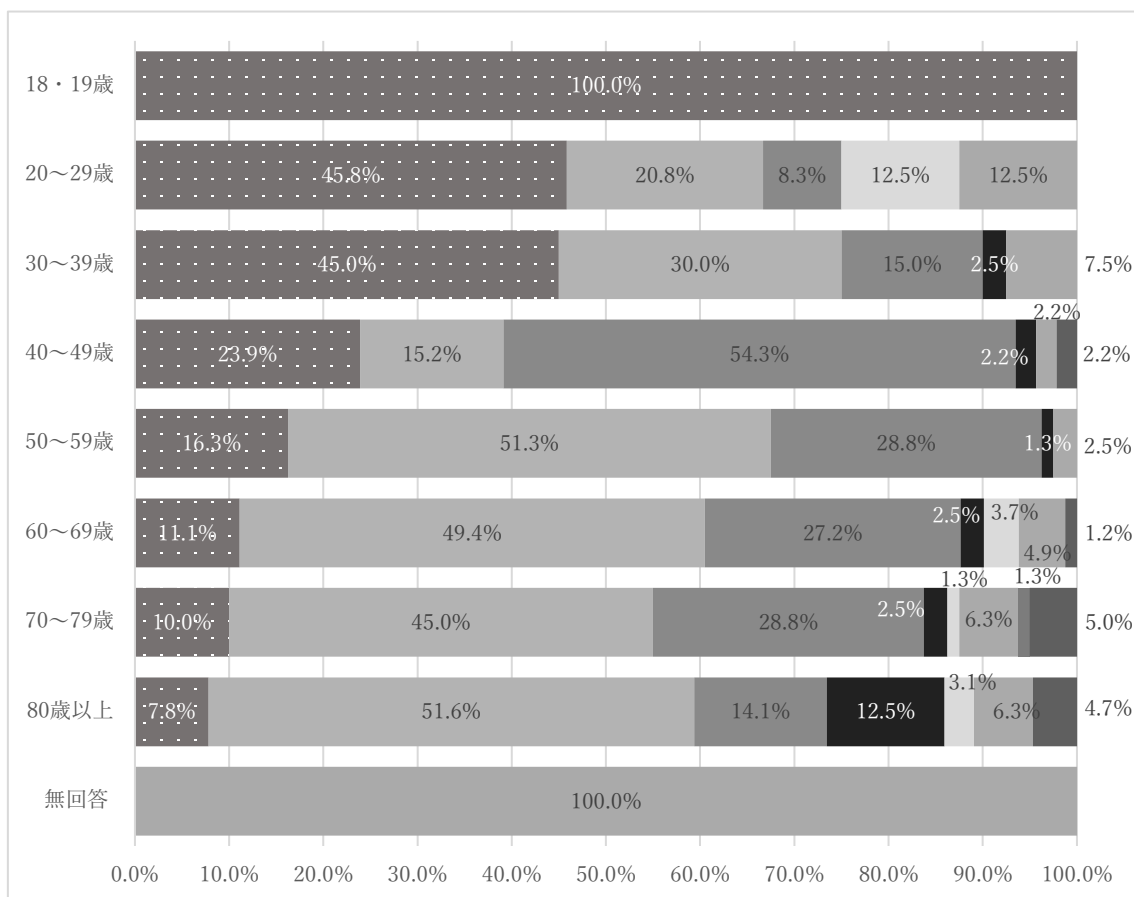
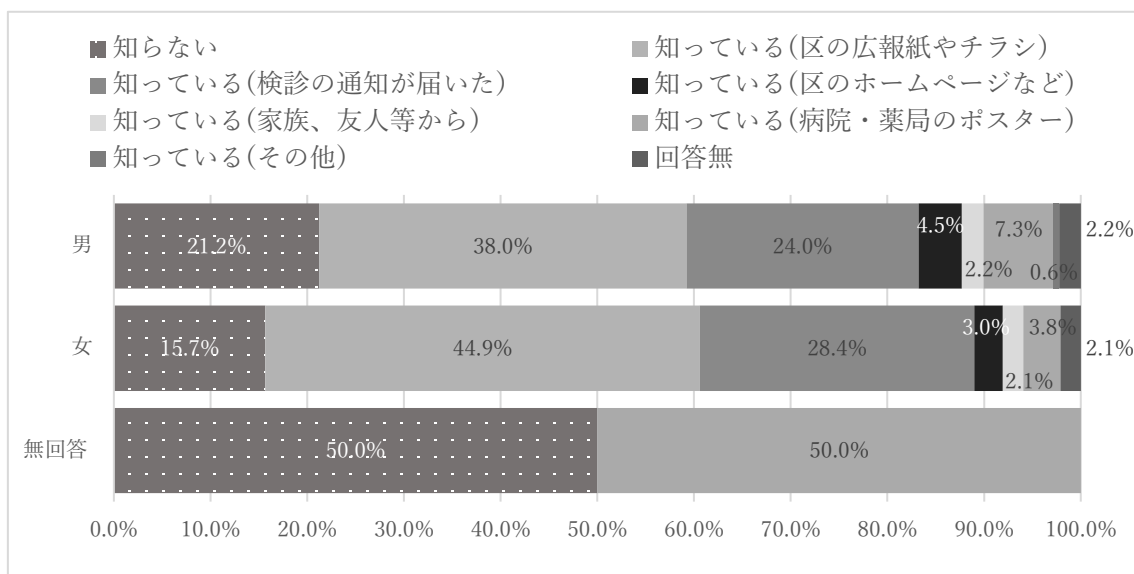
4. がん検診について

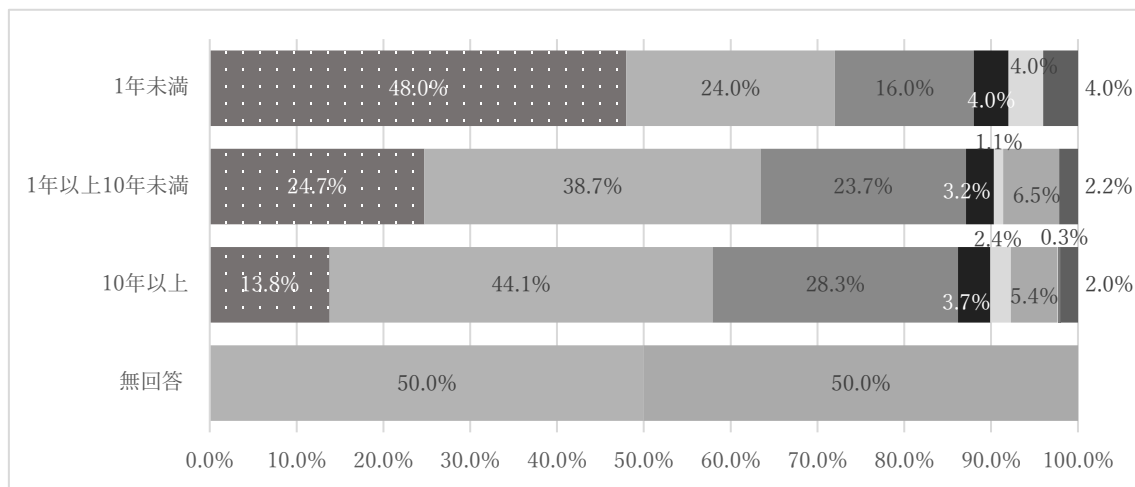
問 18	あなたは大阪市中、がん検診を実施していることを知っていますか。また、それをどこでお知りになりましたか。	単一回答
------	---	------

全体では「知っている」と回答された方の割合は 79.6%、「知らない」は 18.2%と、大多数の方は知っているという結果となりました。「知っている」の中では「区の広報紙やチラシ」が最も多く 41.7%となりました。

性別では、「男性」の方で「知っている」と回答された方の割合は 78.8%、「女性」は 84.3%となり、「女性」のほうがより知っている結果となりました。年代別「女性」のほうがより知っている結果となりました。年代別（18・19 歳を除く）では、「知っている」と回答された方の割合が最も低かったのは「20～29 歳」で 54.2%でしたが、そこから「70～79 歳」まで年代が上がるに従って高くなり、50 歳以上の全ての年代では 80%以上となりました。居住年数別では、「知っている」と回答された「1 年未満」の方の割合は 52.0%、「10 年以上」は 86.2%となり、居住年数が長いと知っている割合が高くなる傾向が見られました。







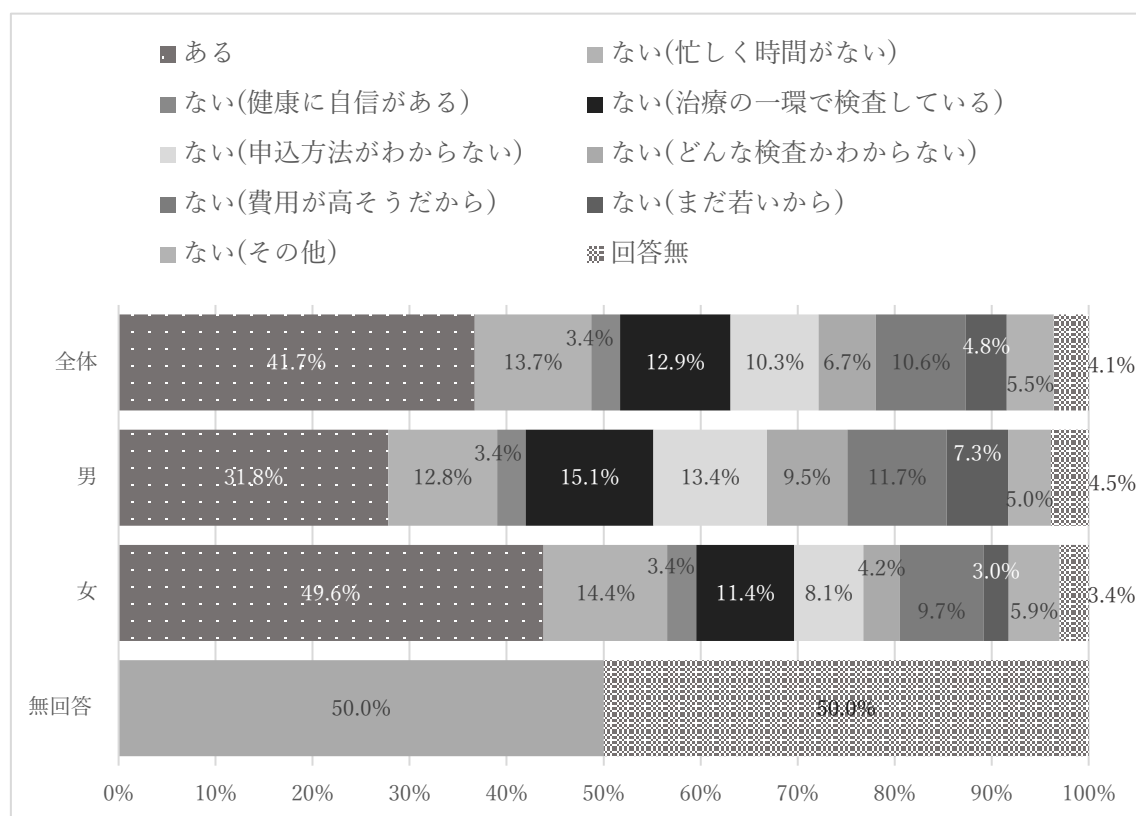
問 19

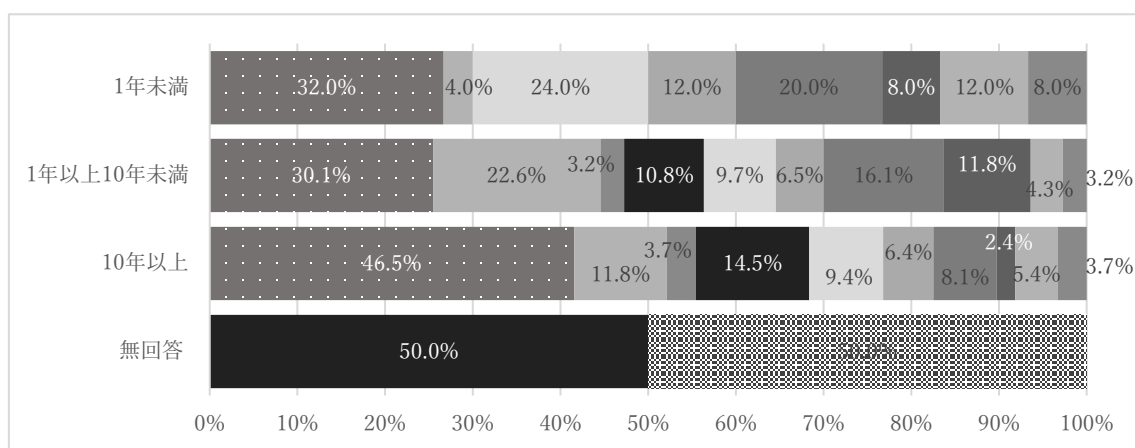
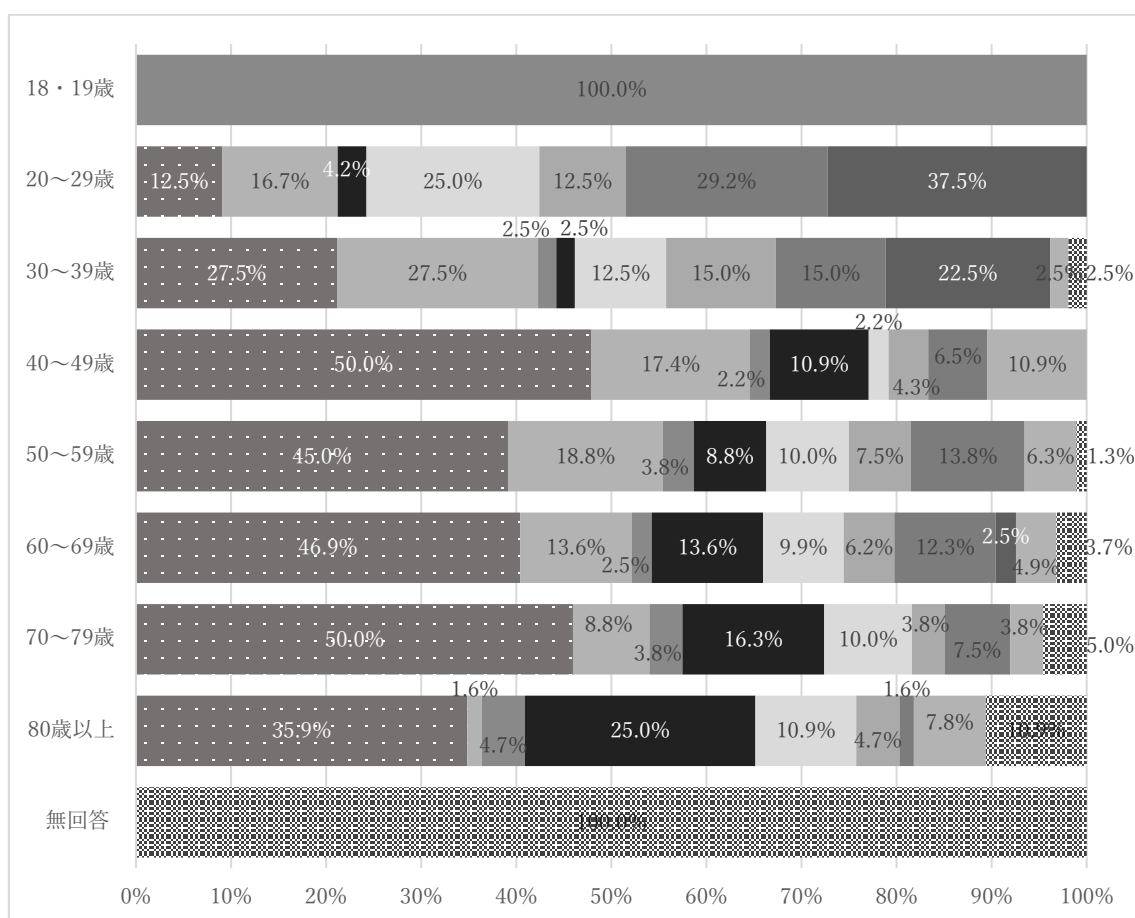
あなたはがん検診を受けたことがありますか。また、受けたことがない方は、どうしてがん検診を受けないのですか。

複数回答

全体全体では「ある」と回答された方の割合は 41.7%、「ない」は 67.9%となりました。「ない」と回答された方は「忙しく時間がない」が 12.8%、次いで「治療の一環で検査している」が多い結果となりました。

性別では、「男性」でがん検診を受けたことのある方の割合は 31.8%、「女性」で 49.6%となり、「女性」のほうが高い割合を示しました。年代別では、がん検診を受けたことがある方の割合が最も高かった年代は「40～49 歳」「70～79 歳」が同数で 50.0%、次いで「60～69 歳」で 46.9%、「50～59 歳」で 45.0%となり、40 歳を過ぎた世代からがん検診を受けたことのある比率が高いとの結果となりました。居住年数でみると、「10 年以上」の方の割合は 46.5%となり、居住年数が長いとがん検診を受けた割合も高くなる傾向が見られました。



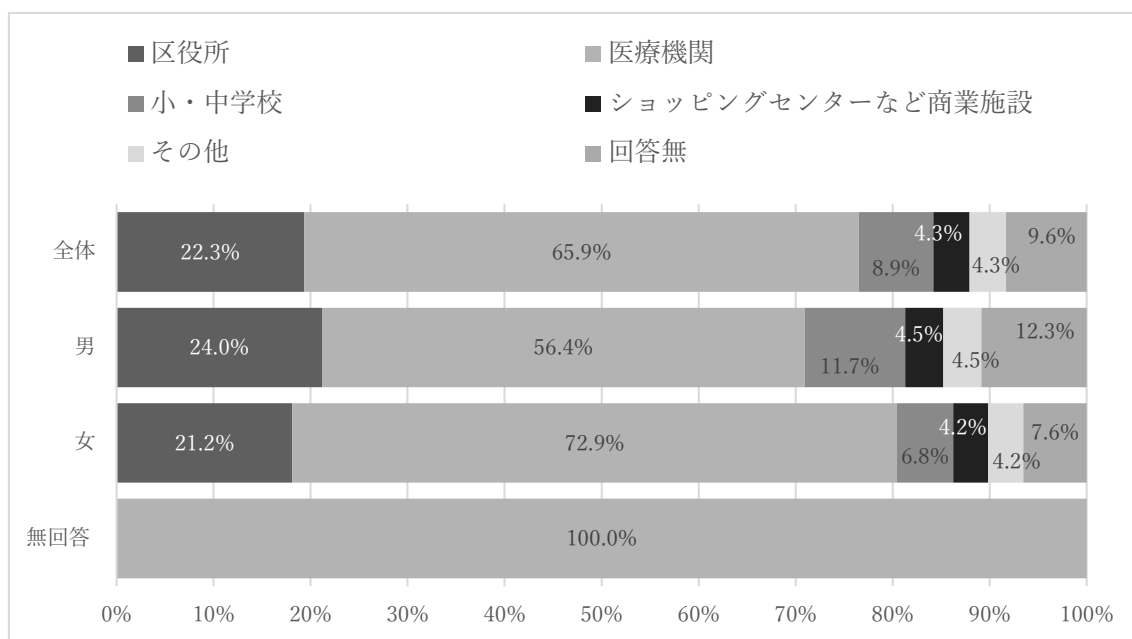


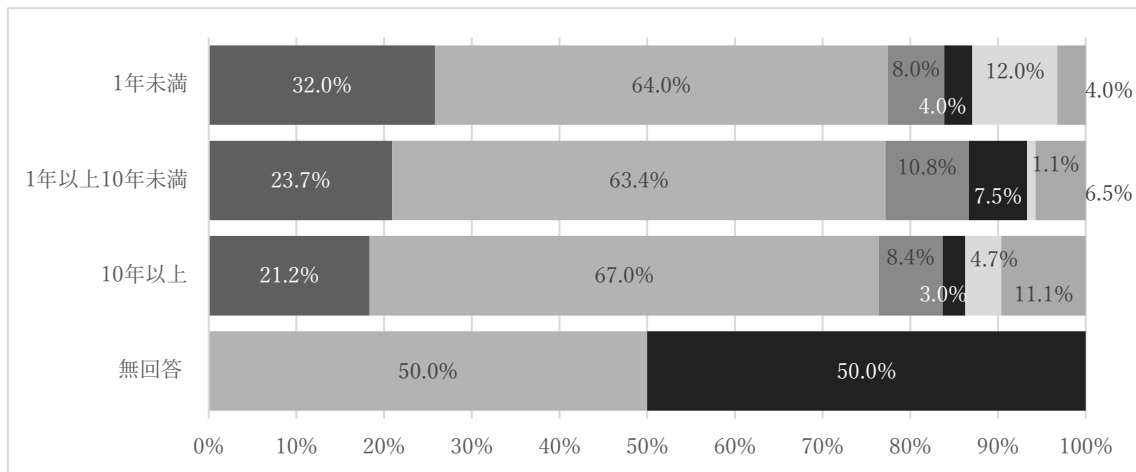
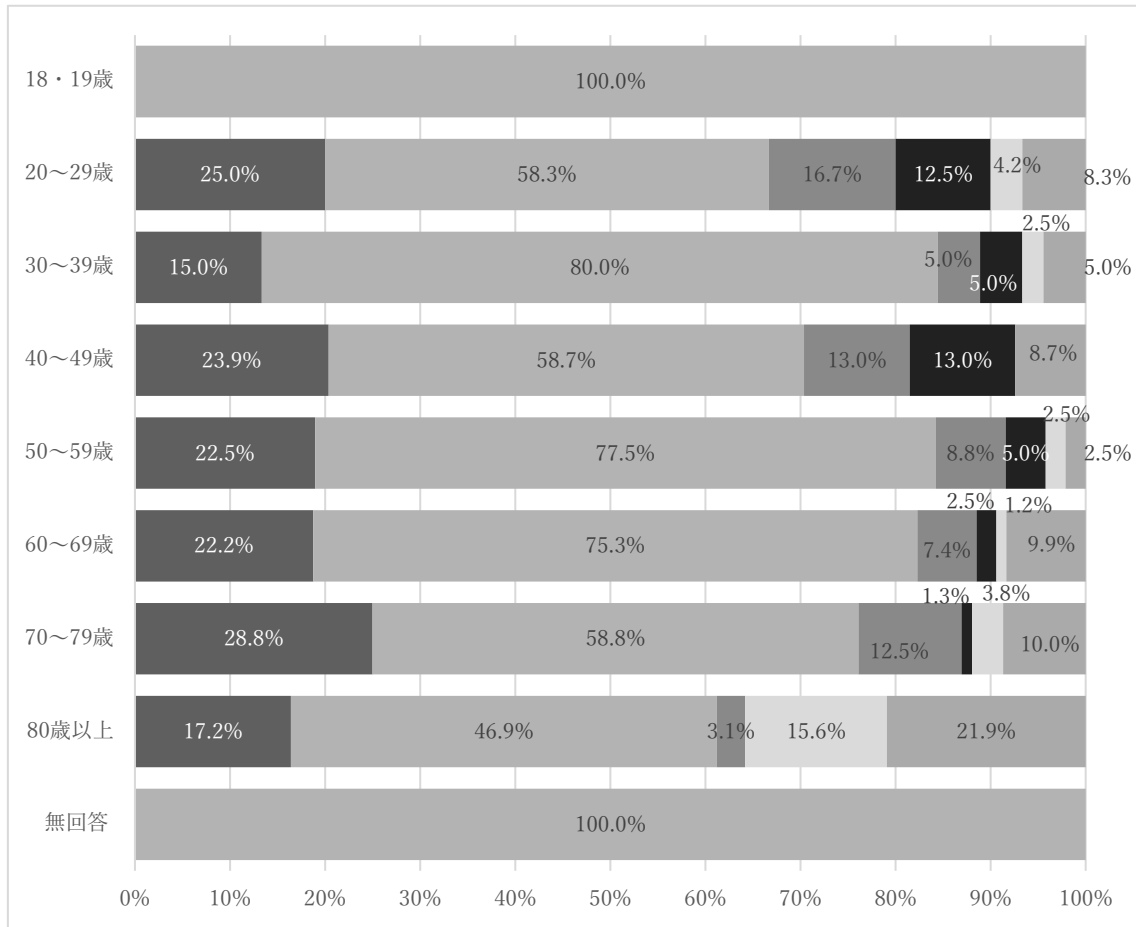
問 20

あなたは、どこで開催されているがん検診であれば受けてみようと思いますか。

複数回答

全 体では「区役所」と回答された方の割合は 22.3%、「医療機関」は 65.9%となり、大部分の方が「医療機関」を希望している結果となりました。年代別では、「区役所」と回答された方の割合が最も高かった年代は「70～79 歳」で 28.8%となりました。居住年数では、「区役所」と回答された方の割合は「1 年未満」の方で 32.0%、「10 年以上」で 21.2%となり、居住年数が短い方のほうが「区役所」の割合が高くなりました。性別による大きな差異は見られませんでした。



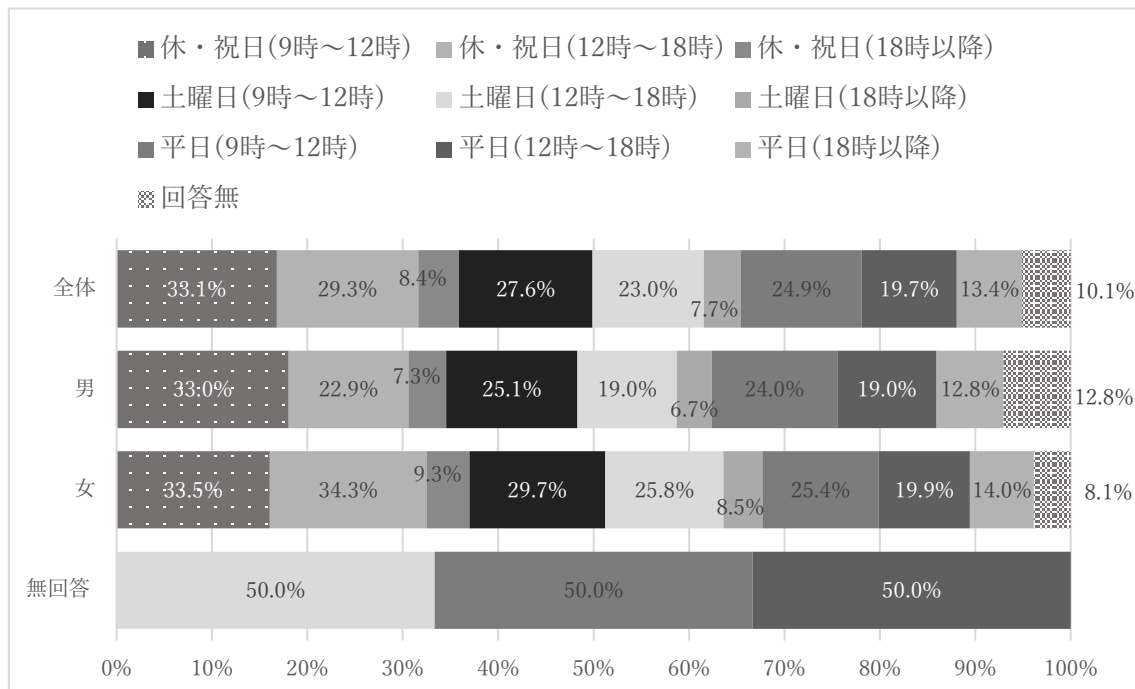


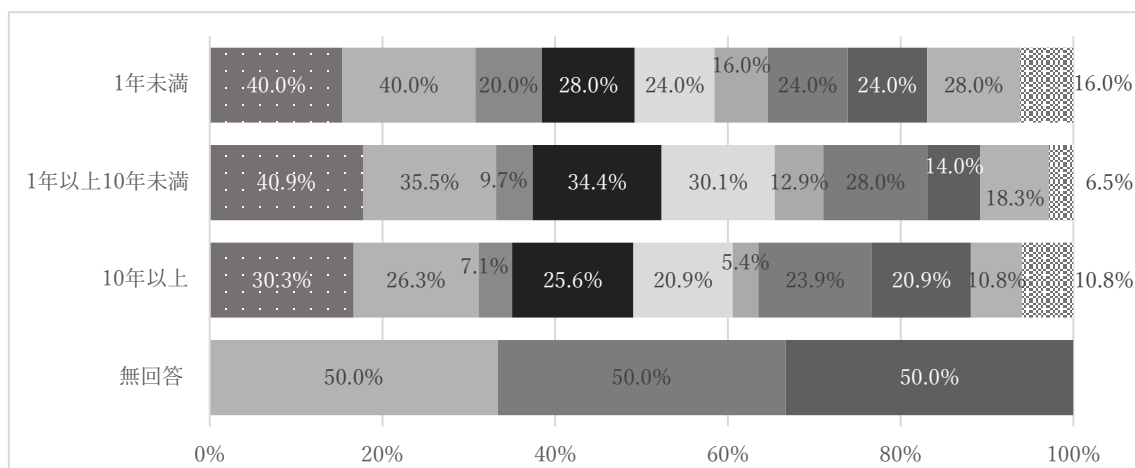
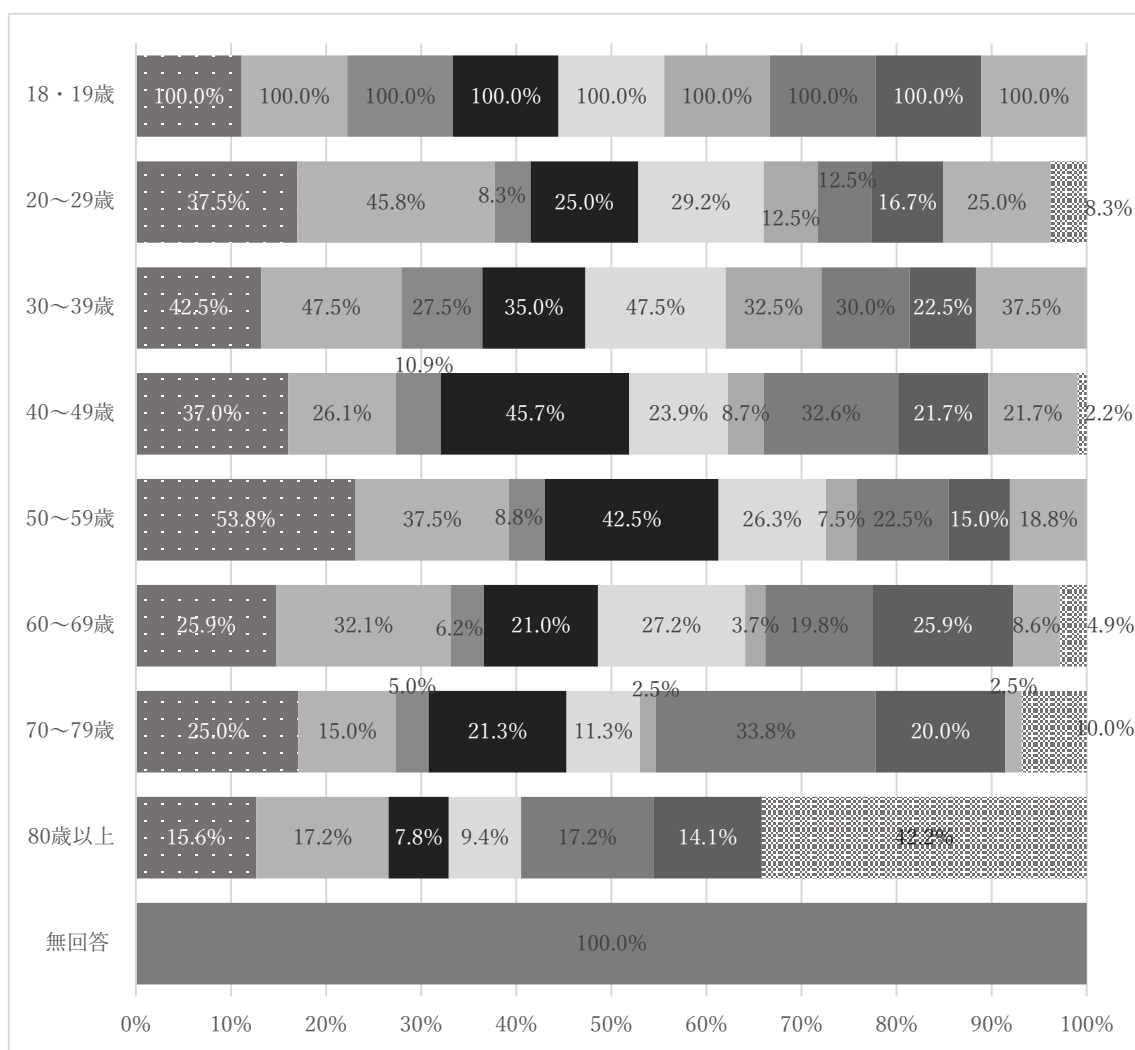
問 21

あなたは、どの時間帯に開催されているがん検診であれば受けてみようと思いますか。

複数回答

全体では「休.祝日 9時～12 時」が 33.1%で最も回答が多く、次いで「休.祝日 12 時～18 時」29.3%となっている。どの時間帯も「18 時以降」は少なく最も少ないのは、「土曜日 18 時以降」の 7.7%である。年代別では、どの年代も「休.祝日 9 時～18 時」が最も多く「休.祝日 18 時以降」が少なくなっている。居住年数別でも、「休.祝日 9 時～18 時」が最も多く「休.祝日 18 時以降」が少なくなっている。性別では、男女大きな差異はありませんでした。で「自覚症状がない」方の割合は 32.7%、「女性」で 22.9%となり、「男性」のほうが高い割合を示しました。年代別では「かかりつけ病院がある」と回答した方の割合は「18～29 歳」での回答者は無く、年代が上がるにつれ割合は高まり、「70～79 歳」で最も高く 46.6%となりました。居住年数別では、「10 年未満」の方は「自覚症状がない」「かかりつけ病院がある」と回答された割合が 21.9%と高く、「10 年以上」の方は「かかりつけ病院がある」と回答された割合が 33.8%と高いと、それぞれ異なる傾向が見られました。

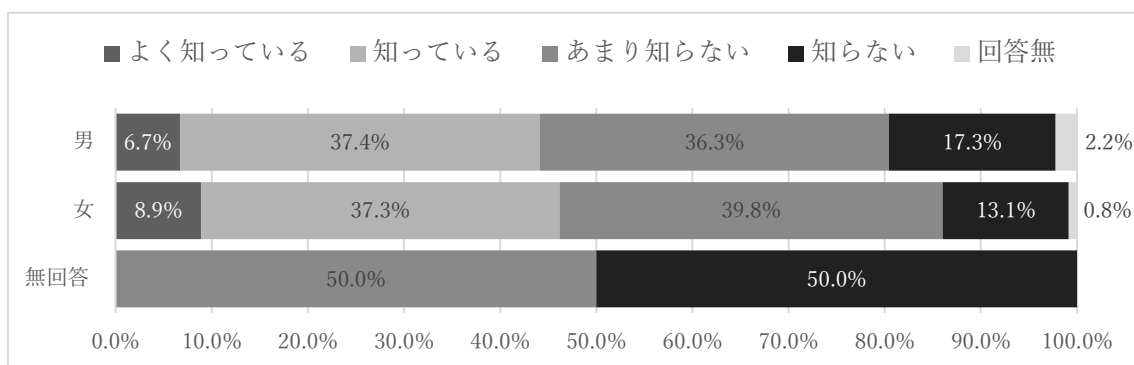
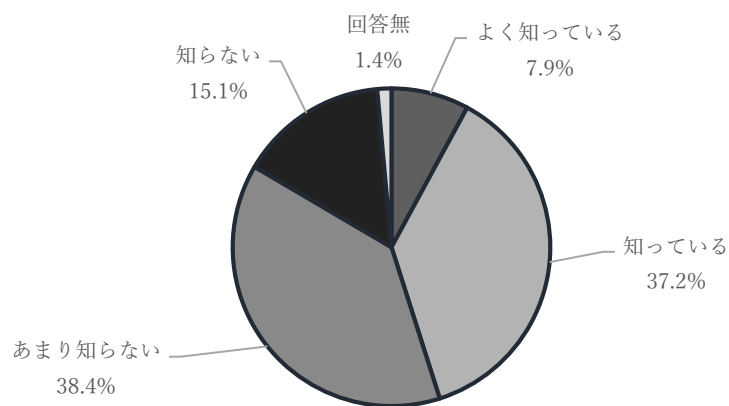


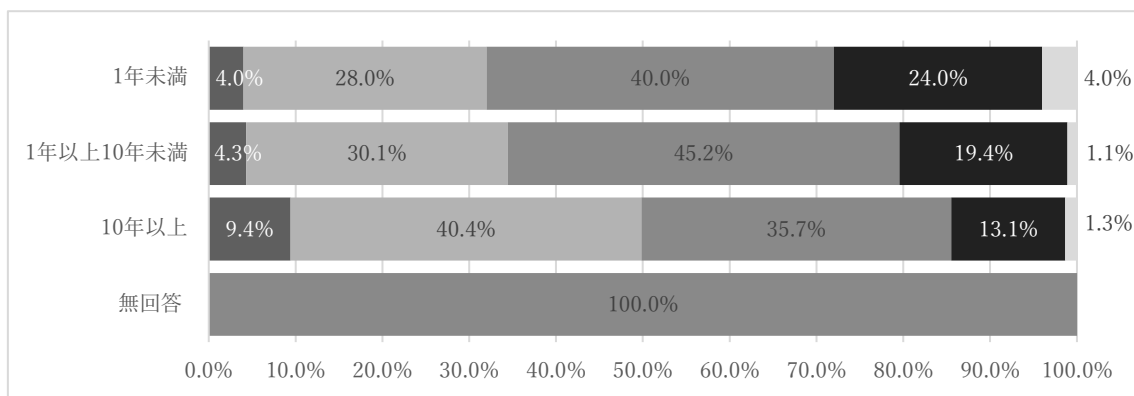
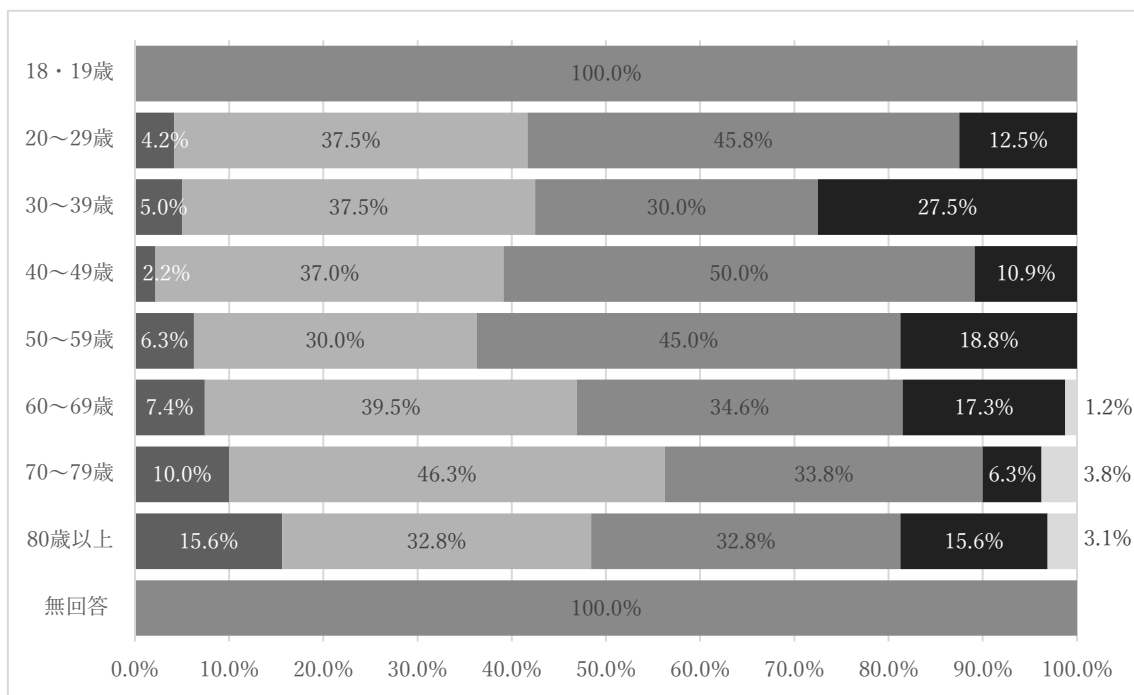


5. 大きな公共を担う地域社会について

問 22	あなたは生野のまちを盛り上げようと地域でイベントや行事などさまざまな取組が行われていることを知っていますか。	単一回答
------	--	------

全体では最も多かった回答は「あまり知らない」でその割合は 38.4%でした。「知らない」を合わせた否定的意見の割合は 53.5%となりました。年代別では、「70～79 歳」の「よく知っている」「知っている」を合わせた肯定的意見の割合は 56.3%と、他の年代より高い結果となりました。居住年数別では、「10 年以上」の肯定的意見の割合は 49.8%、「1 年未満」で 32.0%となり、居住年数が長いほうが知っている割合も高くなる結果となりました。性別による大きな差異は見られませんでした。



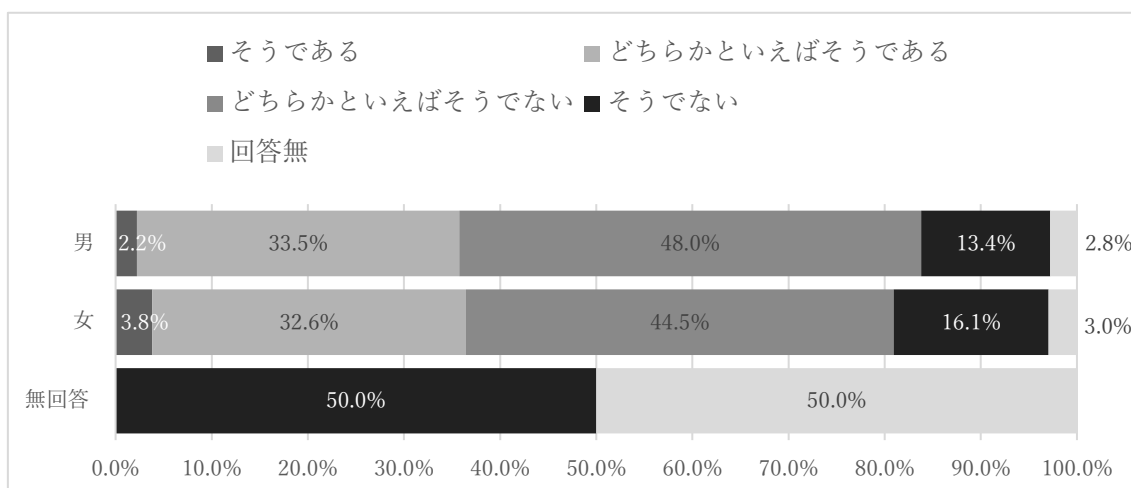
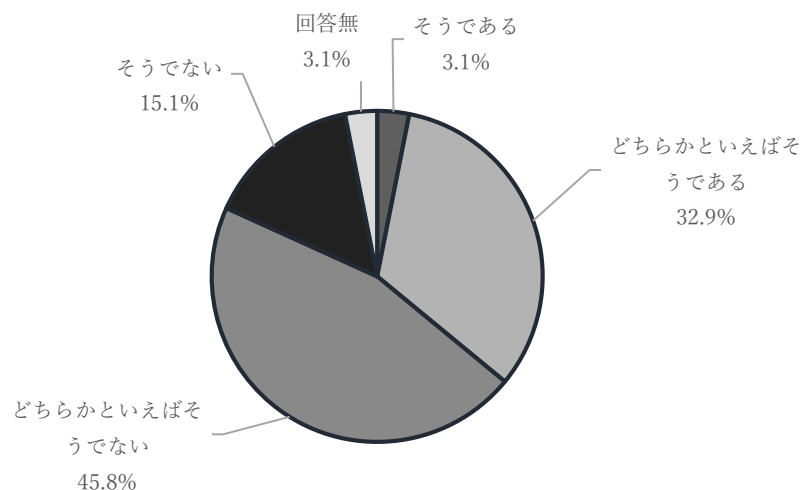


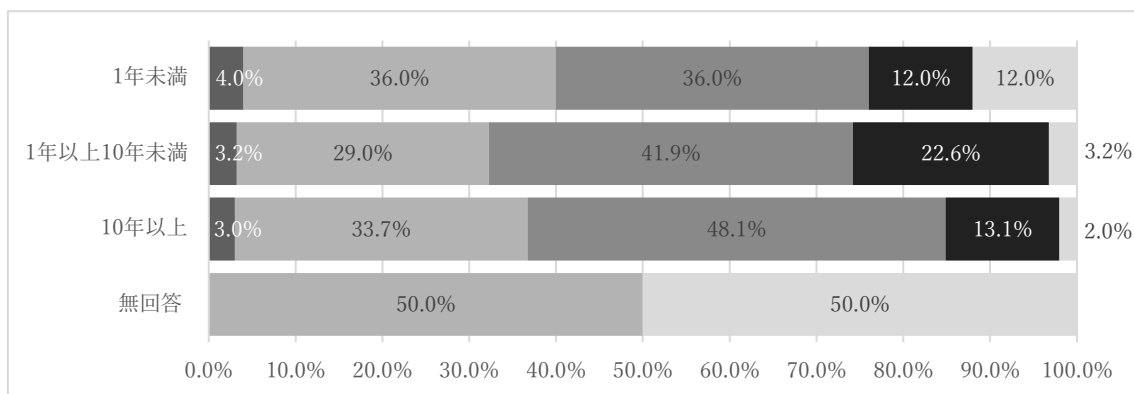
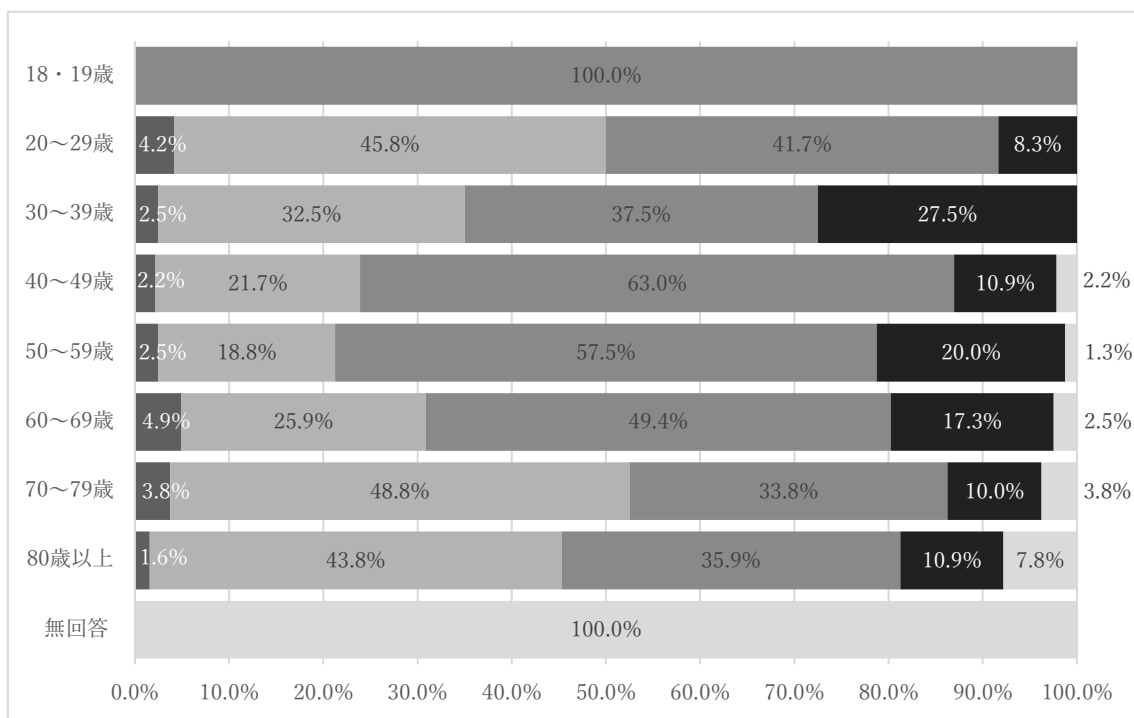
問 23

あなたは、地域におけるつながりが強くなり、支援を必要としている方が安全・安心に暮らせるようになったと感じますか。

単一回答

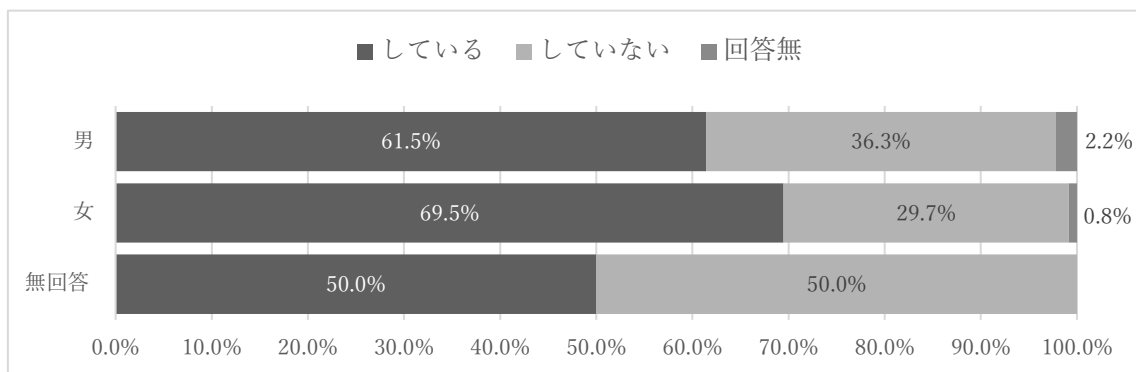
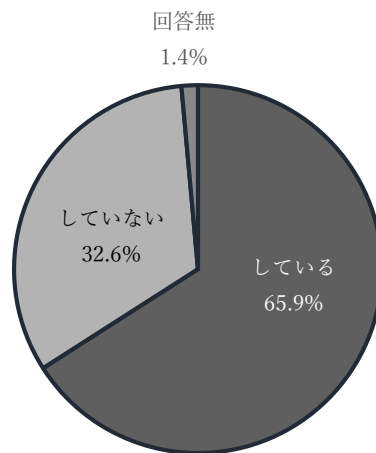
全体では最も多かった回答は「どちらかといえばそうでない」でその割合は 45.8%でした。「そうでない」を合わせた否定的意見の割合は 60.9%となりました。年代別では、70 歳以上の各年代の「そうである」「どちらかといえばそうである」を合わせた肯定的意見の割合は他の年代に比べて高く、40%以上の結果となりました。居住年数別では、「1 年未満」の肯定的意見の割合は 40.0%と最も多い結果となりました。性別による大きな差異は見られませんでした。

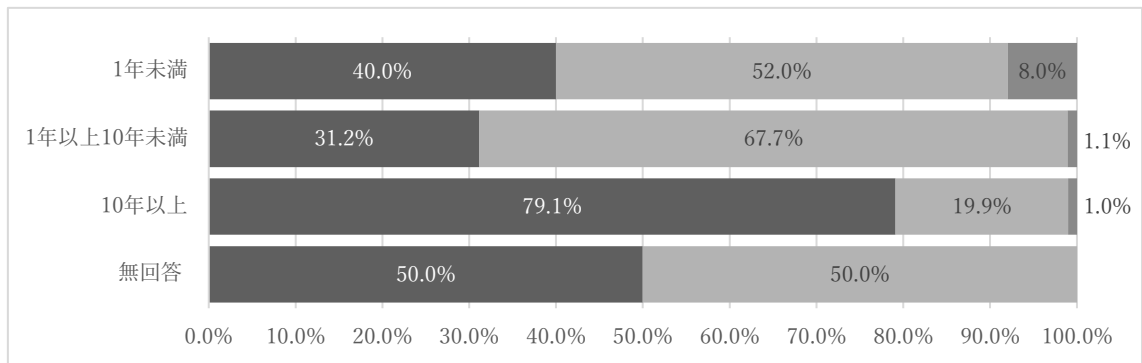
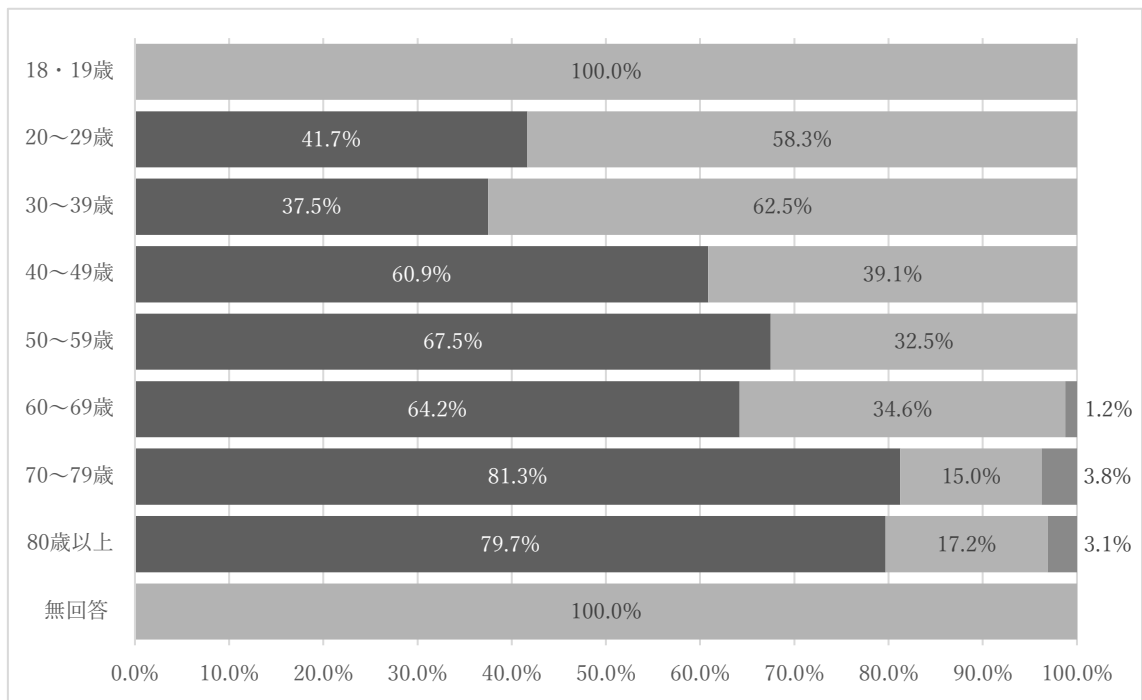




問 24	あなたは、自治会・町内会に加入していますか。	単一回答
------	------------------------	------

全体では、「している」と回答された方の割合は 65.9%、「していない」は 32.6%となりました。性別では、「男性」で「している」と回答された方の割合は 61.5%、「女性」で 69.5%となり、「女性」のほうが高い割合を示しました。年代別では、「している」と回答された方の割合は、「18.19 歳」で最も低く 0%でした。一方、40 歳以上では加入している割合が高く、「70～79 歳」では 79.7%となっています。居住年数別では、「10 年以上」で「している」と回答された方の割合は 79.1%と最も多い結果になりました。

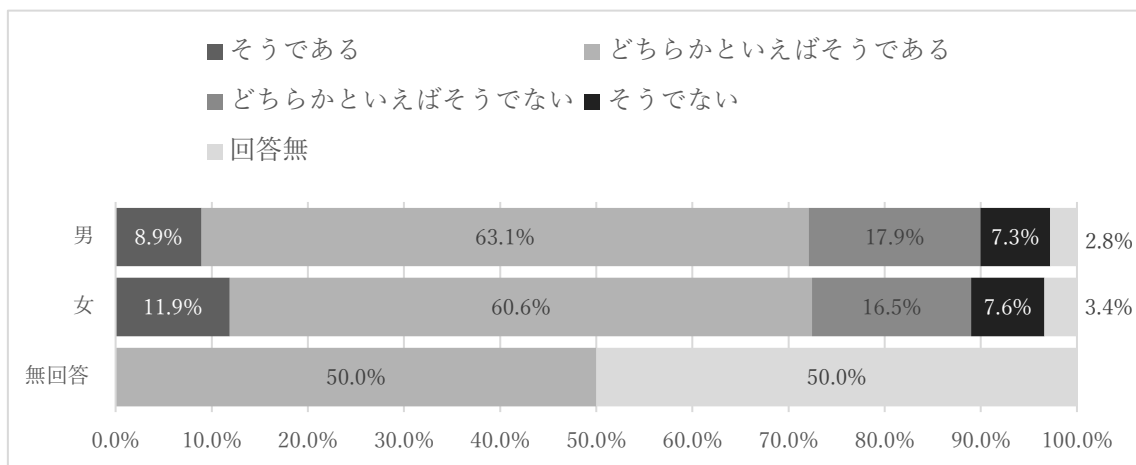
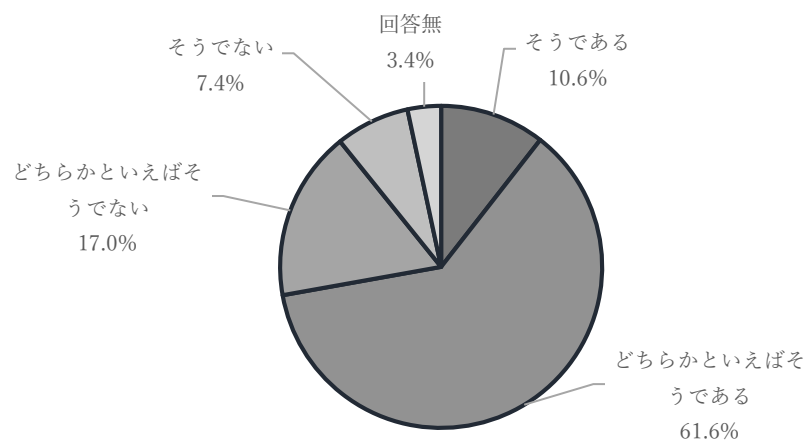


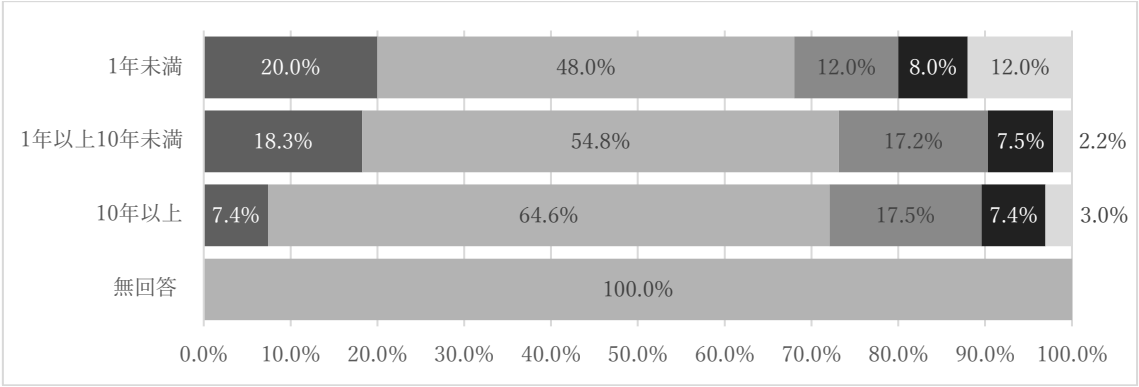
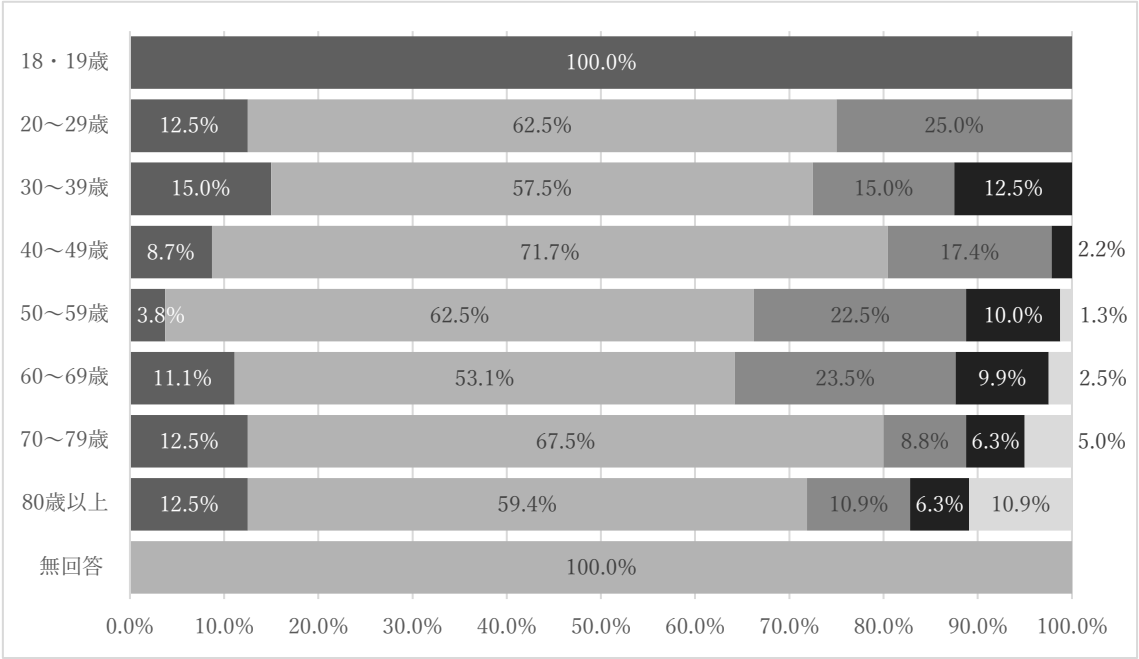


6. すべてのひとが尊重されるまちについて

問 25	あなたは、生野区は外国籍住民・障がい者・高齢者・子どもをはじめとする多様な人々の人権が尊重され、人にやさしいまちであると感じますか。	単一回答
------	--	------

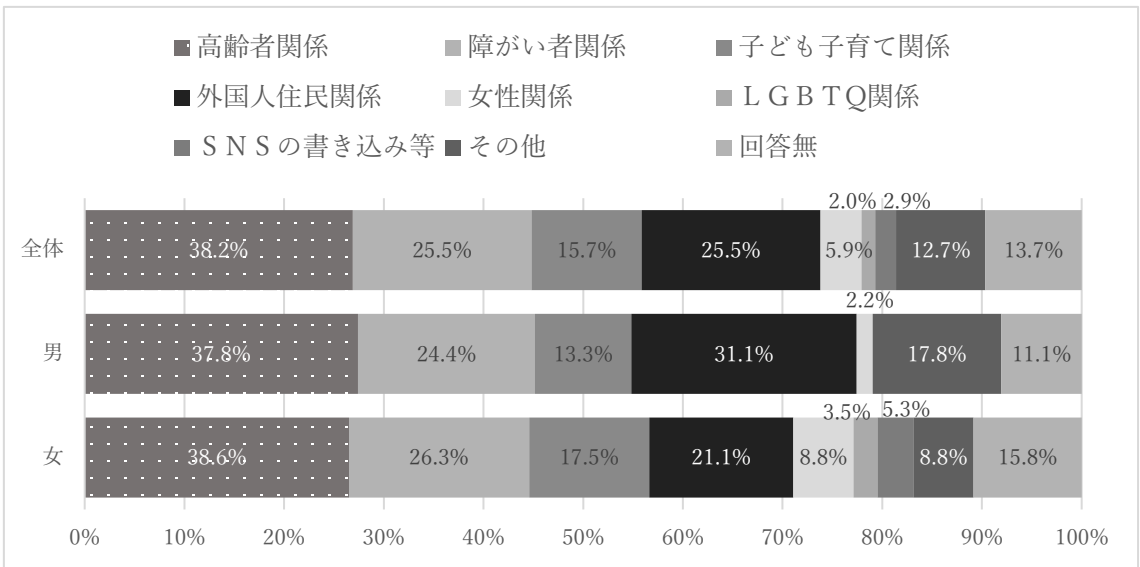
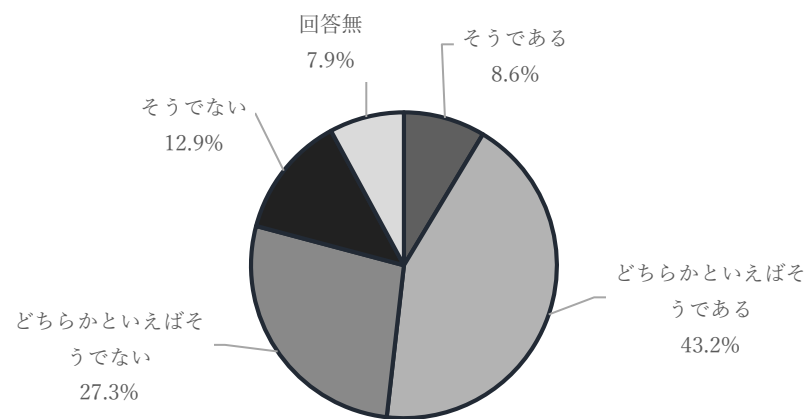
全体では、「どちらかといえばそうである」と回答した方の割合が最も高く 61.6%となり、「そうである」と合わせた肯定的意見の割合は 72.2%となりました。年代別では、肯定的意見の割合が最も高かった年代は「70～79 歳」で 80.0%、最も低かった年代は「60～69 歳」で 64.2%でした。居住年数別では、「1 年以上 10 年未満」で肯定的意見の割合は 73.1%と最も多い結果となりました。性別による大きな差異は見られませんでした。

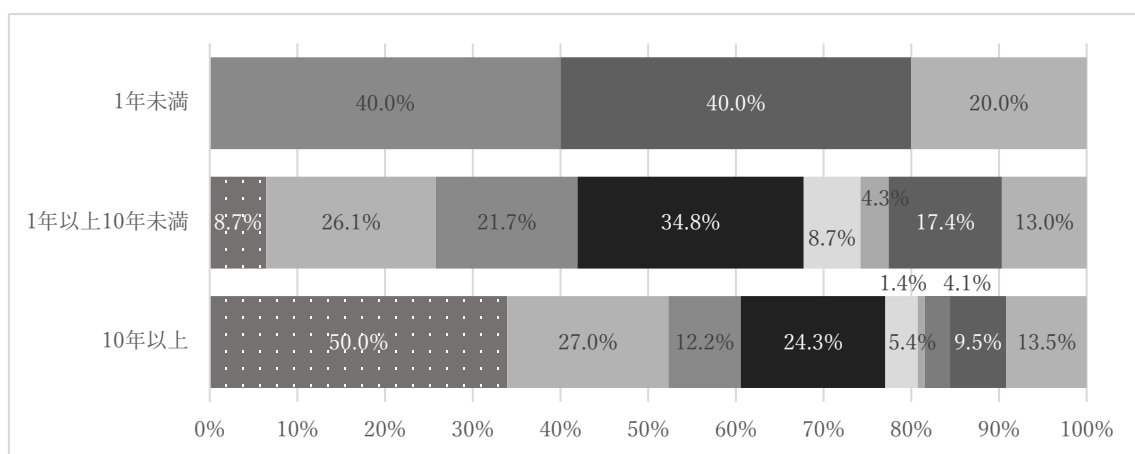
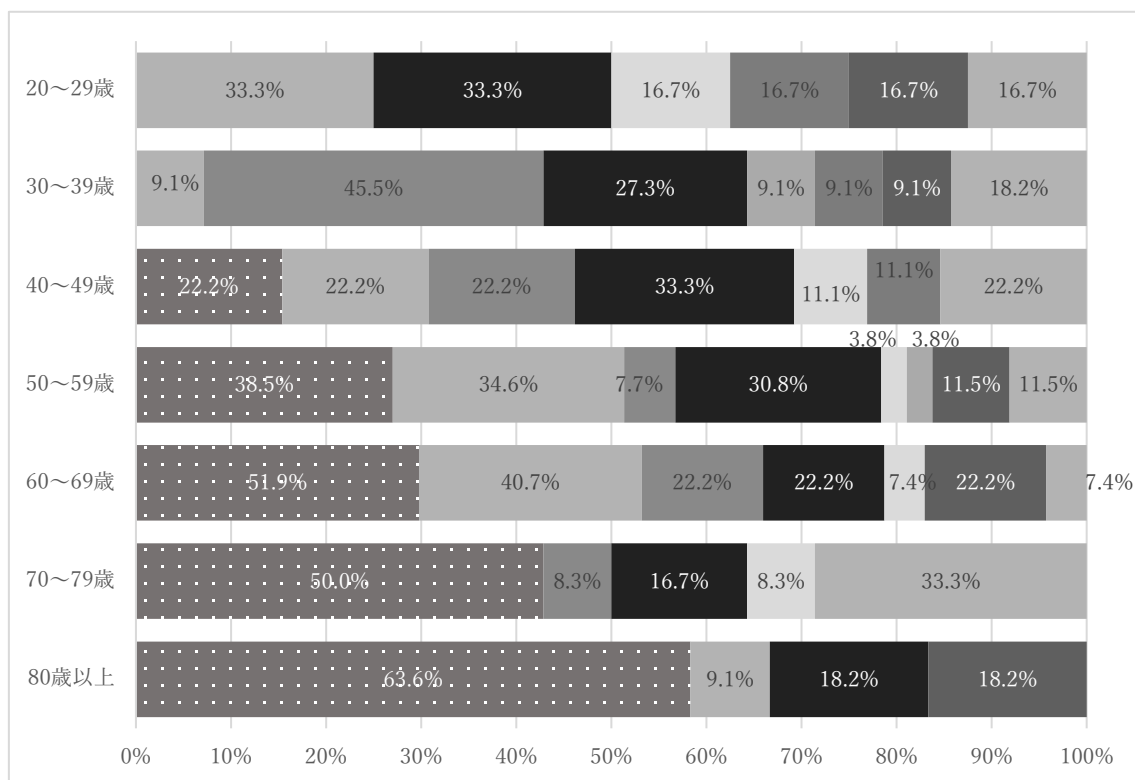




問 26	質問No.25 で、「3.どちらかといえばそうでない」「4.そうでない」とお答えした方へおたずねします。 あなたはこういったことでそう感じますか。	複数回答
------	---	------

全体では「高齢者関係」が 38.2%で最も回答が多く、「外国籍住民関係」「障がい者関係」が 25.5%で同率と続きました。年代別では「高齢者関係」と回答した方の割合は「30 代以下」で 0%と最も低く、そこから年代が上がるに従って高くなり、「80 歳以上」で最も高く 63.6%となりました。「子ども子育て関係」と回答した方の割合は「30～39 歳」で 45.5%と高くなっています。居住年数別では、「高齢者関係」と回答された割合が「10 年以上」の方のほうが高く、「子ども子育て関係」と回答された割合は「1 年未満」の方のほうが高い傾向が見られました。



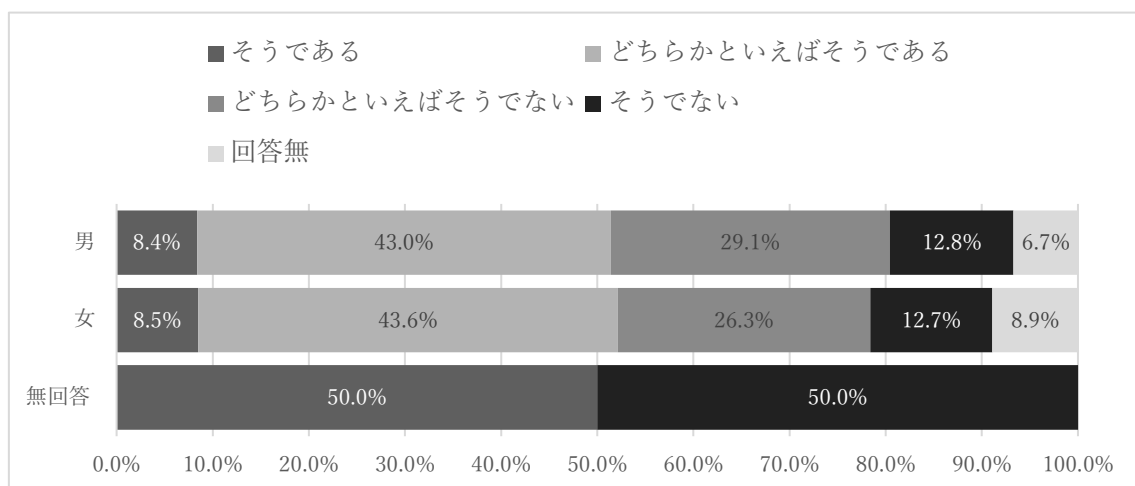
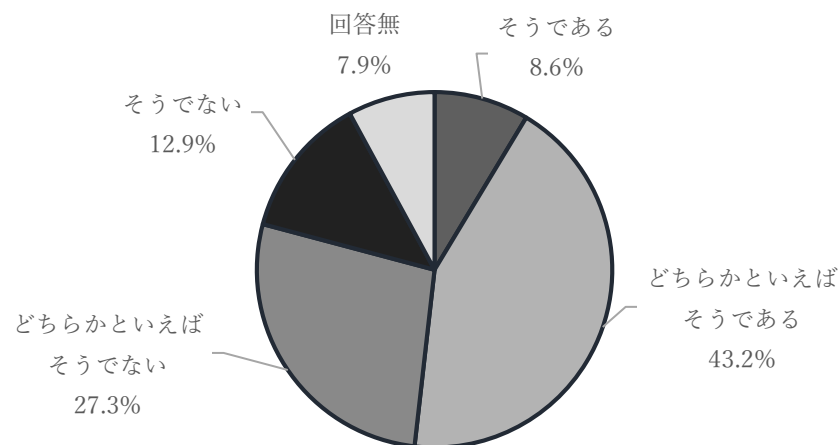


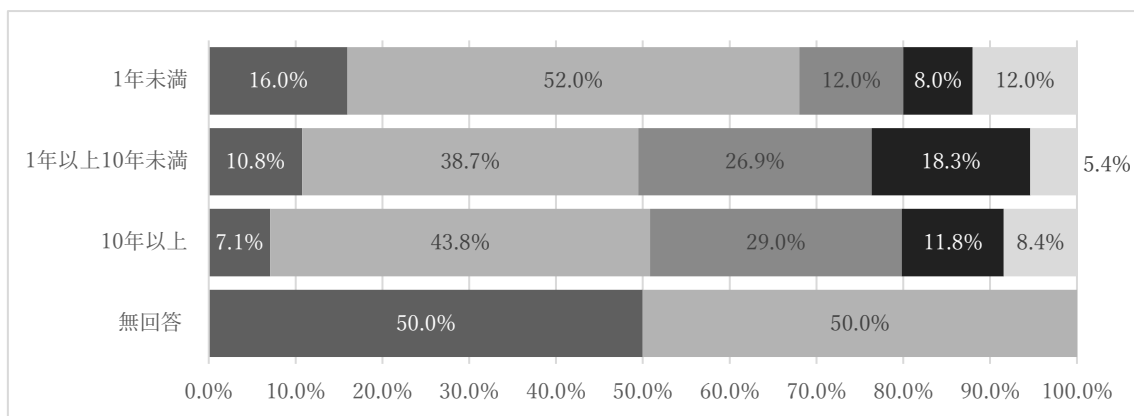
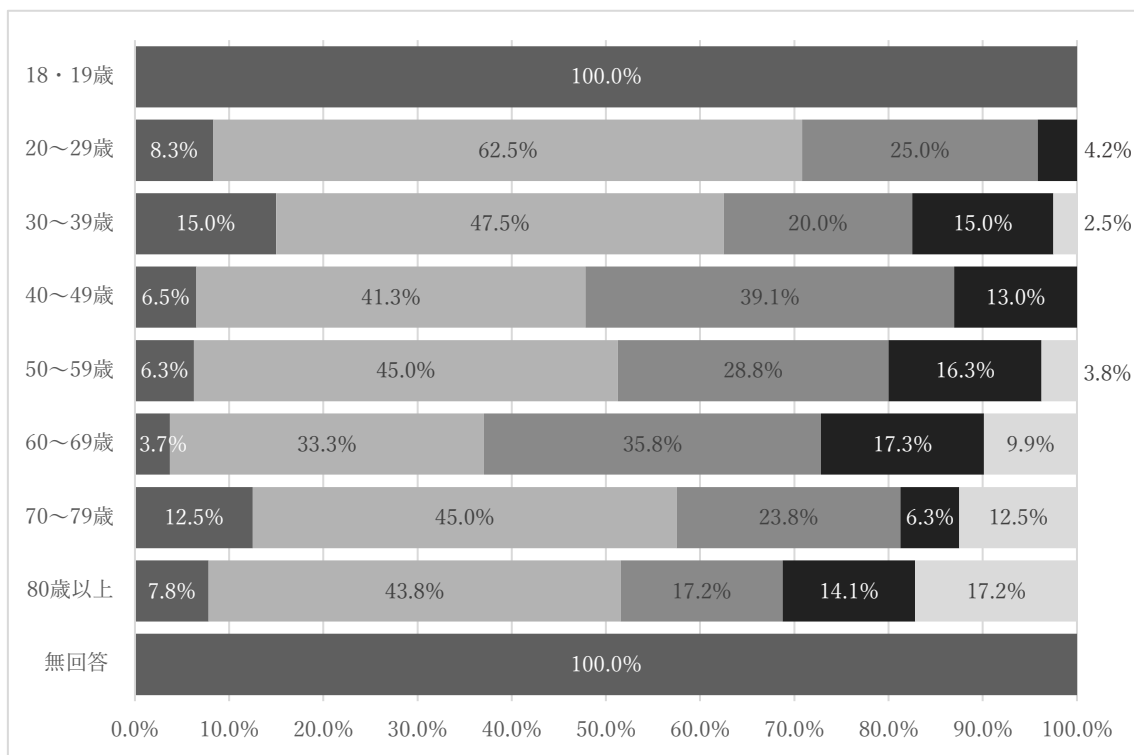
問 27

あなたは、生野区は区内に住む外国籍住民と地域住民との交流が日常的に図られているまちだと感じますか。

単一回答

全体では、最も多かった回答は「どちらかといえばそうである」で割合は 43.2%でした。「そうである」の割合を含めた肯定的意見の割合は 51.8%となり、半数以上の方が外国籍住民との交流が日常的に図られていると感じていることがわかります。年代別では、肯定的意見の割合が最も高い年代は「20～29 歳」で 70.8%、最も低い年代は「60～69 歳」で 37.0%となりました。性別では、肯定的意見の、差異はほとんどありませんでした。居住年数では、肯定的意見が「1 年未満」で最も多い（68.0%）結果となりました。

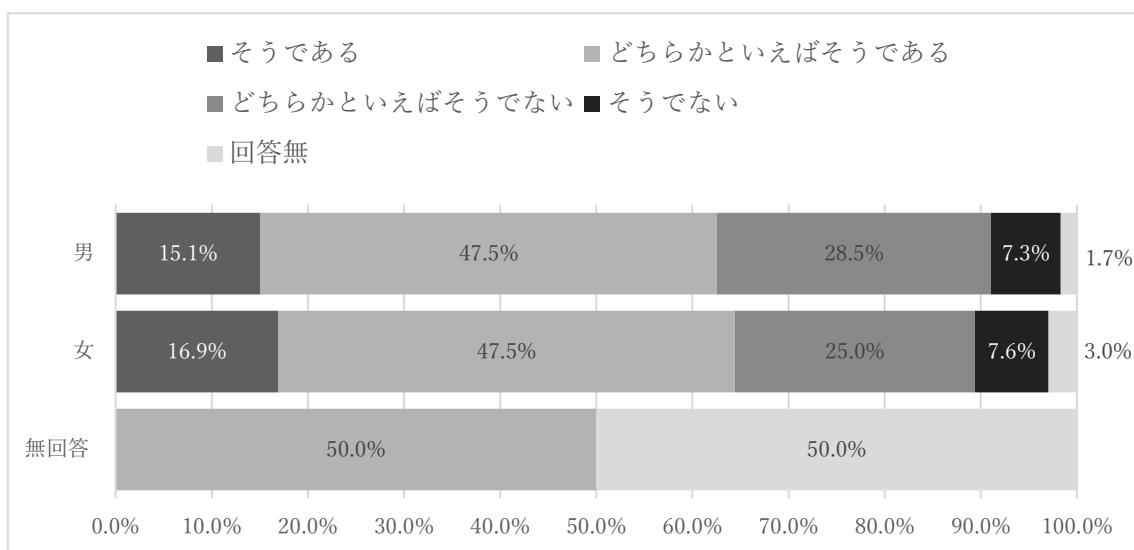
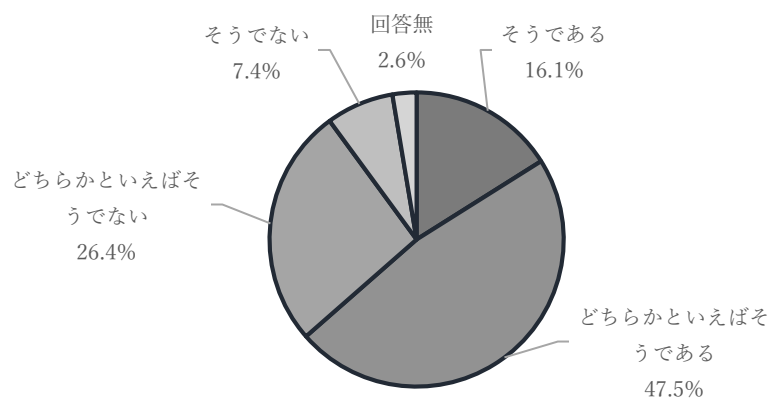


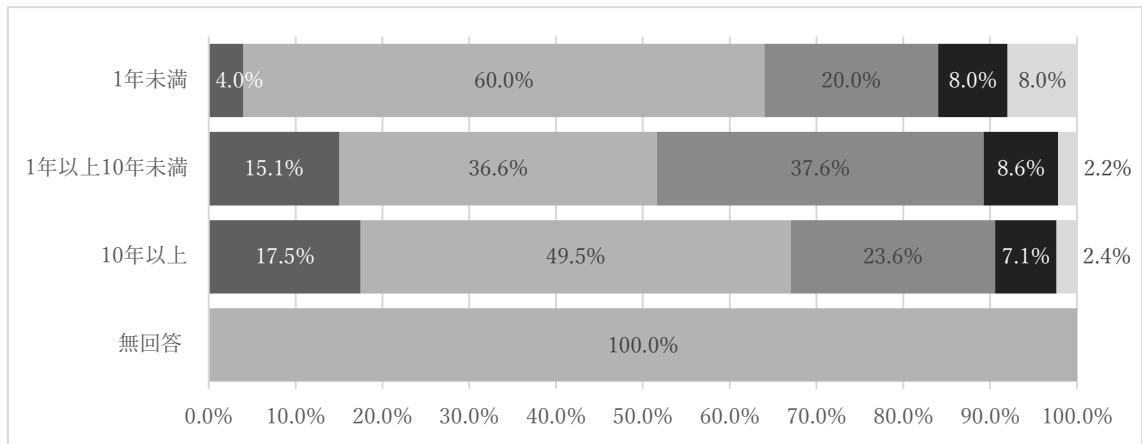
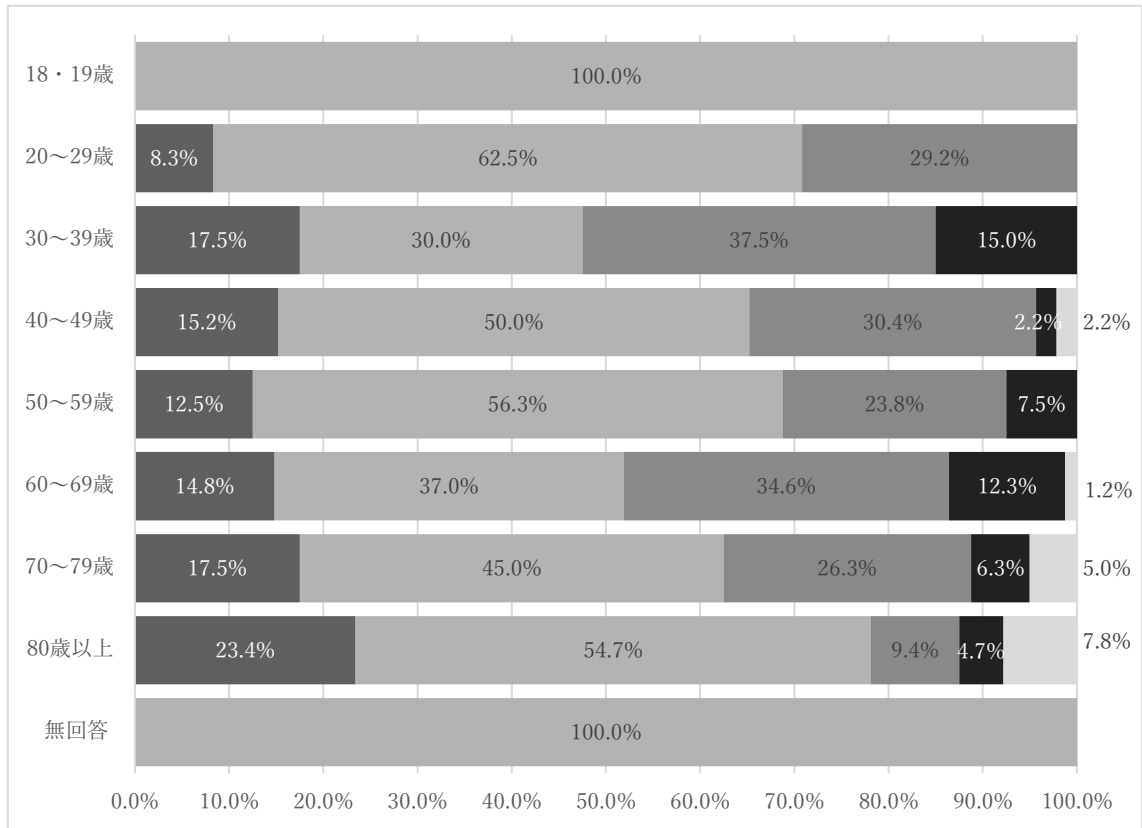


7. まちの魅力について

問 28	あなたは、生野区が、「ものづくりのまち」であることに魅力を感じますか。	単一回答
------	-------------------------------------	------

全体では「どちらかといえばそうである」と回答された方の割合が最も多く 47.5%となりました。「そうである」を合わせた肯定的意見の割合は 63.5%となり、6割強の方が魅力を感じている結果となりました。性別では、肯定的意見の大きな差異はありませんでした。年代別では肯定的意見の割合が最も低い年代は「30～39 歳」で 47.5%となりました。居住年数別では「10 年以上」の肯定的意見の割合は 67.0%と最も多い結果となりました。



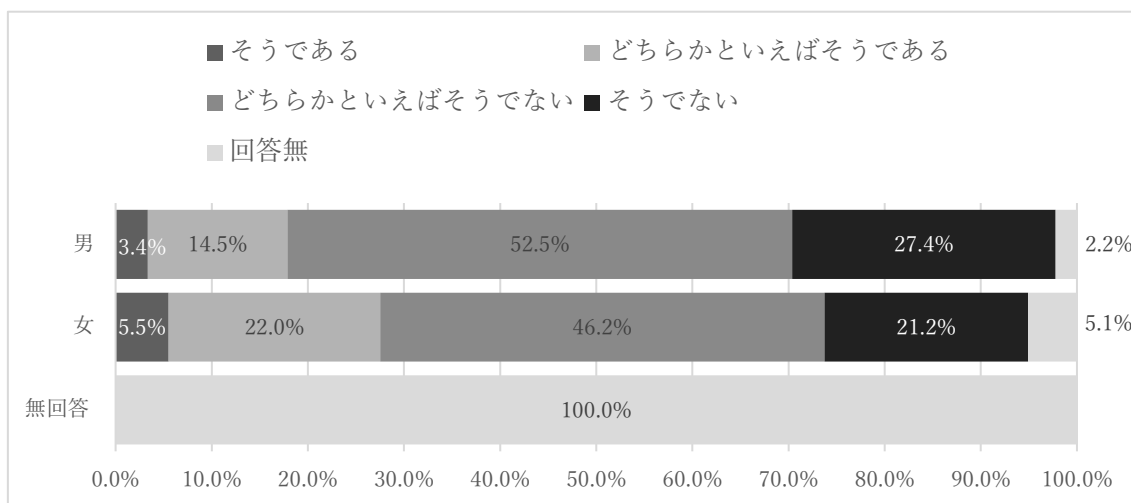
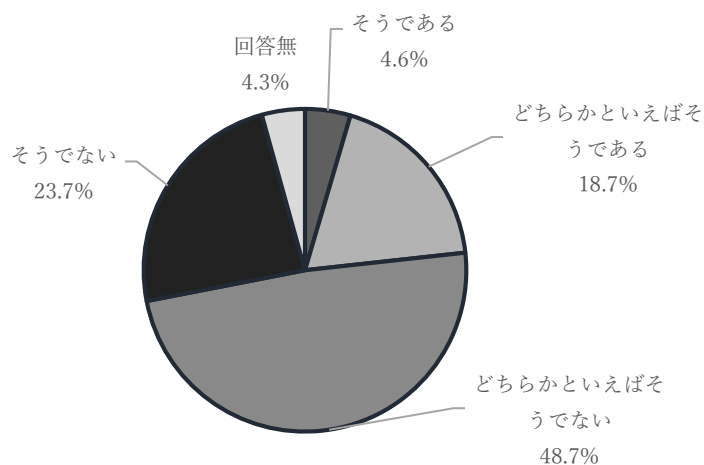


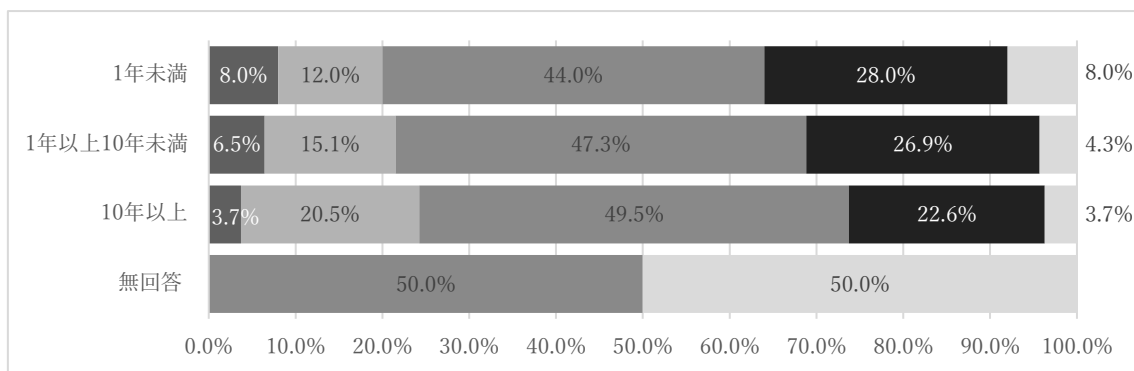
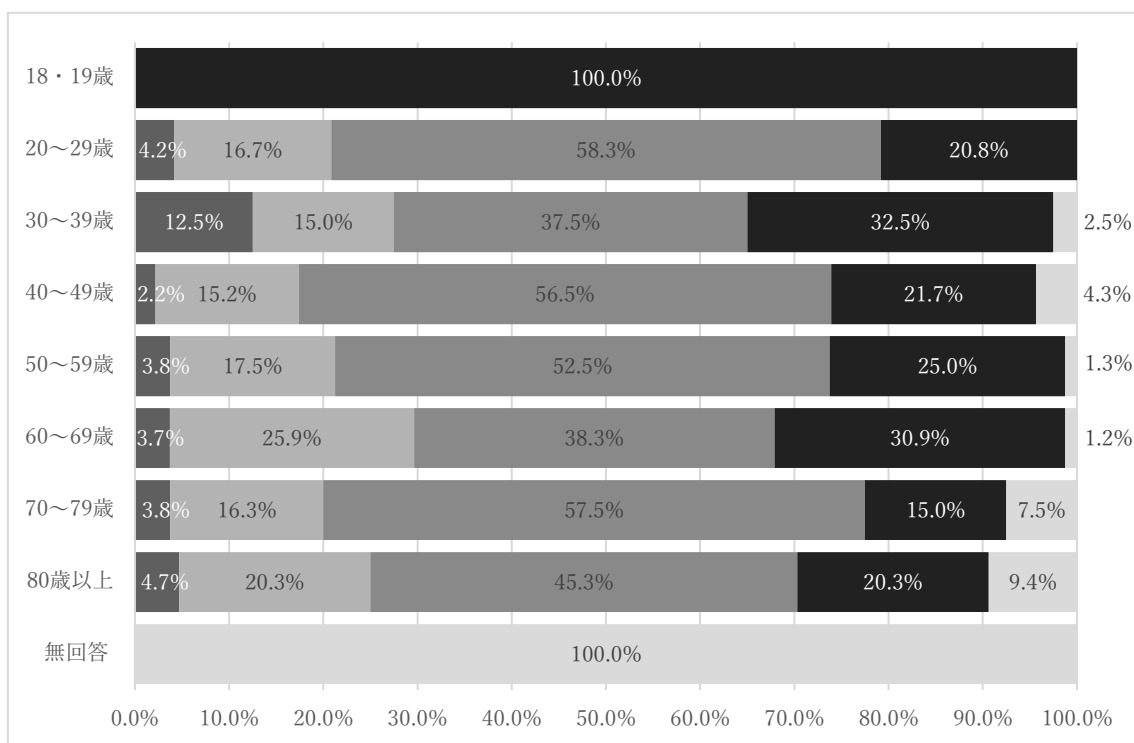
問 29

あなたは、生野区内で空き家を活用した取り組みが進んでいると感じますか。

単一回答

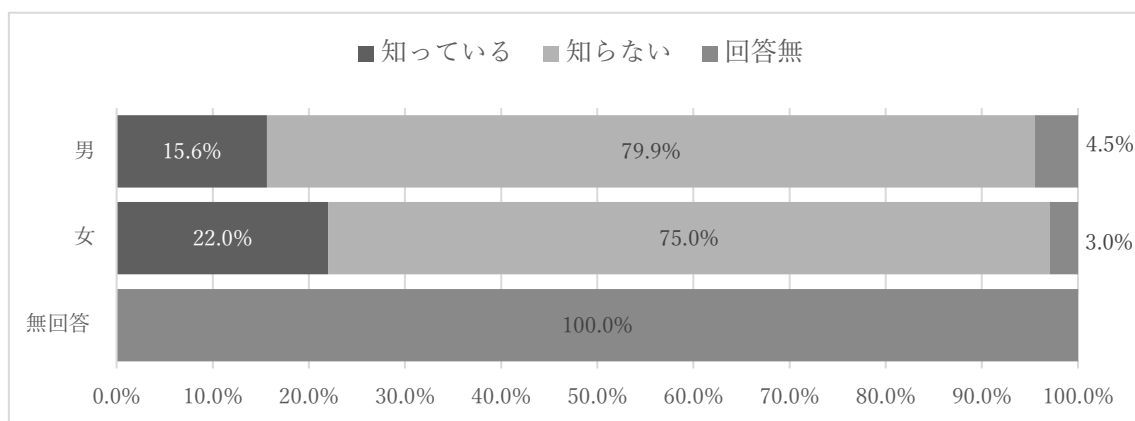
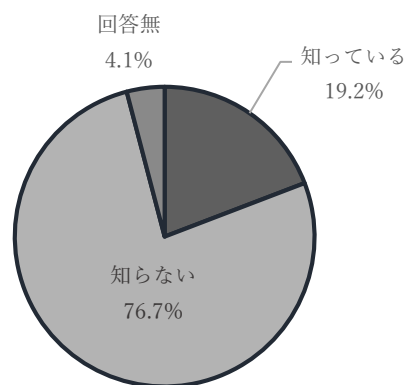
全体では、「どちらかといえばそうでない」と回答された方の割合が48.7%、「そうでない」は23.7%となりました。性別では、「男性」で「どちらかといえばそうでない」と回答された方の割合は52.5%、「女性」は46.2%となり、男女とも半数近くの方が取り組みが進んでいないと感じています。年代別では「そうである」と回答された方の割合が最も高かった年代は「30～39 歳」で12.5%となりました。居住年数別では、どの居住年数も半数近くが「どちらかといえばそうでない」と感じています。

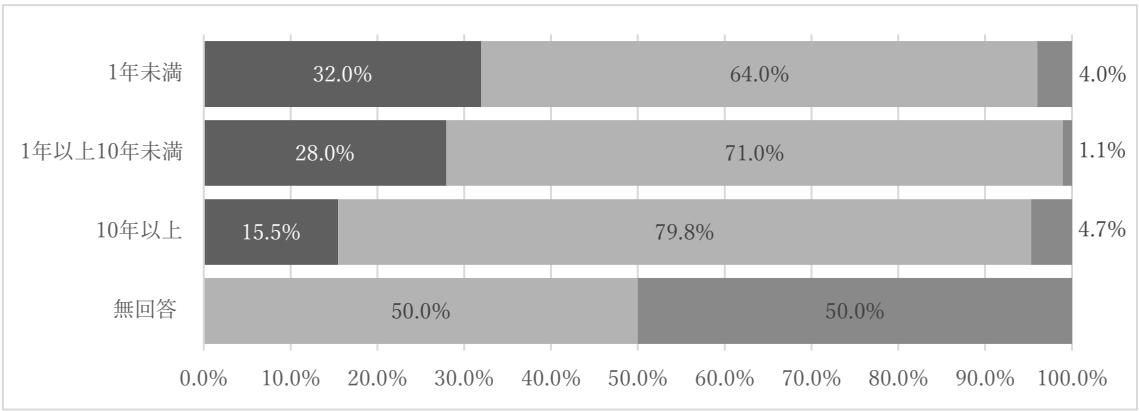
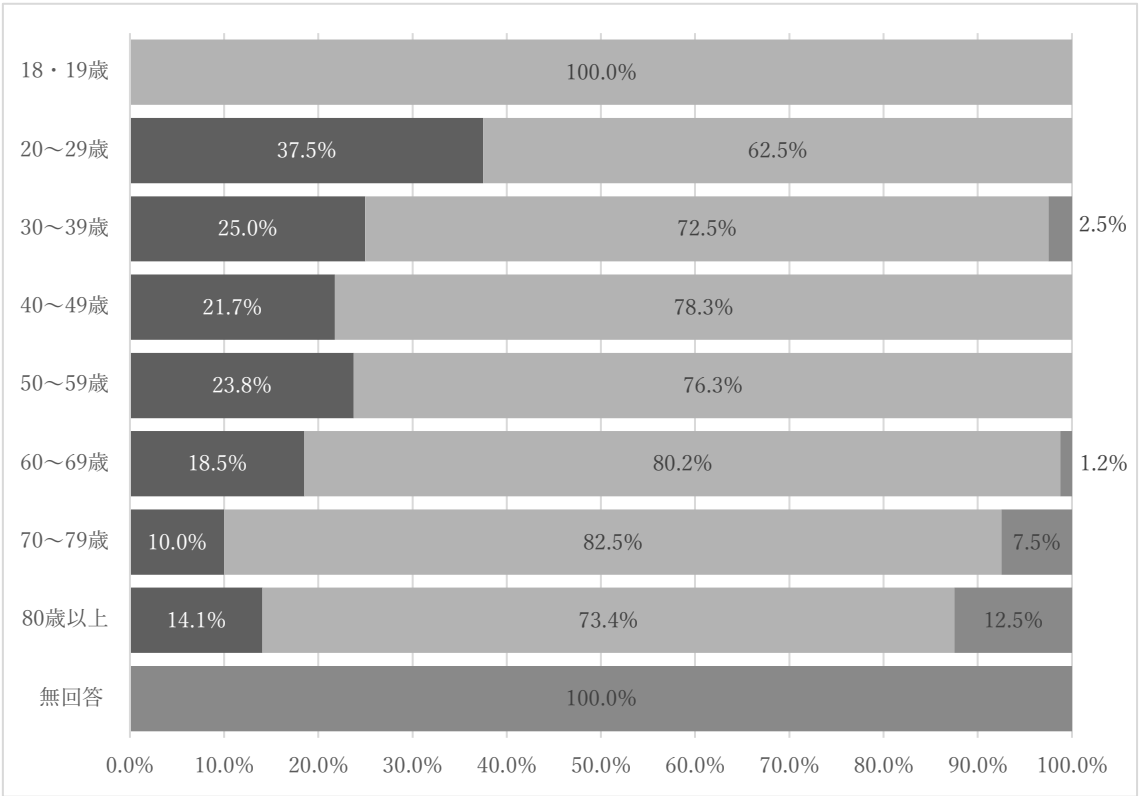




問 30	生野区役所では「やさしい日本語」を広めようと取組みを進めています。「やさしい日本語」とは、普通の日本語よりも簡単で、外国人をはじめ誰にでもわかりやすい日本語のことで、様々な人とコミュニケーションができることで多文化・多世代交流をはじめ災害時などでの情報伝達などに役立ちます。あなたは、この「やさしい日本語」のことを知っていますか。	単一回答
------	--	------

全体では、「知っている」と回答された方の割合は 19.2%、「知らない」は 76.7%となりました。年代別では「知っている」と回答された方の割合は「20～29 歳」で最も高く 37.5%となりました。一方、60 歳以上の各年代では 20%未満の低い割合となり、年代が上がるにつれ「知らない」と回答された方の割合は低くなりました。性別、居住年数による大きな差異は見られませんでした



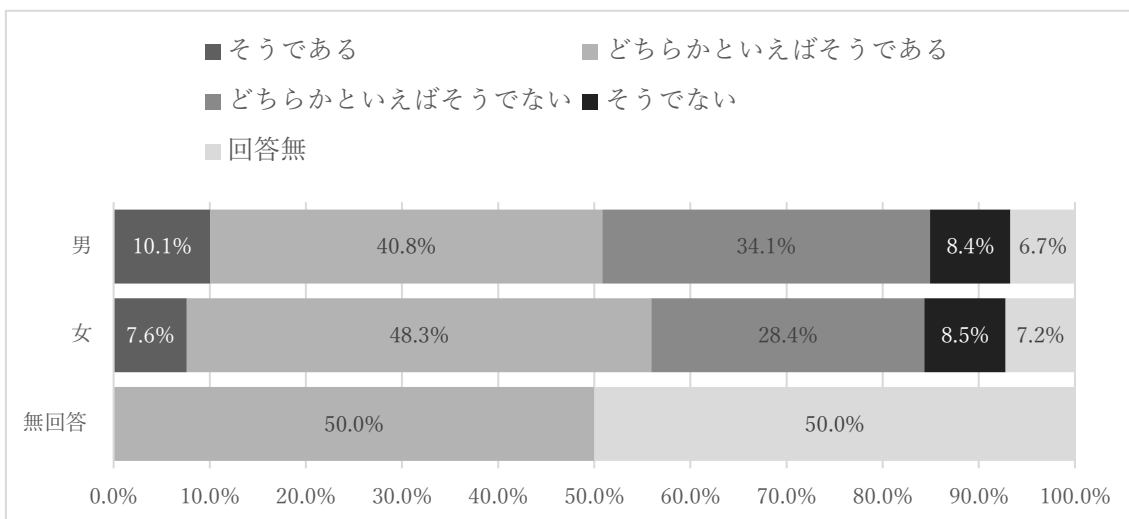
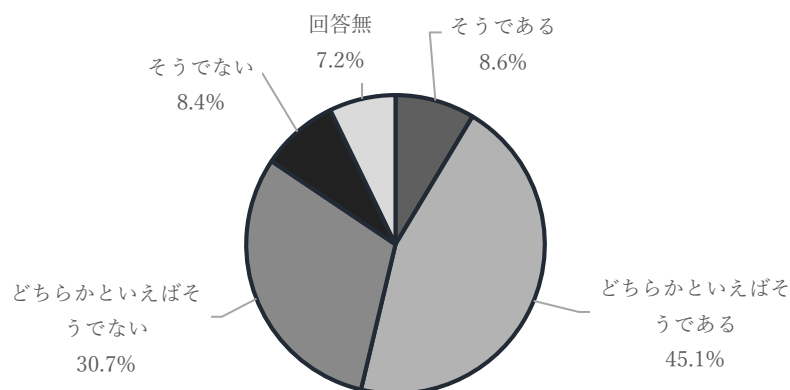


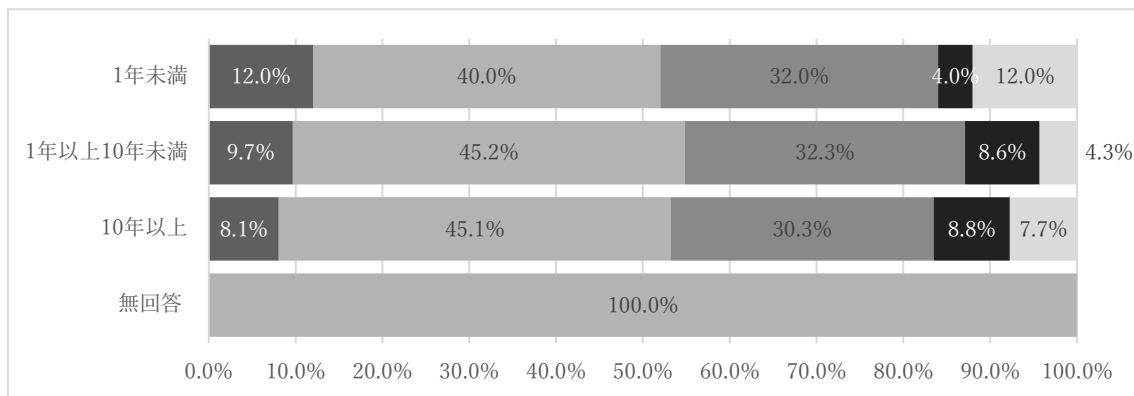
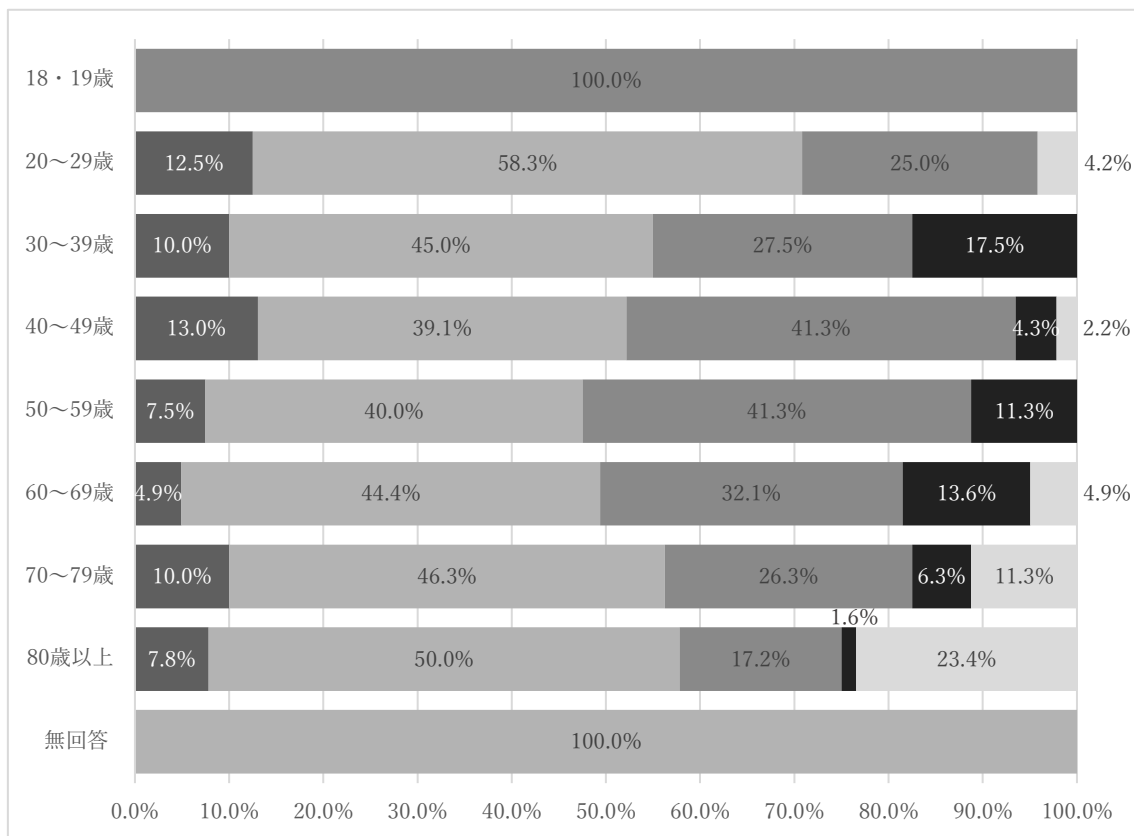
問 31

あなたは、生野区役所の情報発信が、外国人に対しても配慮されていると感じますか。

単一回答

全体では、最も多かった回答は「どちらかといえばそうである」でその割合は 45.1%となりました。「そうである」を合わせた肯定的意見の割合は 53.7%となり、半数以上の方が配慮されていることを感じている結果となりました。性別では女性のほうが肯定的意見の割合が高くなりました。年代別では、肯定的意見の割合が最も高かった年代は「20～29 歳」で 70.8%となりました。居住年数別では大きな差異は見られませんでした。



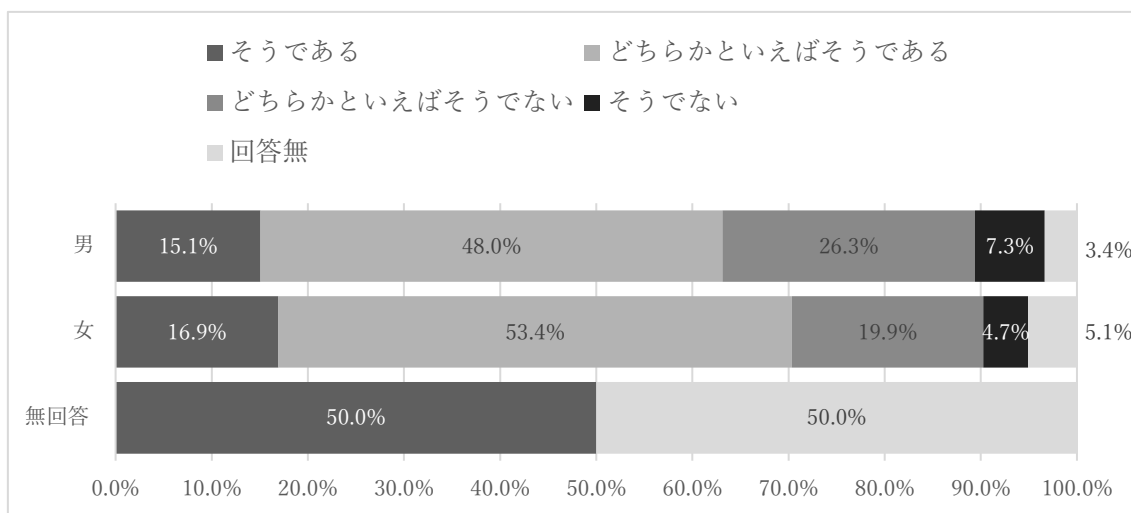
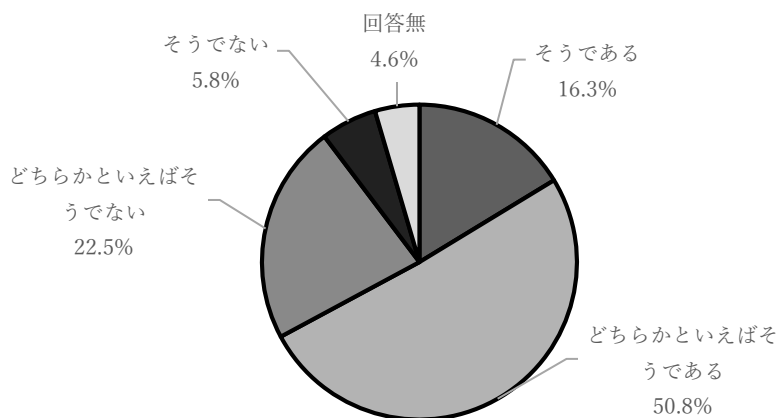


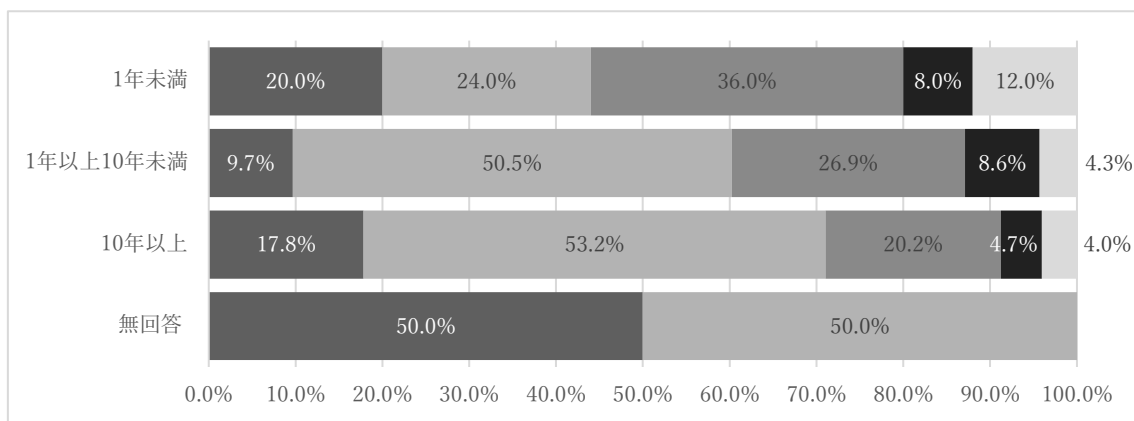
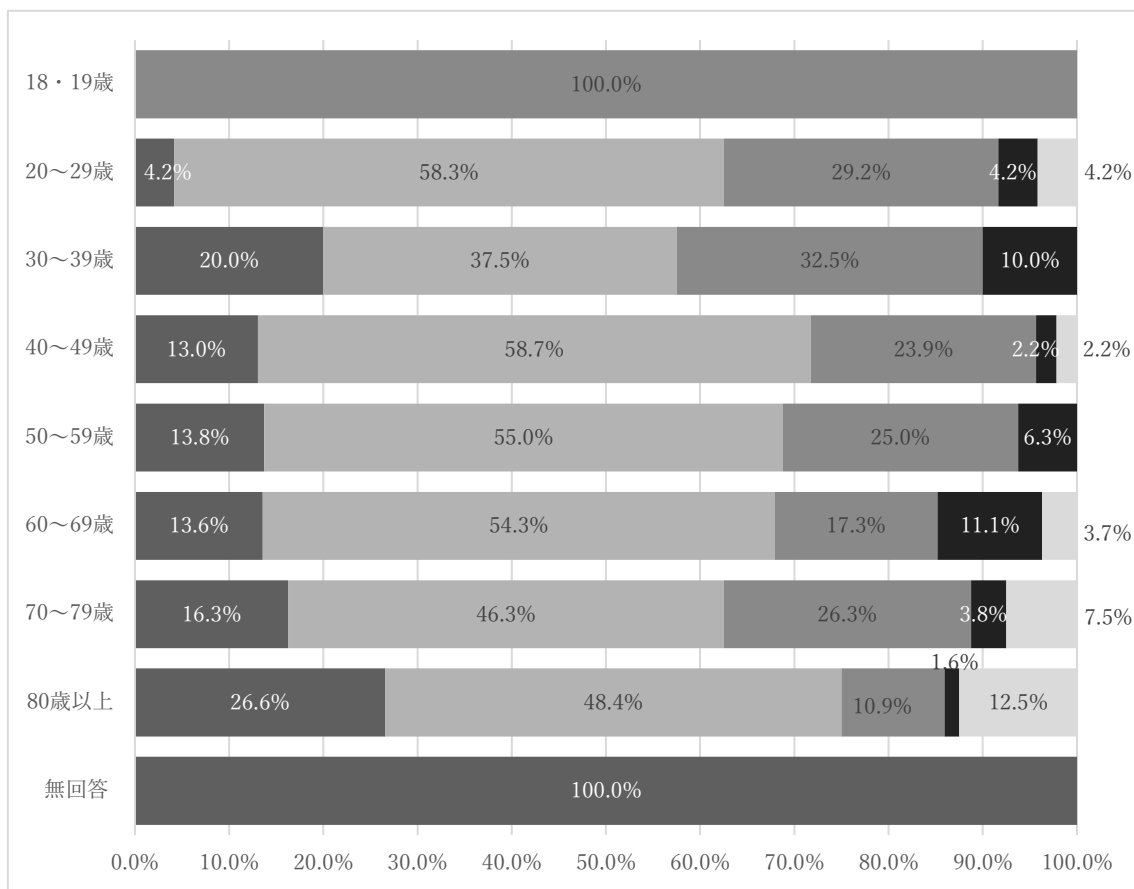
問 32

あなたは、広報紙「広報いくの」は、区民の皆さんにとって、魅力ある内容になっていると感じますか。

単一回答

全全体では、最も多かった回答は「どちらかといえばそうである」でその割合は 50.8%でした。「そうである」を合わせた肯定的意見の割合は 67.1%となり、広報紙「広報いくの」が魅力ある内容になっていると感じられていることがわかります。年代別では、肯定的意見が最も多かった年代は「80 歳以上」で 75.0%でした。性別では、女性のほうが肯定的意見の割合が高くなりました。なお、居住年数では、「10 年以上」が 71.0%の肯定的意見で、居住年数が長いほど肯定的意見が多い結果となりました。



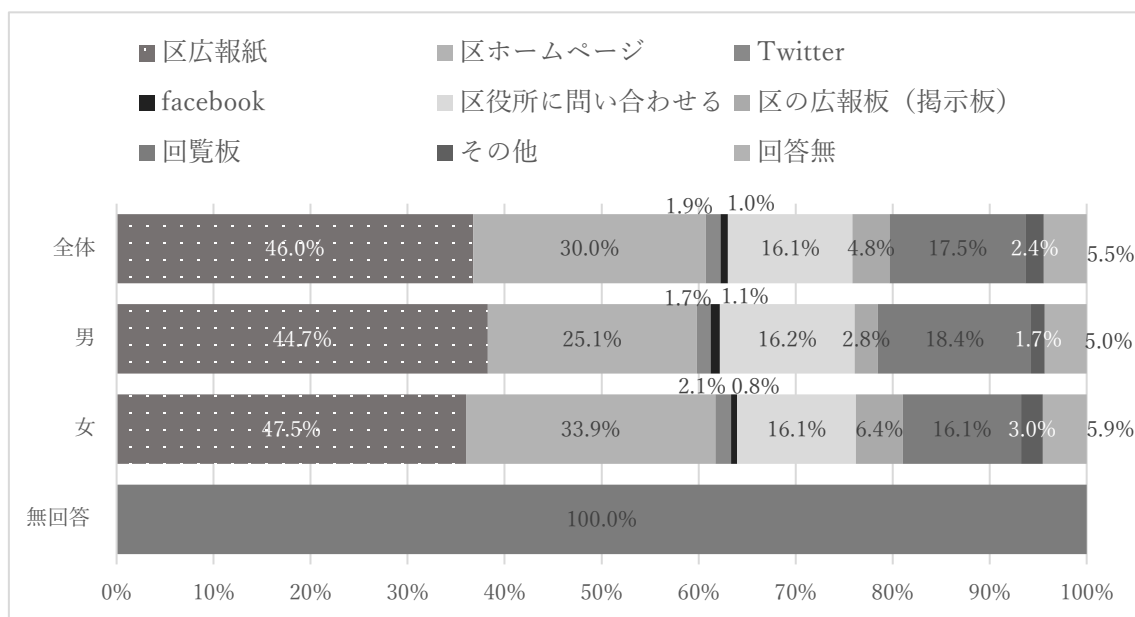


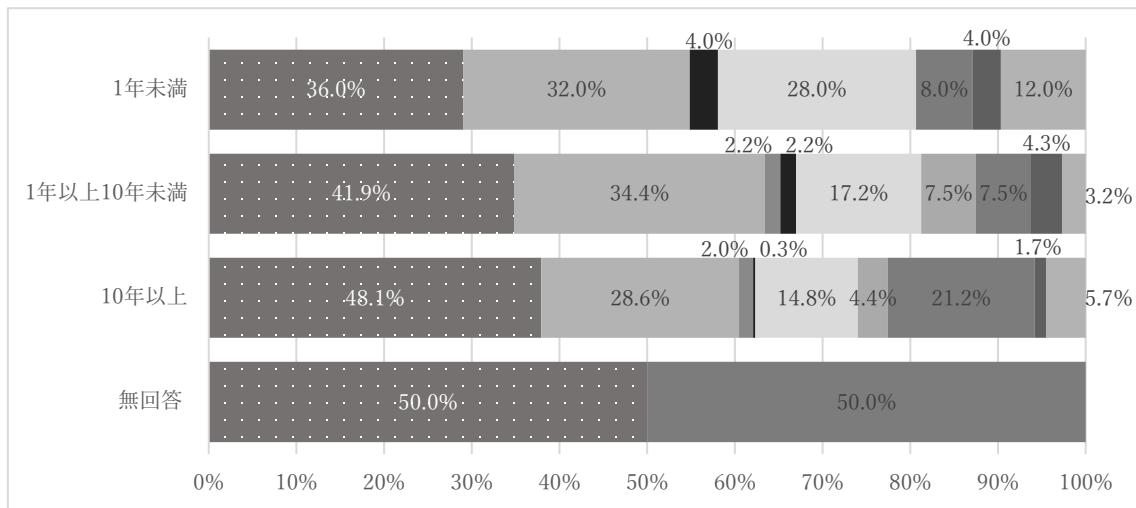
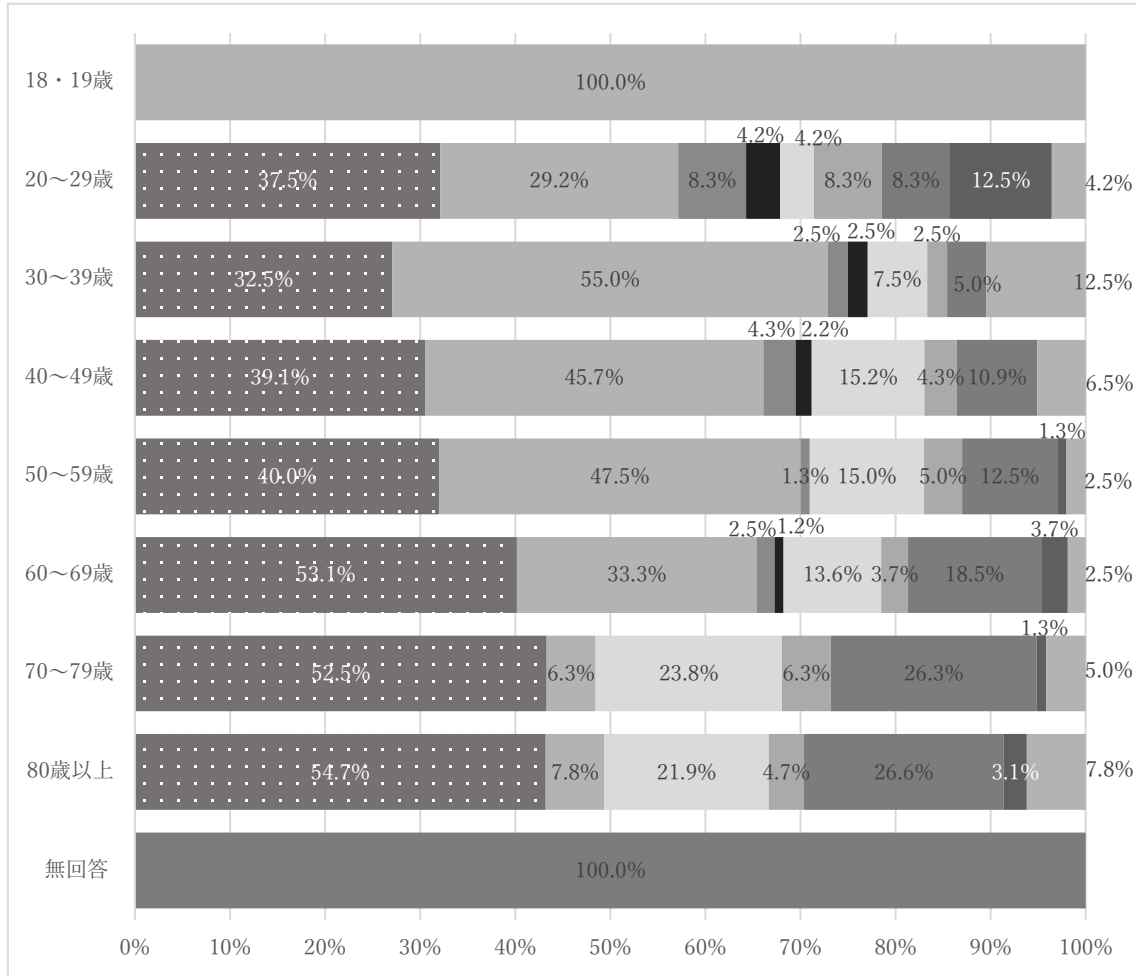
問 33

あなたが生野区役所からの情報を知りたい場合、どこから情報を得ますか。

複数回答

全体では、最も多かった回答は「区広報誌」でその割合は46.0%でした。次いで「区ホームページ」の30.0%という結果となりました。性別でも「区広報誌」「区ホームページ」が7割近くを占めています。どの年代も「区広報誌」「区ホームページ」が70%以上でした。 居住年数も「区広報誌」「区ホームページ」が70%以上でした。



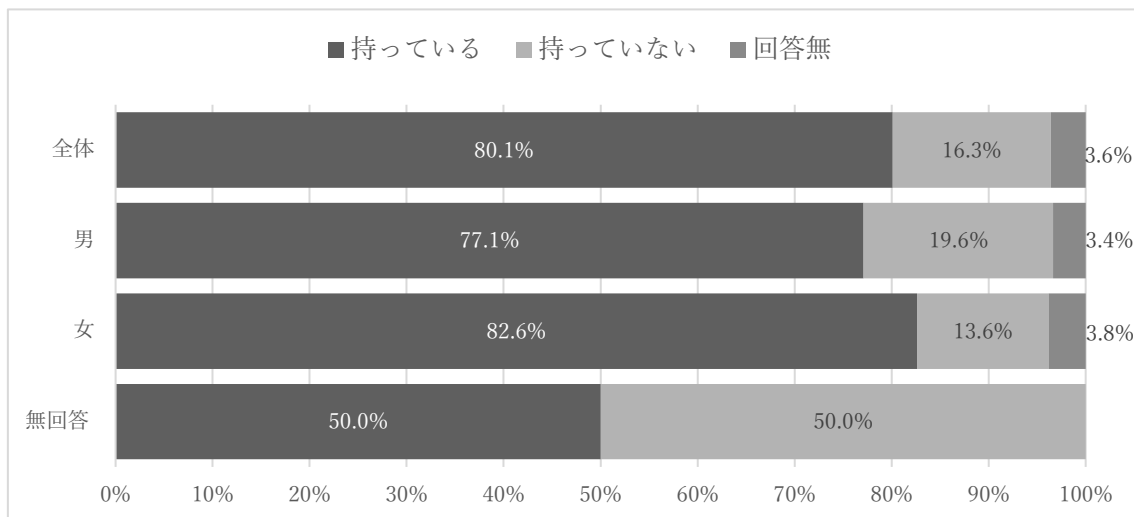


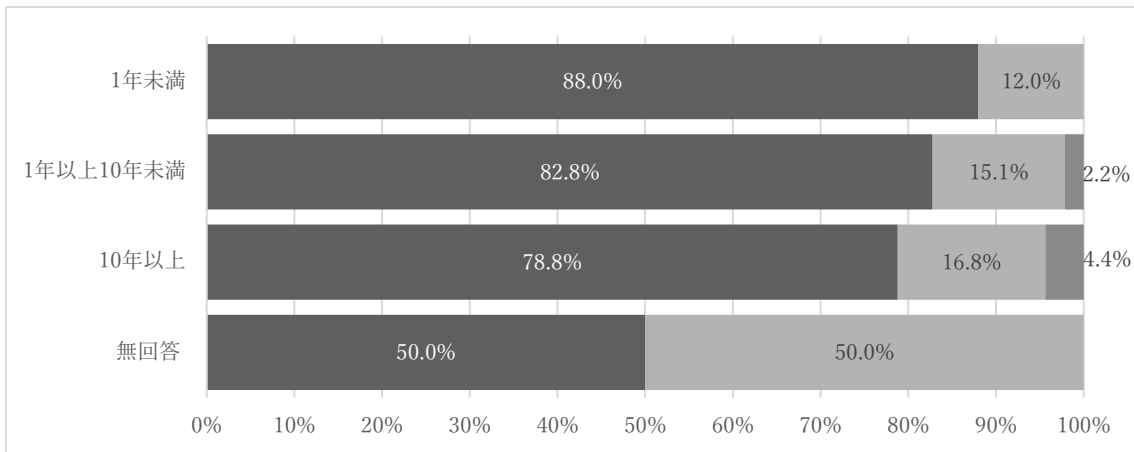
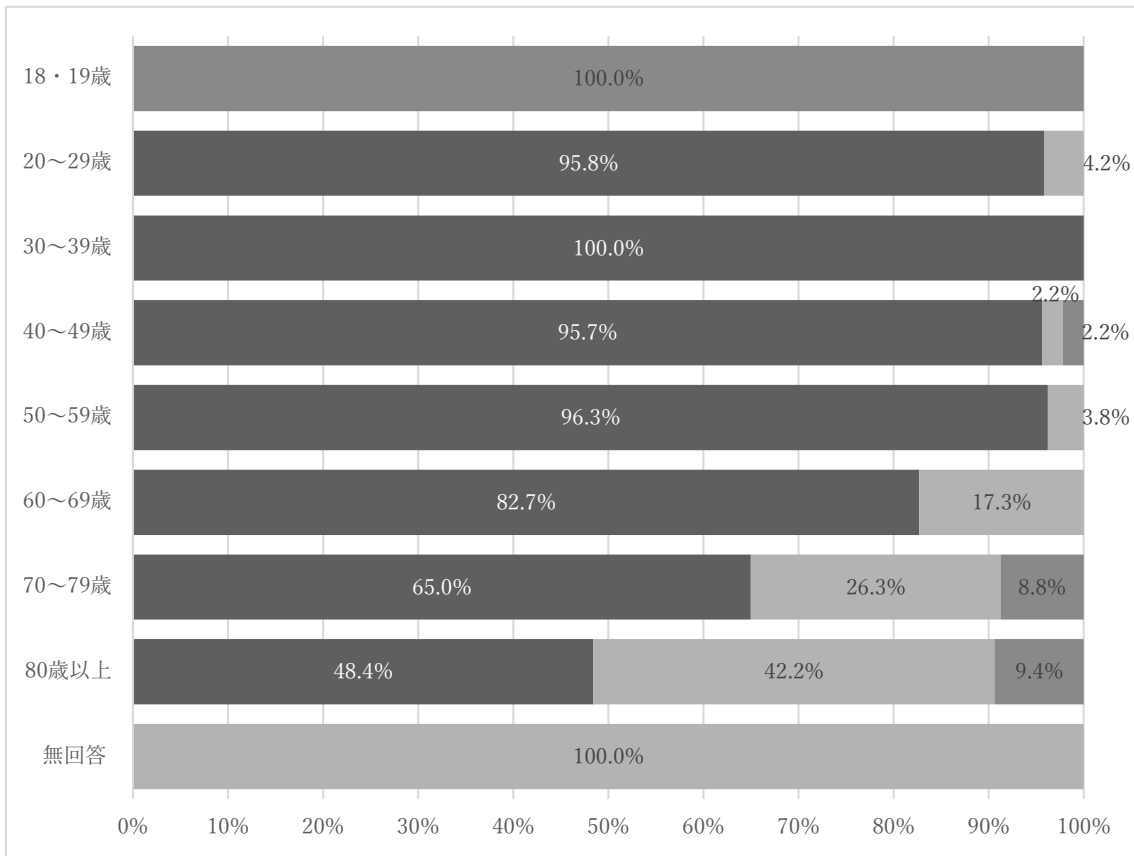
問 34

スマートフォンについておたずねします。あなたは、スマートフォンを持っていますか。

複数回答

全体では、「持っている」と回答された方の割合は 80.1%、「持っていない」は 16.3%となりました。性別では、「男性」で「持っている」と回答された方の割合は 77.1%、「女性」は 82.6%となり、「女性」のほうがよりスマートフォンを持っている結果となりました。年代別では「30～39 歳」で「持っている」が 100%ですが、40 歳以上から年代が上がるに従って割合が低くなり、「80 歳以上」では 48.4%と最も低く、年代間で大きな差異が見られました。居住年数別では、「1 年未満」で「持っている」と回答された方の割合は 88.0%、「10 年以上」で 78.8%となり、居住年数が短い方が、よりスマートフォンを持っている傾向が見られました。



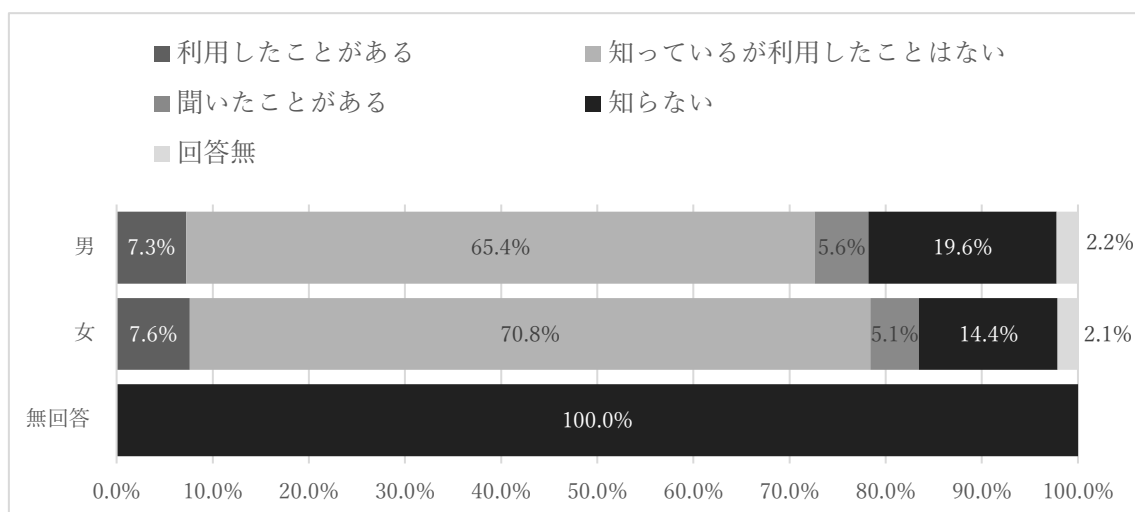
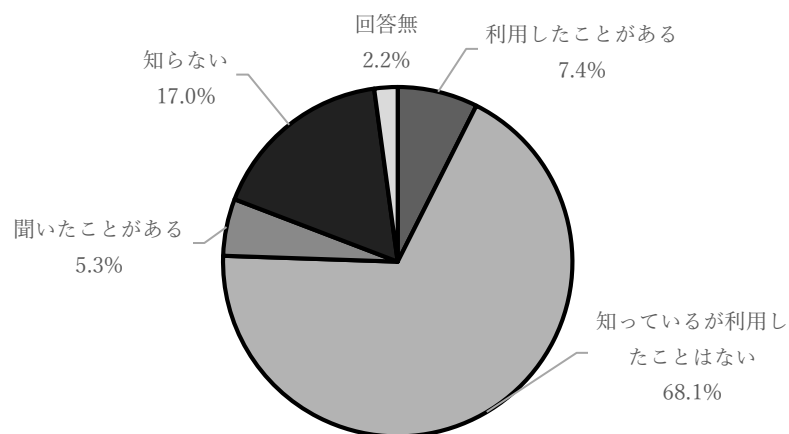


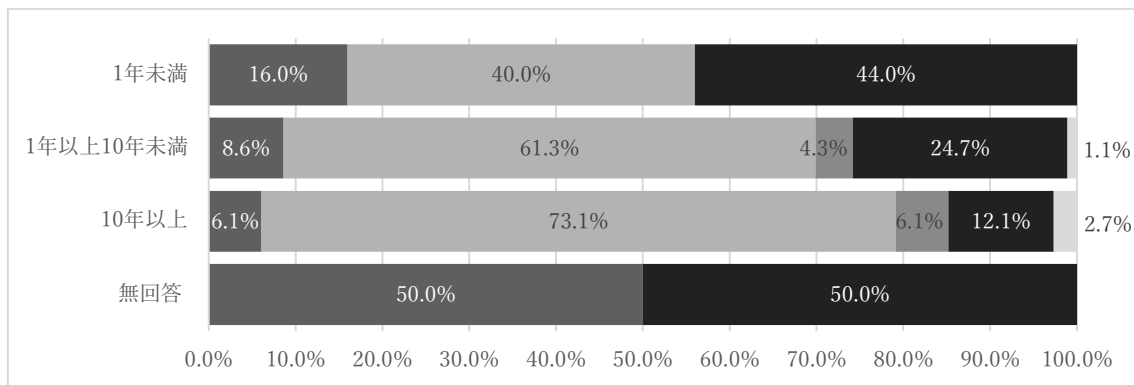
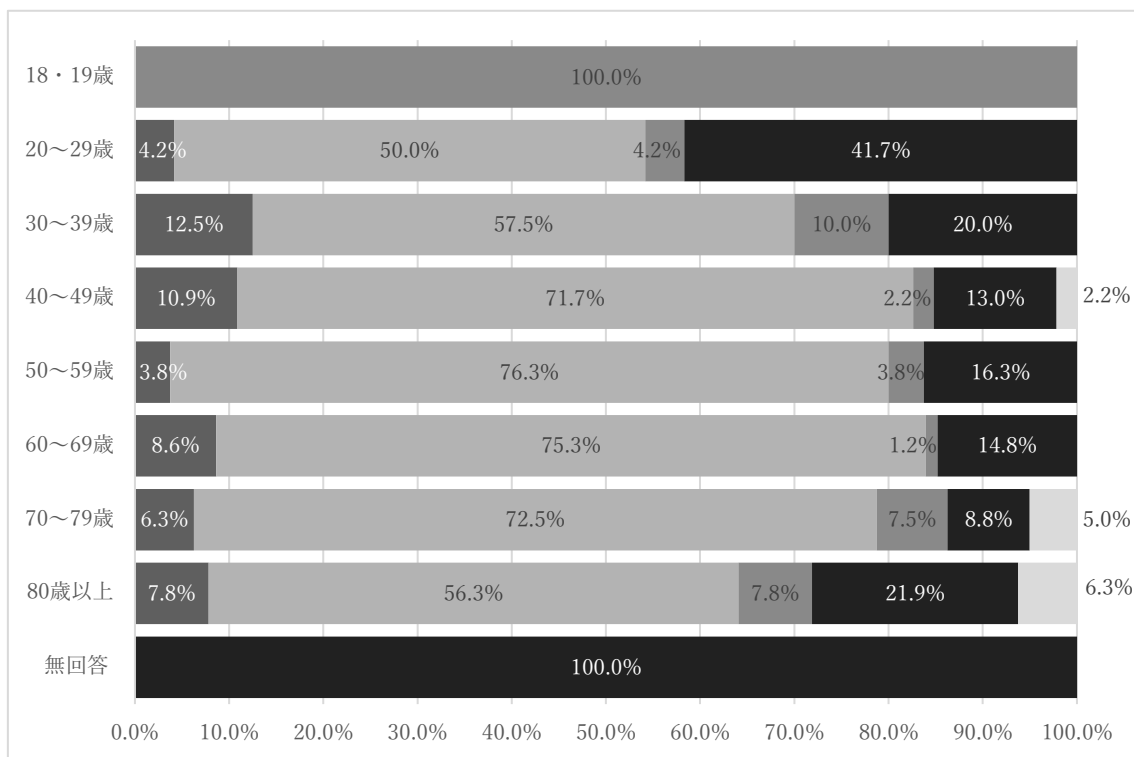
問 35

あなたは、現在、生野区内で社会実験中の「オンデマンドバス」を利用したことがありますか。

単一回答

「利用したことがある」の割合は全体では 7.4%で、各年代で見てもオンデマンドバスを利用したことがある人は 15%未満となっています。全体で見た場合の最も多かった回答は「知っているが、利用したことはない」でその割合は 68.1%となっており、認知状況としてみた場合、「聞いたことがある」とも合わせ、75.5%でした。性別では女性のほうが認知度が高く、また、居住年数の長いほうが認知度が高いとの結果となりました。



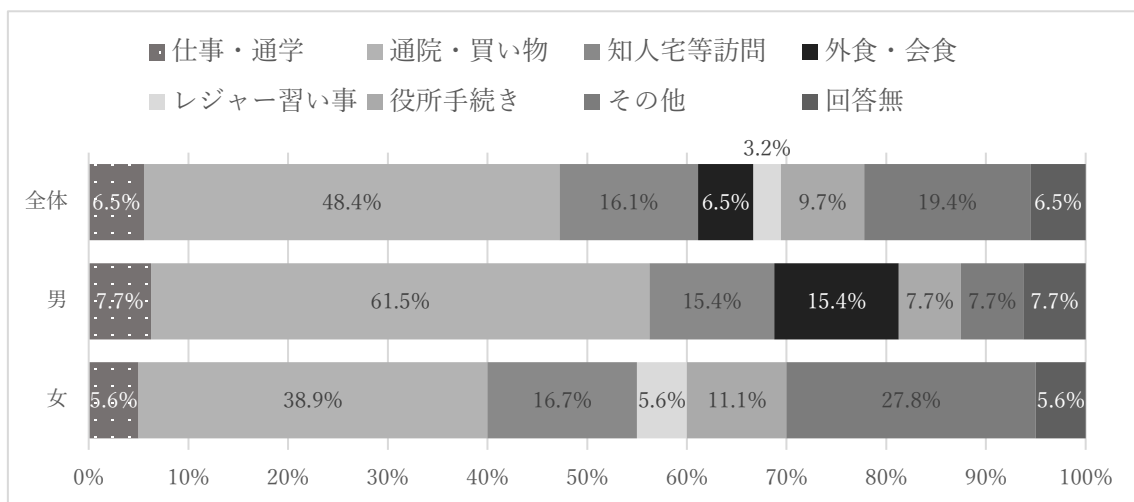


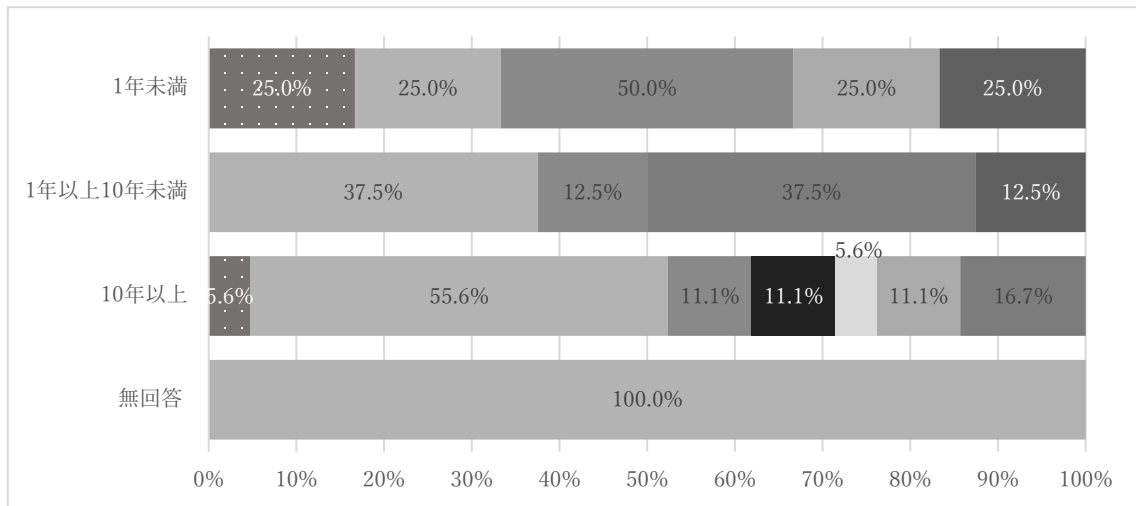
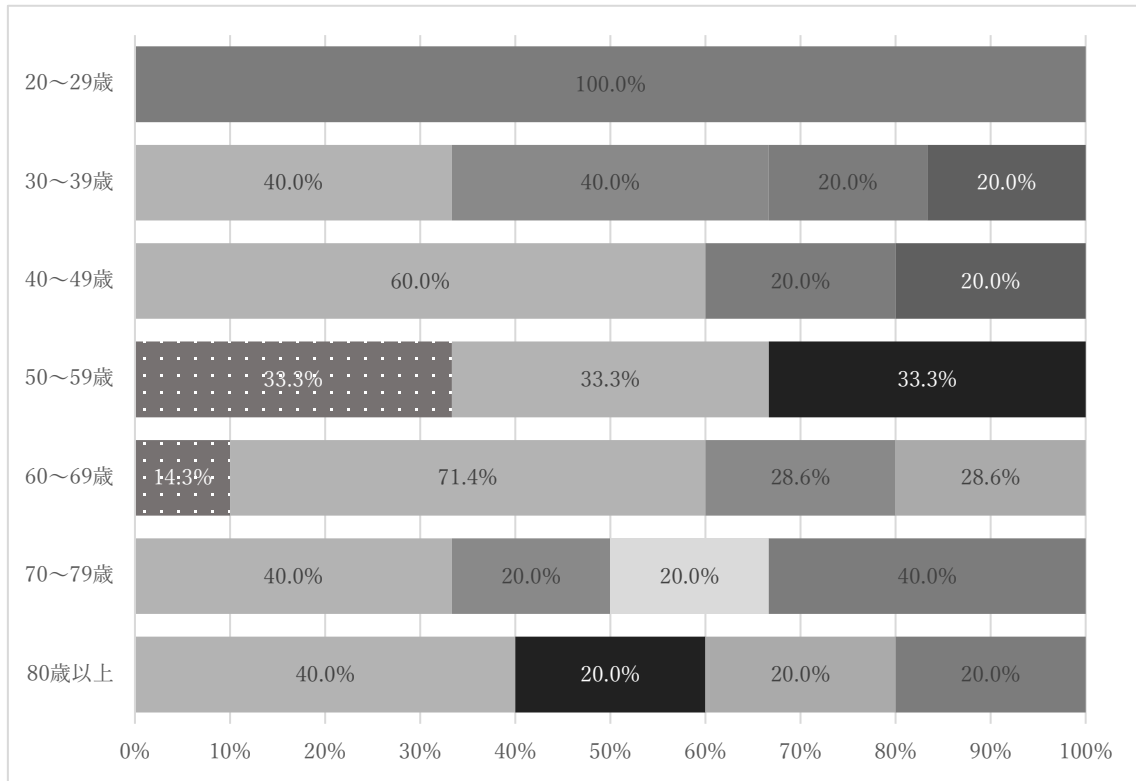
問 36

質問No.35で、「利用したことがある」とお答えの方へおたずねします。利用目的はどのようなものでしたか。

複数回答

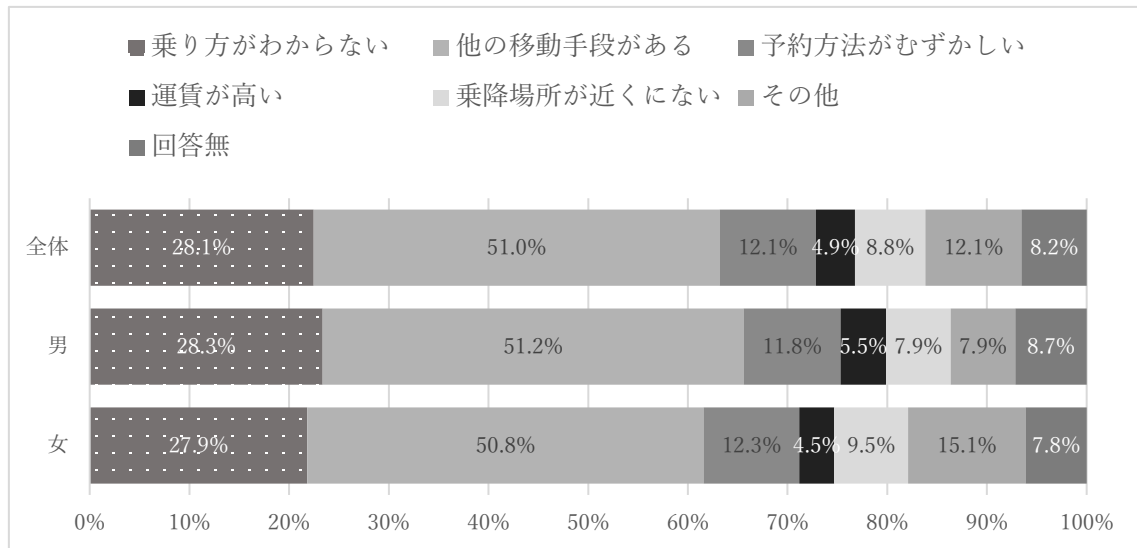
全体では「通院・買い物」が 48.4%、「その他」が 19.4%「知人宅等訪問」が 16.1%、と続きました。年代別では、30 代以上で「通院、買い物」が最も多く「その他」と回答した方の割合は「20～29 歳」で 100.0%となっています。居住年数別では、「外食・会食」、と回答された割合が「10 年以上」の方のほうが高く、「仕事・通学」と回答された割合は「1 年未満」の方のほうが高い傾向が見られました。

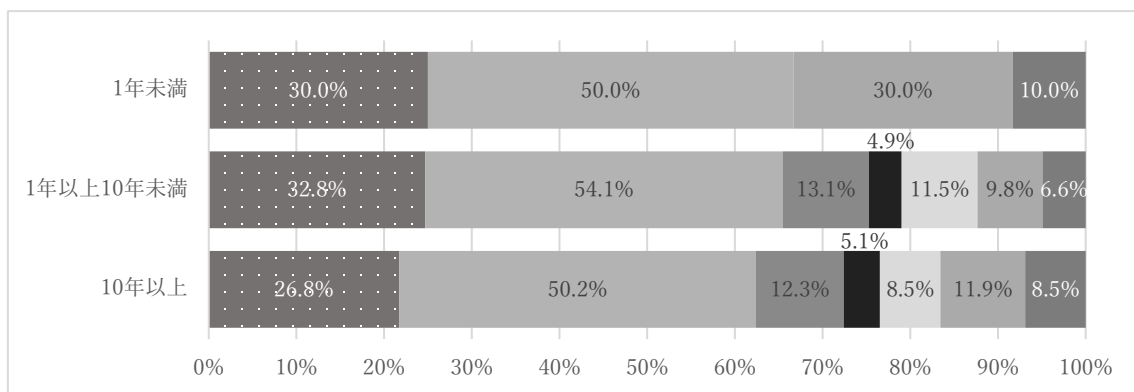
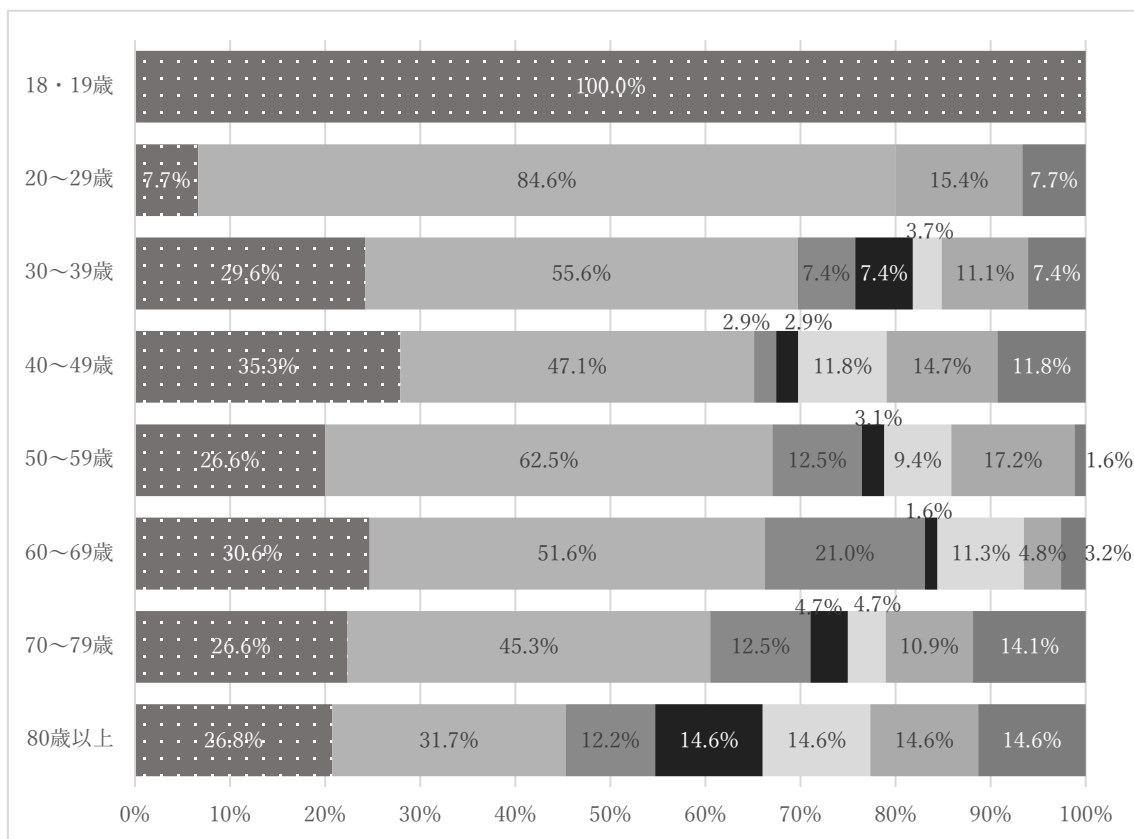




問 37	質問No.35で、「知っているが利用したことはない」「聞いたことがある」とお答えの方へおたずねします。利用しなかった理由は何ですか。	複数回答
------	--	------

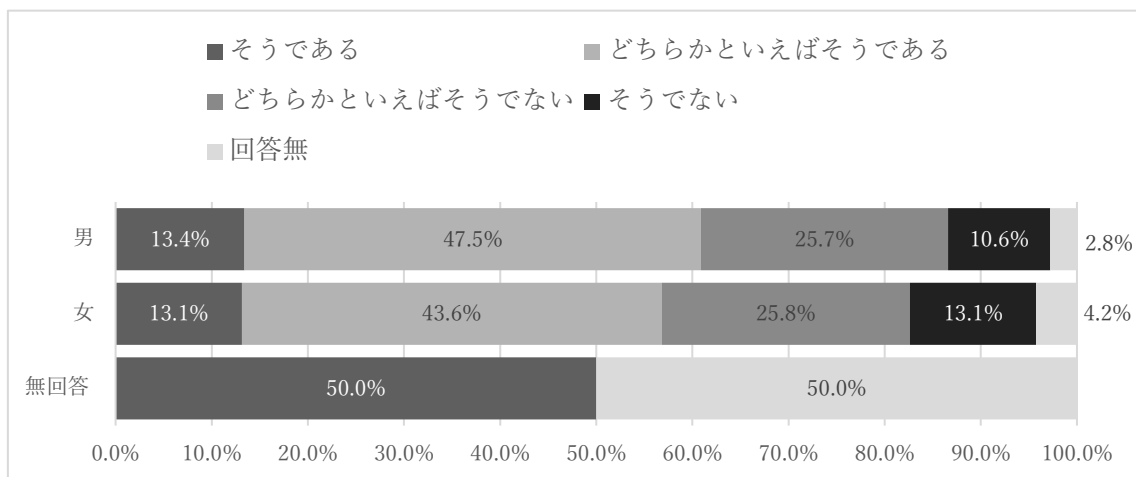
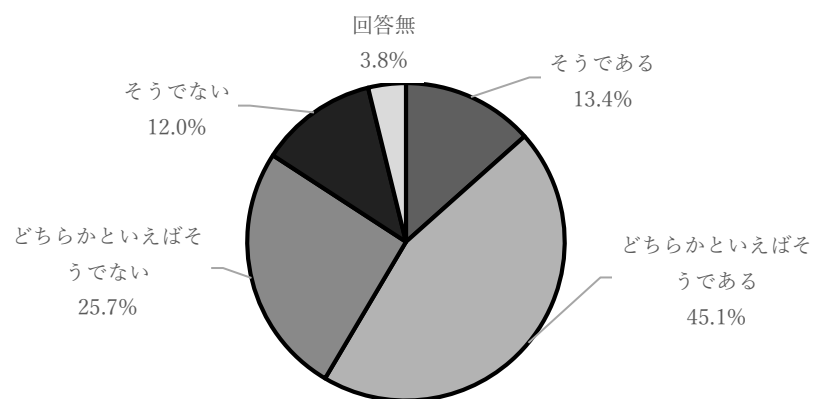
全体では「他の移動手段がある」が 51.0%、「乗り方が分からない」が 28.1%「予約方法がむずかしい」「その他」が 12.1%と続きました。年代別（18歳・19歳を除く）では「他の移動手段がある」と回答した方の割合が「20～29 歳」で 84.6%で最も高くなっています。どの居住年数も、「乗り方が分からない」、「他の移動手段がある」と回答された割合が最も多い。性別では大きな差異は見られませんでした。

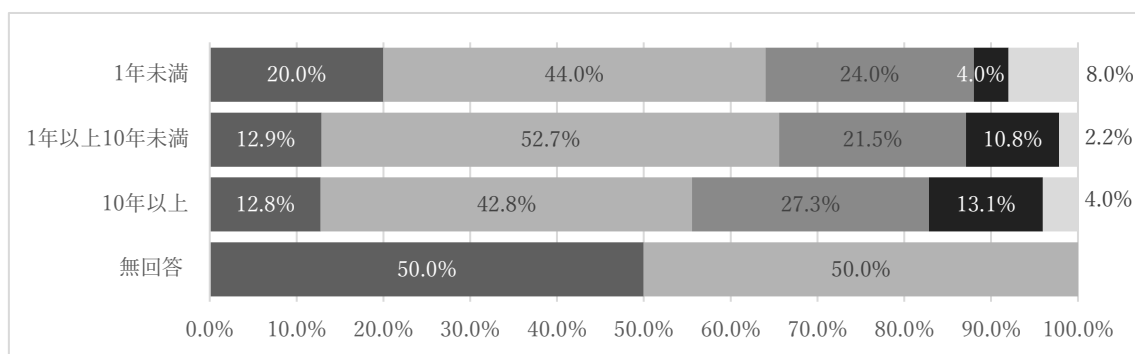
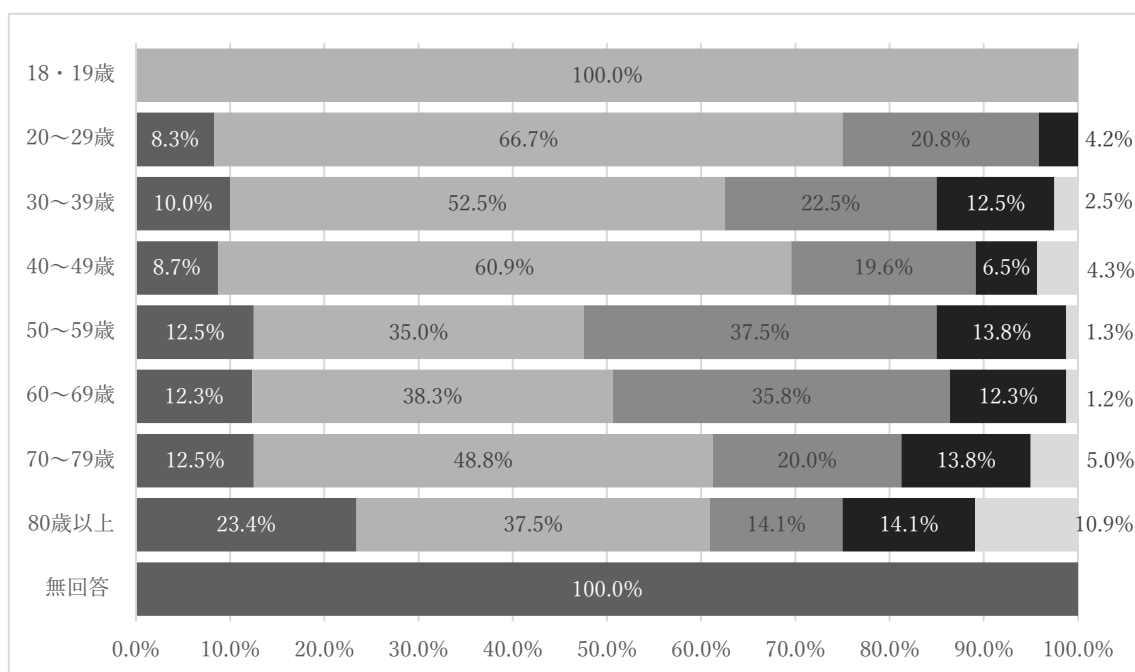




問 38	あなたは、生野区は多彩な魅力のあるまちと感じますか。	単一回答
------	----------------------------	------

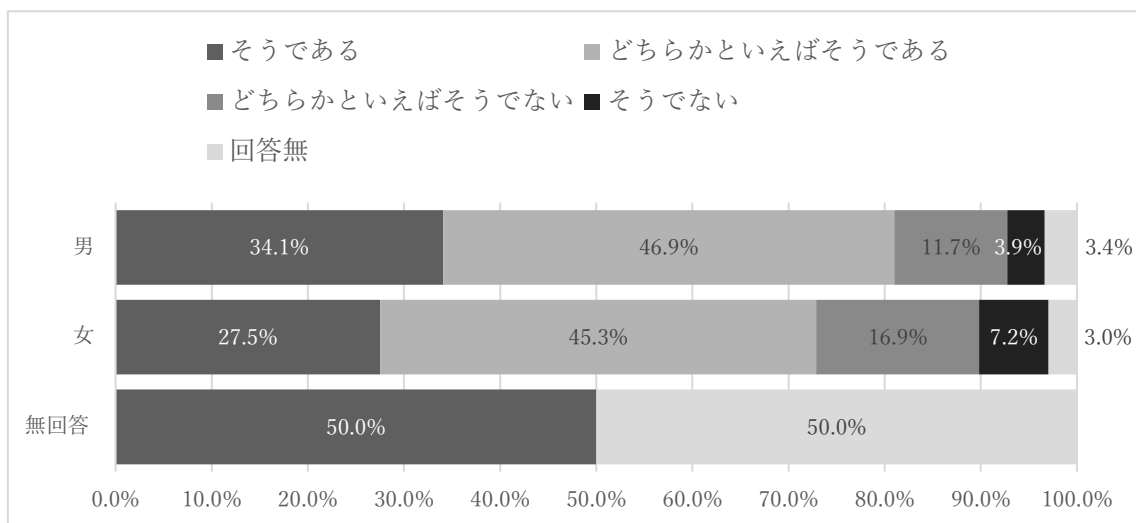
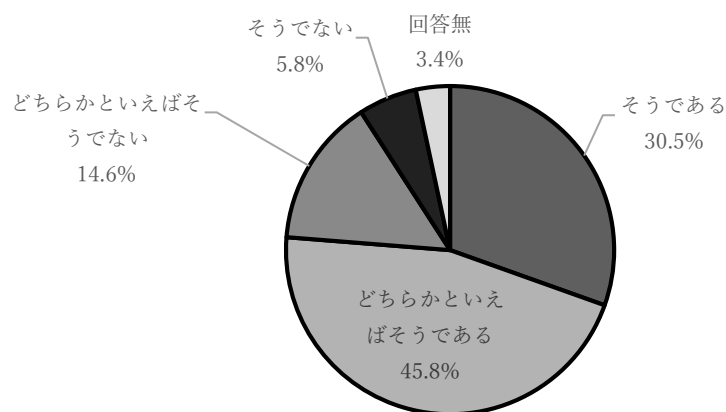
全体では、最も多かった回答は「どちらかといえばそうである」でその割合は 45.1%でした。「そうである」を合わせた肯定的意見の割合は 58.5%となり、多彩な魅力あるまちだと感じている方は半数を超える結果となりました。年代別（18・19 歳を除く）では、肯定的意見の割合が最も高かった年代は「20～29 歳」で 75.0%となりました。性別、居住年数別では大きな差異は見られませんでした。

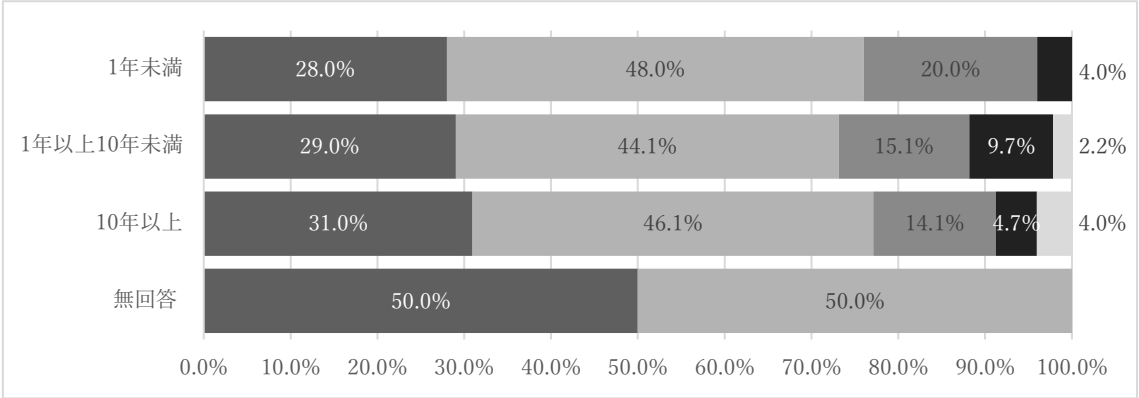
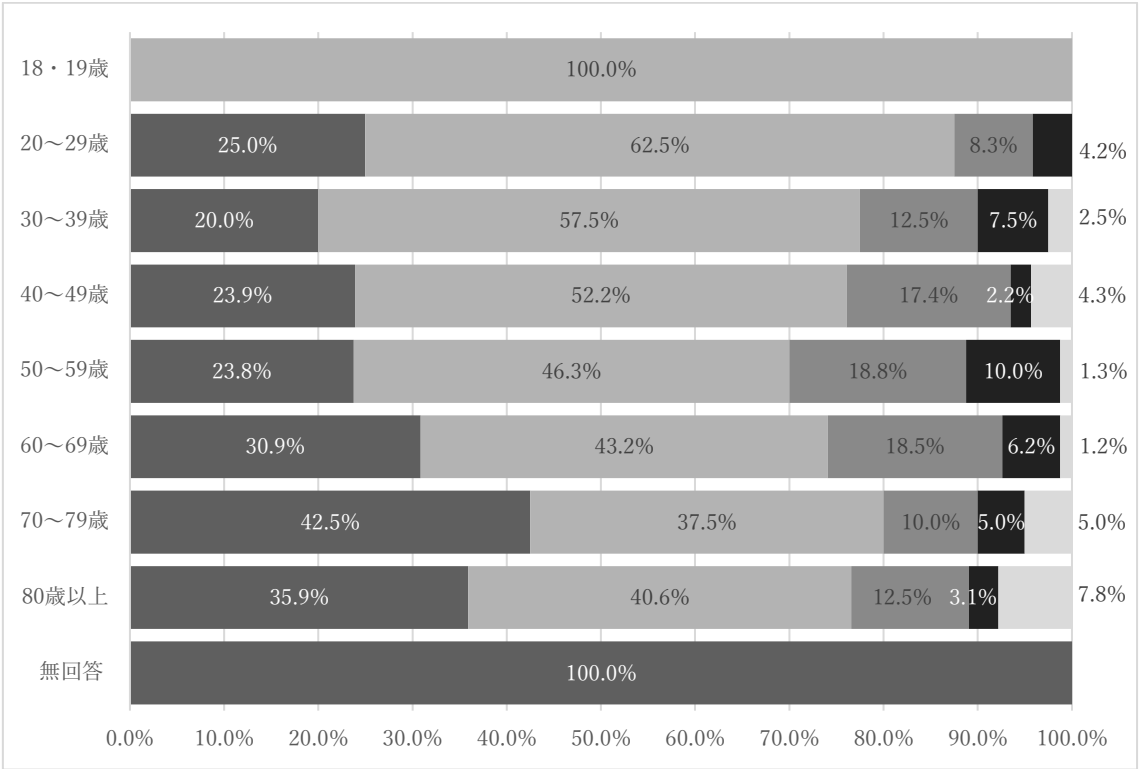




問 39	あなたは、生野のまちに愛着を感じますか。	単一回答
------	----------------------	------

全体では、最も多かった回答は「どちらかといえばそうである」でその割合は 45.8%でした。「そうである」を合わせた肯定意見の割合は 76.3%となり、魅力あるまちだと感じている方は8割弱という結果となりました。どの年代でも、肯定的意見の割合が最も高い結果となりました。性別、居住年数別では大きな差異は見られませんでした。



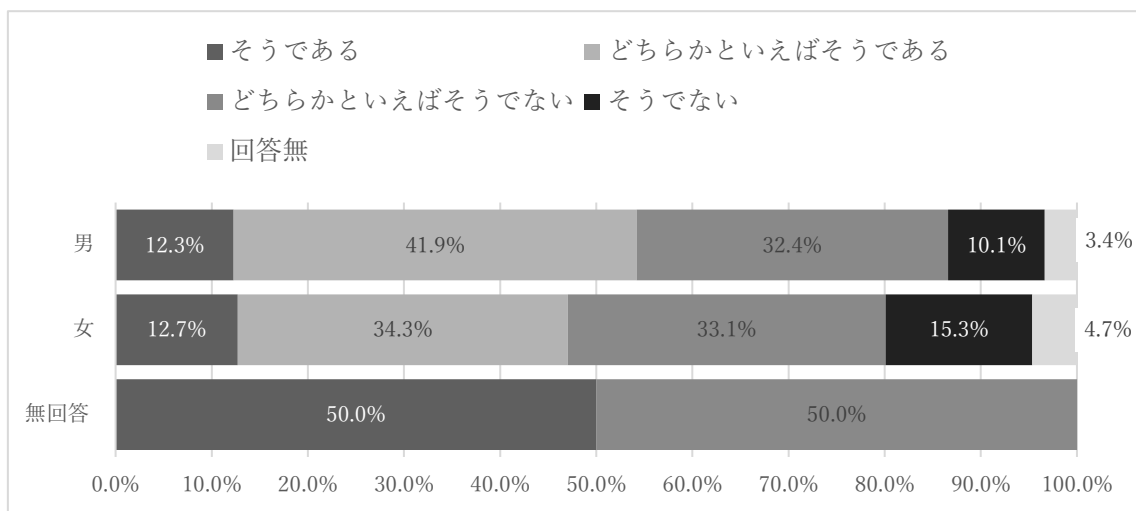
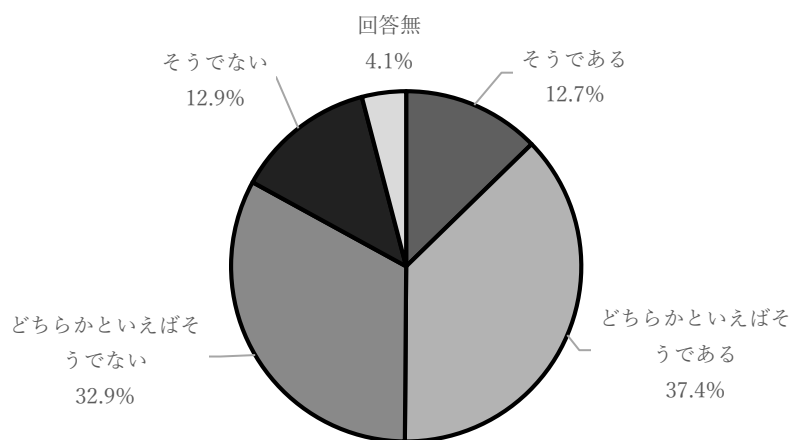


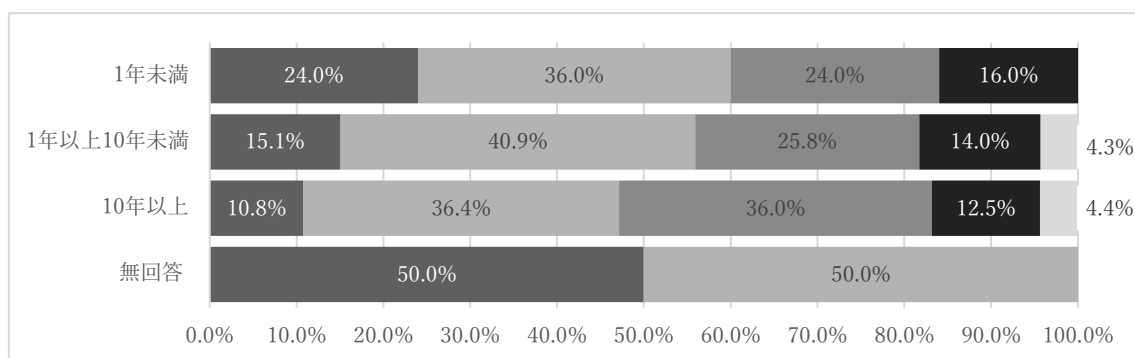
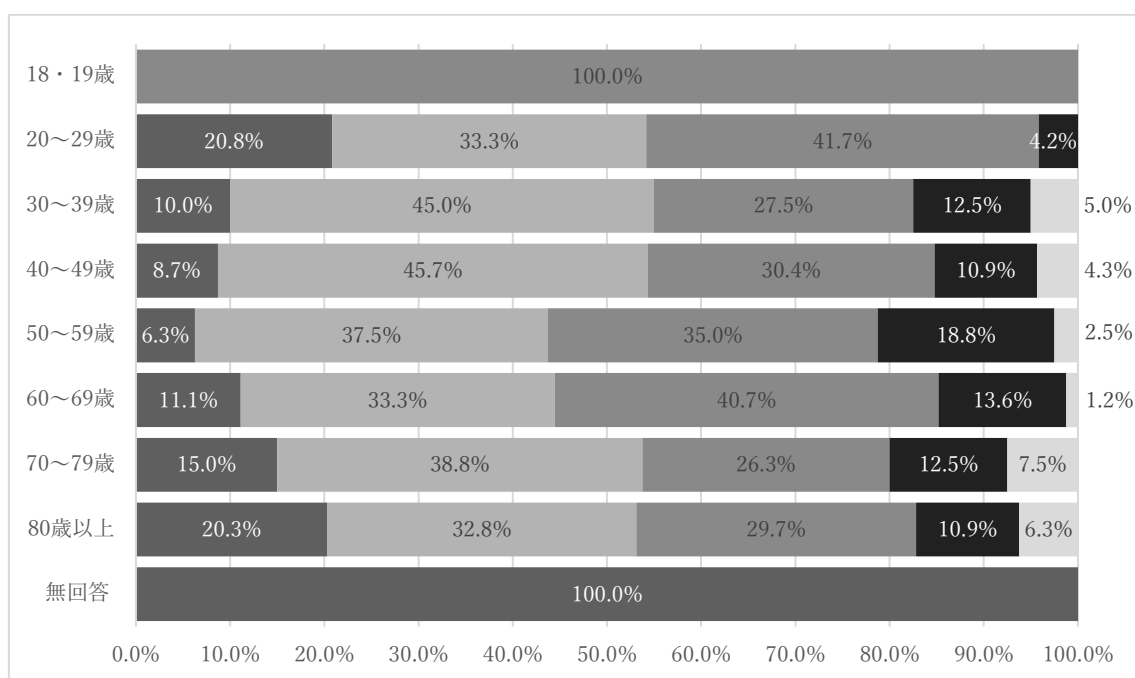
問 40

あなたは、生野のまちが、「訪れたい、住みたい」と感じられるような魅力あるまちだと感じますか。

複数回答

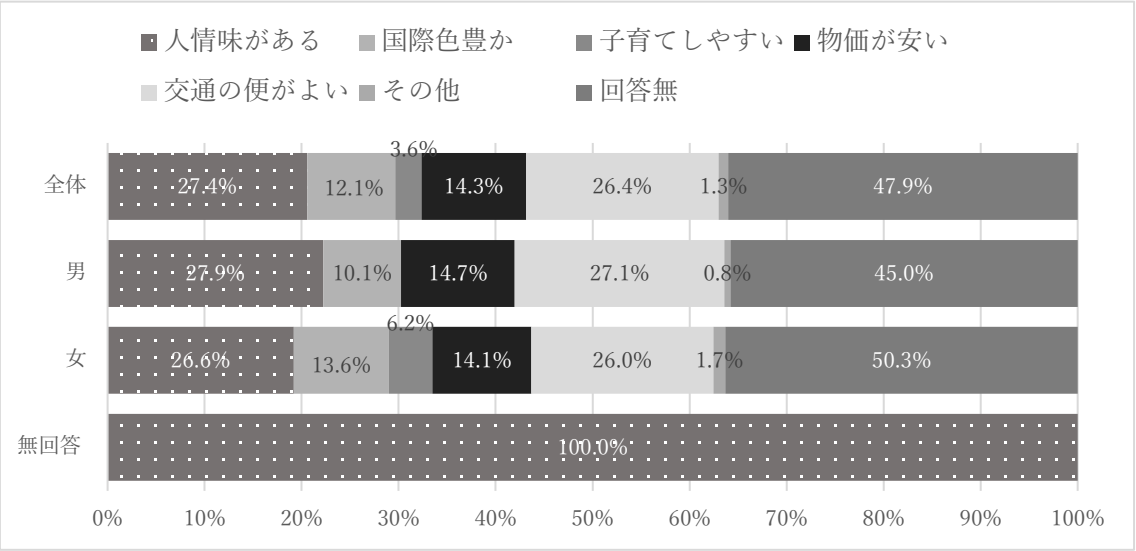
全体では、最も多かった回答は「どちらかといえばそうである」でその割合は37.4%でした。「そうである」を合わせた肯定的意見の割合は50.1%となり、約半数の方が魅力あるまちだと感じている結果となりました。年代別では、肯定的意見の割合が最も高かった年代は「30～39歳」で55.0%となりました。性別居住年数別では大きな差異は見られませんでした。

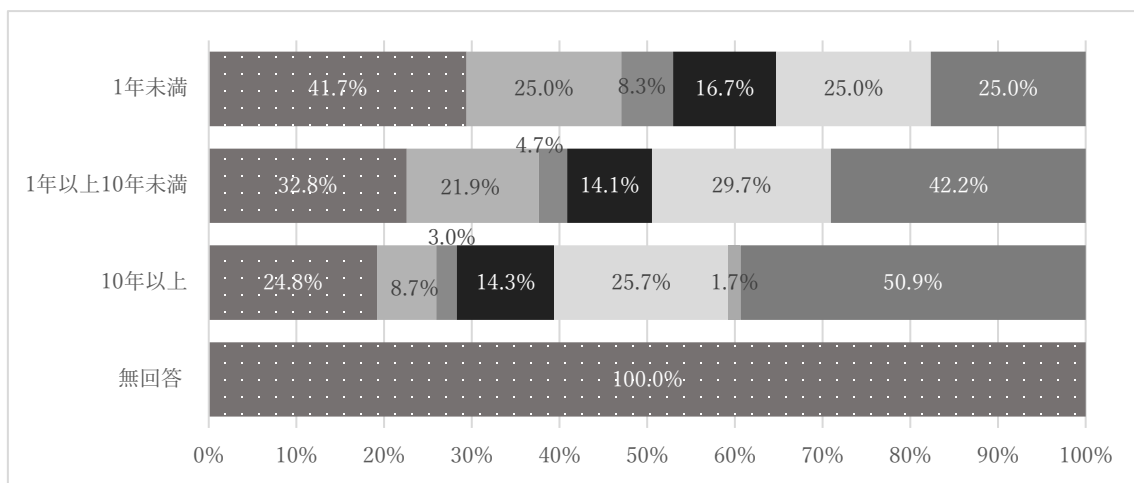
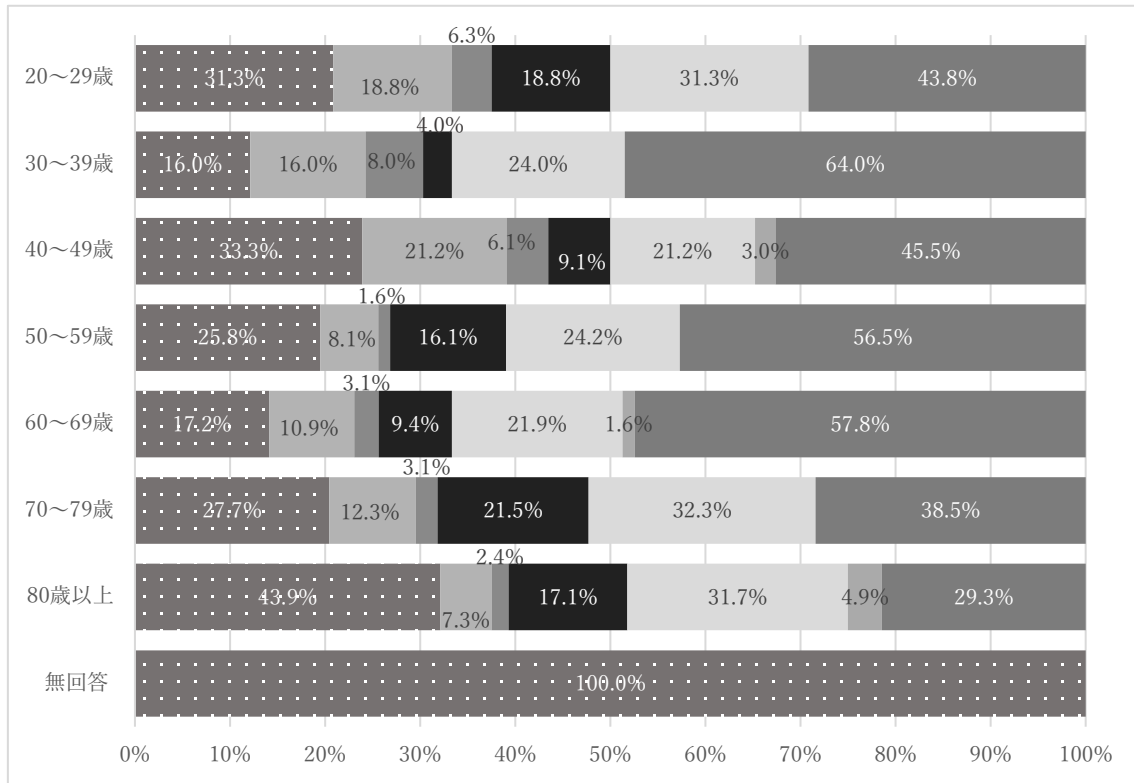




問 41	質問 No.40で「1.そうである」「2. どちらかといえばそうである」とお答えの方におたずねします。そのように感じる理由は何ですか。	複数回答
------	---	------

全体では、「人情味がある」が27.4%と「交通の便がよい」が26.4%と多く、合わせると53.7%でした。80歳以上では「人情味がある」43.9%となり、他の年代よりも多くの方が人情味があると感じています。性別居住年数別では大きな差異は見られませんでした。





問 42	質問 No.40で「3. どちらかといえばそうでない」「4. そうでない」と回答された方におたずねします。そのように感じる理由は何ですか。具体的な理由をご記入ください。	自由記述
------	--	------

生野区を住みたいと感じられるような魅力あるまちだと感じない理由について、142名の方から 230 件の回答がありました。

主な内容	件数
マナーが悪い・品がない	27
治安が悪い	26
活気がない・住環境がよくない	26
魅力・特徴がない	16
交通が不便	15
街がきれいでない・雑然としている・窮屈である	15
イメージが悪い	14
外国人が多く不安	14
交通マナーが悪い	13
道路整備が悪い	12
住民の交流がない・人間関係がよくない	6
高齢化・少子化	5
なんとなく・わからない	5
子育てしにくい・不安	5
公園・子供の遊び場がない	4
公園の整備が悪い	3
空き家が多い	3
自然・緑が少ない	2
防災に不安	2
行政・区役所の対応が悪い	2
情報がない・手に入らない	2
その他	13
合計	230